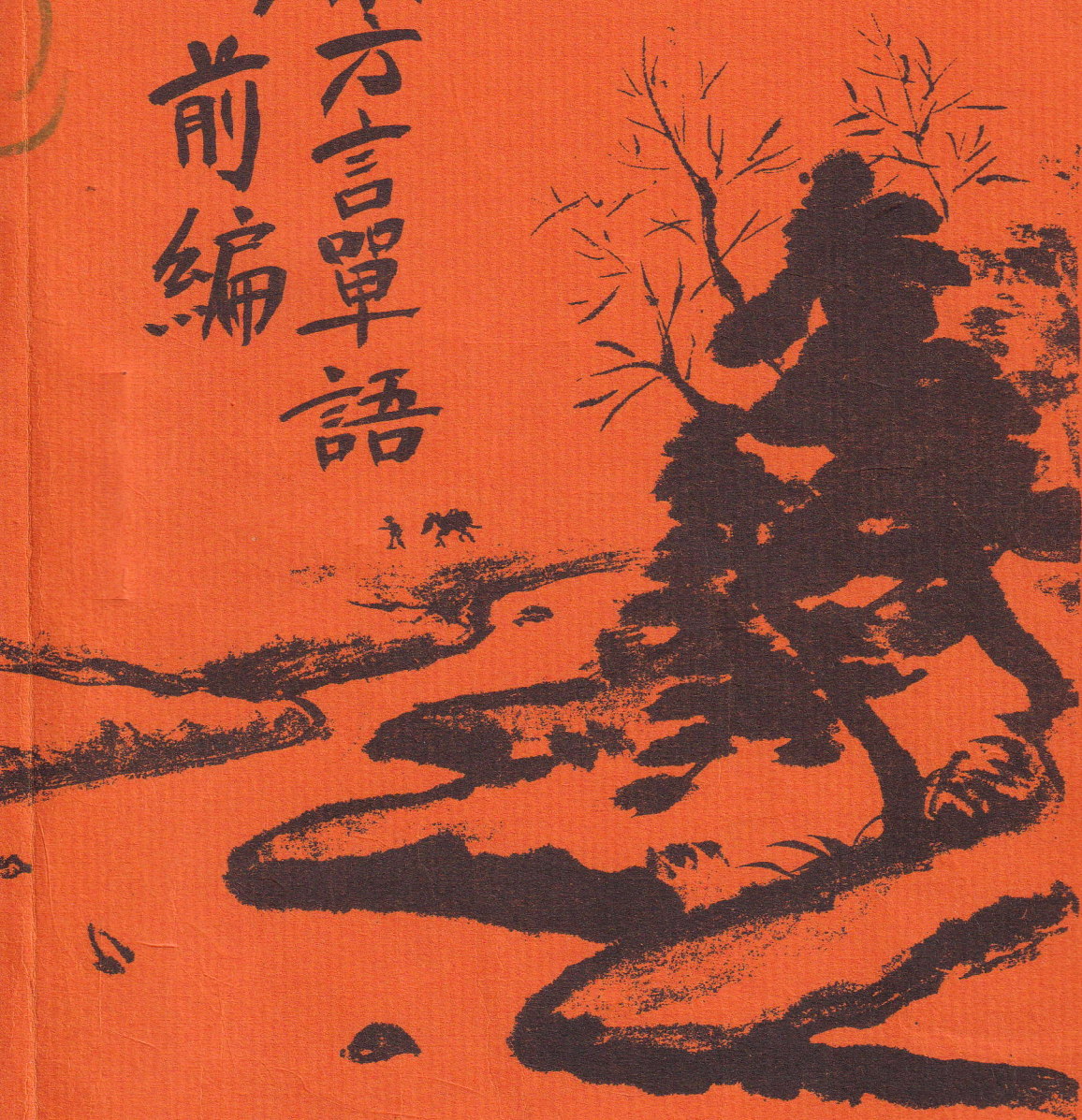


野津原方言單語
前編



野津原方言単語集 〈前編〉

題字……………野津原町町長 岡本政雄
表紙画……………《上浦町》…松本英明
タイトル画……………佐藤憲博
カット画……………那須政子
タイトル題字……………姫野順子

……………

平成15年5月吉日……………通算12冊

発行…野津原方言調査会

野津原町今市小原…097=589=2807

事務局…《本町》…097=588=0092

調査收拾…甲斐英行 佐藤吉晴 小野寿祐 那須政子

赤星ヨシミ 佐藤源治 故…利光節子

調査監修協力…佐藤延登 岸和田泉 裸野将紀

……………

方言集の性格上現在使用されていない 差別用語や卑下の意味がある言葉 下品な表現用語も入っています。参考として收拾盛り込みましたので、ご理解ご了承ください。

また別表のような先輩の皆様の 資料なども利用させて頂きました。改めて厚くお礼申し上げ この冊子に華を添え素人集団の收拾調査に 輝く成果を追加して下さいました。発行にあたり深甚な敬意を表します。

方言集発行でご協力頂いた 機関 商社 団体

野津原町。野津原町教育委員会。野津原町中央公民館。日本財団。
第百生命保険フレンドシップ財団。ベスト電器宗方店。故郷民謡。
ふるさとの唄保存会。中部小学校文化芸能伝承クラブ。

参考資料として

郷土史野津原。原村小史。大分方言。ほうげん集。テンパクロ。
宇曾山物語。野津原文化財こぼればなし。世界原色百科事典。
あの日あの時。朝霧。肥後街道。月のうた。カナリヤ会歴史探訪。

ご協力の皆様《順不同ご容赦ください》

加茂佳代。田口勲。松本英明。姫野順子。佐藤典雄。佐藤憲博。
小出^ハ莉央。もりながみほ。さとうけいすけ。宮成武子。松尾僚子。
緒方三枝子。那須貴光。小出富美子。佐藤延登。三ヶ尻政夫。
加藤正人。岡本政雄。利光節子。岸和田泉。はたのしょういち。
森下清。井ノ下キヨ。安田ハルエ。三浦アサエ。菊屋奈良義。
吉岡輝雄。有光孝信。那須量。内藤忠人。熊谷義人。後藤恒夫。
和田章彦。三浦敏男。佐藤昌史。宗丈善。甲斐加代子。甲斐栄馬。
川西哲男。首藤チエ。三浦一郎。永富忠。佐藤良一。裸野将紀。
那須茂都女 河野アヤ さとうまや 小野肇 田崎奈良熊 渡部之夫
日高貢一郎 大畠昌之 森崎フキ 野田公信 横山スミ子 安達延子

中部小学校3年生カットクラブ《当時》。久住、産山、佐賀関、
鶴崎、上浦、阿蘇、直入各老人クラブの皆さん。

12年間の調査収集研修視察などに ご支援ご協力誠に有り難う
ございました。紙面ながら深甚なる敬意を表します。

野津原方言集

『集大成…単語12000語』の発行のお礼

平成4年5月から取り組んで以来 調査会員のボランティア活動によって 約12000語の単語が収録出来ました。前編 後編
こぼればなし 続編の5冊 やさしいガイドを2冊の 合計12冊
が 多くの皆様 各機関 商社などの支えで本日を迎えます。この
間沢山な資料 話題 隠れ話 伝承物語など 温かいご協力によっ
て 作り上げた故郷の無形文化財 野津原方言集と思います。

さらに ご愛読いただく方々も町内は勿論 町外 県外からの
ご希望も沢山受けまして 取り組んだ調査冥利に尽きます。この間
数限り無い資料から 自分たちの研鑽にも知識にも 素晴らしい宝
として獲得も出来ました。物好き素人集団でしたが 振り返ると心
を奮い立たせる 生活用語の野津原方言には 先人の優しく思いや
りのある 真心が脈脈と流れているようでした。

最終目的の『方言単語集…12000語』に 辿り着いた今一抹
の侘しさも残りますが 限定100冊に温かく支援して頂いた多く
の 皆様方に心より深甚な敬意と 感謝の言葉を申し上げて発行の
お礼のご挨拶と致します。皆様方のご健勝ご多幸を ご祈念申し
あげると共に この日を見て頂けず他界されました 故人のご冥福
お祈り申し上げます。

平成15年 記念吉日

野津原方言調査会

会長 甲斐英行

はじめに

平成4年のある日 物好きんしが『方言ぬ残しちょきて一なー』
そりゅう聞いた狙われたしが 『知らん』た一言わんぬ一知っちょる
もんじゃき とにかく1000語ぐれ一なら集まるじゃろう。好奇心
もあっち始めたんが のめりくーじしもう事14年。がいと支援も支
えも受けち とうとうここまじ辿りついた。早う言ゃー愛読しちくれ
た 皆さんが作らせてくださったもんじゃ。

と言うような訳で故郷の生活用語であった 方言を収拾調査する間
に集めた 方言単語〈だけではないけれど〉や類似する 親しみ慣れ
た言葉を『方言単語集』として 前編 後編に別けて発行する事にな
りました。必ずしも方言ではない標準語に近いもの なども入ってい
ますが 野津原の使い慣れた温もりのある 昔言葉を寄せ集めてあり
ます。その点はお汲み取り上ご了承ください。

14年間に寄せられたご支援とご協力 限定100冊をご愛読いた
だいた皆様 影から支えてくださった行政 商社 企業のご配慮にも
深甚な敬意を表します。

素人集団の幼稚な冊子でしたが 町内 町外 県外からも多くの
愛読を頂いて取り組んだ冥利につきます。この期間にはさまざまな人
間勉強も出来 人生の生き方の参考にも宝にもなりました。

前編 後編に各 あいうえお順に分類して それぞれ意味内容もつ
けました。同じ野津原町でも地域で多少のニァンス アンセントも
異なる。など難問もありますが詳しい詮索は省略 楽しく笑いながら
読んで頂く事を軸にしました。専門的でないからかえって面白い と
言われた呼び水がここまで続いたと 感謝しています。これから調査
研究される方たちの お役に立つとすればこの上無い幸せです。

ご協力頂く途中で他界されました方々の ご冥福をご祈念申し上げ
ご支援頂いた皆様の ご多幸ご健勝お祈り申し上げ筆をおきます。

野津原方言『単語集』の発刊にあたって

野津原方言単語集の発刊を心からお喜び申し上げます。

12000語の集大成と言うことで平成4年から12年の間の調査収集に当たられました調査員はじめご協力頂きました方々に深く敬意を表します。

21世紀を迎え時代の変化を改めて感じますが振り返るとき20世紀ほど大きな進歩と変化を遂げた時代はありません。

大量生産による世界に類のない経済成長を遂げ物質的には豊かになりましたが長年かかって築きあげてきた地方の伝統や文化はややもすると古き物に扱われ軽んじられる風潮にあります。

テレビの普及で言葉は標準化され外来語が多くなるなど地域の特色は次第にうすれようとしています。

方言には標準語では言い表せない味わいも温もりもあります。このような時地方文化の一つであります方言を集大成することは大変意義深い事と思います。だれかがしなければならぬ大切な事それを長い時間かけて地道な収集と研究を重ねられ完成されたことは本当に感謝に堪えません。

地域文化の保存維持は難しいものがありますがこのような時に今回の発刊は誠に時宜をえた貴重な編集であり末永く多くの人々の心をとらえ大切に守られて行くものと思います。

最後に編集に当たられました会員とご協力頂きました関係者に心から敬意を表しますと共に感謝を申し上げてお祝のことばといたします。

平成15年5月吉日

野津原町町長 岡本政雄

発刊に寄せて

野津原方言集の最終版の発行に当たり、一言これまでのご苦労とその成果に心からお礼と敬意を申しあげる次第です。

野津原方言調査会を結成され、郷土に伝わる伝説や民話等多くの方言の調査のため各地域に出かけ、多くの人々に出会い、話を聞き資料収集に務められ3500語にも及ぶ方言を収録され、特色ある方言ごとに18分類された最初の方言集前編を、平成7年3月に発刊し、野津原町内は勿論県内外から大きな反響と評価を頂き大変感謝をいたしました。

また、その後平成10年4月に後編として300ページにも及ぶ野津原方言集を刊行され、その編集内容は前編と異にした『方言おしゃべり会話』や『語りべ』など新たな編集方法で、前編にもまして大きな反響を呼んだものであります。

平成11、12年度には、町内の2校の小学校が文部省〈当時の〉の伝統文化教育推進校の指定を受け『伝統文化の体験と研究調査を通じて、地域の再発見と心豊かな子どもの育成』を研究主題に実践活動に取り組みましたが、この活動の中でも方言調査会の皆様のご協力による、小学児童用にわかりやすい方言集を2冊再編集していただき、児童全員に配布でき伝統文化教育推進と、心豊かな子どもの育成に大いに貢献いただいたことは、教育委員会といたしましても感謝にたえないところです。

地域の特色、連帯感や愛着感も薄らぎ標準語で話す、そんな機会が多くなった昨今では地域の温もりある、方言もだんだん忘れられようとしています、このような時期に方言調査会の皆さんの地道な努力によりまして最終的に12000語にも及ぶ野津原方言を

掘り起したことで立派な本に蘇りました。この本は今後の野津原町の文化振興に寄与するものと確信しています。この方言集を野津原町の財産として大事に活用させていただきたいと考えています。

終わりに方言調査会の皆様の活動、努力を心から称えと共にご健勝でますますのご活躍 ご祈念もうしあげお礼のご挨拶とします

。

平成15年5月吉日 野津原町教育委員会

教育長 裸 野 将 紀

『野津原方言単語… 6 0 9 9 語』



はじめに……………	0
会長あいさつ……………	1
町長ごあいさつ……………	2
教育長ごあいさつ……………	3
もくじ……………	4

あ……………	5
い……………	8
う……………	1 2
え……………	1 5
お……………	1 5
か……………	1 9
き……………	2 4
く……………	2 8
け……………	3 0
こ……………	3 1
方言のひろがり……………	3 6
さ……………	3 8
し……………	4 0
す……………	4 5
せ……………	4 8
そ……………	4 9
答え方で変わる方言……………	5 2
た……………	5 3
ち……………	5 6
つ……………	5 9
て……………	6 2
と……………	6 4
方言の動き……………	6 9
な……………	7 0

に……………	7 3
ぬ……………	7 5
ね……………	7 6
の……………	7 8
難解方言 5 0 語……………	8 1
は……………	8 2
ひ……………	8 6
ふ……………	9 1
へ……………	9 3
ほ……………	9 4
面白方言行き帰り……………	9 8
ま……………	9 9
み……………	1 0 2
む……………	1 0 4
め……………	1 0 5
も……………	1 0 7
や……………	1 0 9
ゆ……………	1 1 0
よ……………	1 1 1
らりるれろ……………	1 1 3
わ……………	1 1 3
監修を終えて……………	1 1 5
編集あとがき……………	1 1 6
方言調査会員……………	1 1 6

方言単語

あ	ああ……………はい	あいたまー……………あのひとは
	あいとねー……………あいたくない	あいた……………開けた……………あきた
	あいこ……………おなじ	あいつ……………あのひと
	あい……………はい	あいそわらい……………しかたなく笑う
	あいぶさい……………にあわない	あいびきしゅー……………しのびあい
	あいよせん……………あう暇がない	あいちよる……………開いている
	あいとねー……………あいたくない	あう……………合ってみる
	あえくる……………話をにごす	あえた……………混ぜあわせた
	あえそこなう……………和えちがえる	あおびょうたん……………顔色が悪い
	あおなり……………熟れずじまい	あおーふく……………泡が出る
	あおぬく……………上向く	あおのきさんばち……………頭から後ろ 向きに倒れる
あか……………あかちゃん	あかまんま……………水引草	
あかべこ……………赤ふんどし	あかちょこべ……………こどもの悪口	
あかる……………嫌われる	あがりば な ……………上がり口	
あかれた……………嫌われた	あかふじょう……………出産厄	
あがりぐち……………座に上がる所	あぎゅー……………あげましょう	
あきがくる……………退屈して嫌う	あきらむる……………あきらめる	
あく……………苦味のする味…灰汁	あくがある……………変化のある個性	
あぐら……………ひだを組む	あくがお……………悪役に向く顔	
あくたん……………悪口	あくせなえ……………悪いですね	
あけぼ……………あけび	あげなし……………あんなひとたち	
あげんこつ……………あんな事を	あげよせん……………あげる間がない	
あげまい……………小作米	あげそこなう……………あげるに失敗	
あげく……………そんうえ	あげさかや……………酒の小売店	
あけの……………夜があけてすぐ	あげんし……………あんなひとたち	
あこぎ……………やがうえ	あごたん……………口やかましい	
あごがさかしい……………口うるさいおしゃべり		
あさやま……………早朝に山に行く	あさひばたけ……………日当てのよい畑	

あ	あさって………明後日、	考えが見当違いの人
	あさまら………朝男の勃起	あじろしい………立派な
	あじけた………妙にいじける	あしがつる………足が硬直する
	あしゅうくずす………襷を組む	あしゅうだす………赤字になる
	あしゅうさいだす………足で指図	あしゅうたごかす………ねんざする
	あずかっちゃけ………預かる指図	あしゅうひこずる………びっこひく
	あずからん………預かりません	あずきめし………赤飯
	あせる………干し物を転換する	あせくる………物にかけ除け
	あせぼ………あせも	あせりぼう………乾燥の転換農具 むしろ干しなどの場合に使う。
	あせらにゃ………転換せねば	あせかき男………色気が多い男
	あそびーもな………遊びにもね	あそんじゃらん………遊んであげぬ
	あそこん………あの家の	あそこら………あのあたりは
	あそばれん………遊ばれない	あたりそこなう………的中しない 予定が違って恥をかく。
	あたる………さわる、中毒	あただに………急に
	あたで………急に	あたまつみ………散髪
	あたりめー………あたりまえ	あたりちらす………人に迷惑かける
	あたって………命中した、中毒	あたりばら………よく中毒おこす
	あちー………暑い	あっちこっち………あちらこちら
	あっち………あちら	あっこん………あそこの
	あっこんし………あそこの人	あつがんいり………熱めの入浴好き
	あつし………布地の厚い衣類	あっちあられん………途方もない事
	あっこ………あそこ	あっきくるごつ………あそこに来る ように伝えてほしい。
	あっちきー………あちらにおいで	あっちさね………あちらの方に
	あでまめ………畦に植えた豆	あてんばか………気ままに言う
	あでごし………畦を越して行く	あっちゃこっちゃ………上下左右
	あてがう………押しつけ、蓋する	あてがはずずる………予想が失敗
	あど………かがと	あてそこなう………命中しない
	あてこま………発情期の回り駒	あてられた………予期せぬ病気

あ	あてこすり……………マッチ	あとつがい……………前後から寝る
	あとびく…うしろに垂れ落ちる	あとがたり……………後から仲間入り 後悔しながら話す。
	あどばね……………雨天の泥ばね	後かるおいのす…追いかけて抜く
	あとんし……………あとの人	あとんまつり……………悔やまれても
	あとげつ……………後ろから交尾	あなまたぐされ…足指の皮膚病
	あなづり……………石の間の魚づり	あなばち……………女性性器
	あなずき……………女好き	あなせせり…女性を追っかける
	あなぬひと…他所の嫁に手出し	あにやん……………おにいさん
	あねじょう……………おねえさん	あねやんかぶり…頭にタオル姿
	あばくる……………化膿が広がる	あばけん……………多くて大変
	あぶる……………火で乾燥、焼く	あふほんめんたま…50銭硬貨
	あぶ……………餅	あぶらぞうきん…米糠入り雑巾
	あばるる……………激動して騒ぐ	あぶらぎちゅる…脂分が多い
	あぶく……………泡	あほらしい……………話にならない
	あほう……………卑下した悪口	あほたらしい…話にならぬよう
	あまじる……………ぜんざい	あまね……………草の根の甘味
	あまたれ……………軒先の雨おち	あまゆる……………甘える
	あまやかし……………甘えさせる	あみゅーうつ…魚捕り網を打つ
	あみかけ……………編み物の途中	あめがた……………形になった飴
	あめぐつ……………生ゴムの靴	あめしずく……………感涙する
	あめ……………甘い	あめがゆうだ……………雨がやんだ
	あもーみる……………考えが甘い	あやしいもんじゃ…油断できぬ
	あゆーじ……………歩いて	あゆーじょつた…歩いていた
	あゆる……………木から落ちる	あらかびゅー……………粗壁を
	あゆまんか……………歩きなさい	あらく……………ひらく
	あら…びっくり、魚の身以外	あらむてー……………あらあらしい
	あらまし……………雑、粗末	あらしこ……………屈強な人たち
	あらかた……………大体に	ありゃーせん……………ありません
	ありゅー……………あれを	ありゃーやっぱ…あれはやはり
	ありゃーまゝ……………どうか	あるきよせん……………歩く暇がない

あ	あるく……………お嫁に行く	ありつけばあさん…嫁さんにつ
	ありしこ……………あるもの全部	いて行き確かめ役。
	あれじゃー……………あれです	あるで……………ありますよ
	ある……………あります	あろうあったけ……………全部
	あれんこ……………餅つきの取り粉	あわせなえ…取った苗を合わせ
	あわつんな……………あわてなさんな	あわず……………冗談
	あんべー……………按配、調子	あんのー……………あれわな
	あんしも……………あの人も	あんじゅー……………按配よく
	あんな……………あのですね	あんべら……………薬製品の荒むしろ
	あんげさね……………あちらのほうに	あんじょー……………よろしいように
	あんげ……………あちらの方	あんちくしょう……………腹立たしい
	あんげむき……………あちらむき	あん……………あのですね、餡

い	いいきび……………相手の苦を喜ぶ	いいえなこつ…そんな事ないよ
	いいいち……………いいから	いいあんべー……………都合よく
	いいかぶる……………言い損なう	いいそこなう…違った発言する
	いいこと……………よいよ、嬉しい事	いいんじゃねー……………よいのでは
	いいくれ……………調子よいが	いいつけちやる……………申しあげる
	いいつけおび……………子守の時の帯	いいのなえ……………よいのに
	いいこみ……………束ねて格納する	いい……………よいです
	いいくれ……………半端、調子者	いいよるき……………言っているので
	いおかう……………土寄せする	いおらんで……………言っていない
	いかせん……………行く邪魔する	いかれん……………行かれない
	いかし……………生かしておく	いがうずく……………胃の痛み
	いがく……………ゆがく	いかけ……………金物の修理
	いかるる……………行かれる	いがむ……………カーブする、曲がる
	いがぐりあたま…綺麗に整わな	

い髪の毛

いかんじゃつた…行かなかった	いきそこなう…行く機会を失う
いきなたり…散らかしばなし、気につけない性分	

い	いきつく………行きつきました	いきおくるる…嫁入りが遅れる
	いきがつまった………呼吸困難	いきはずるる………婚期を失う
	いきあたり………無計画の生活	いくけん………行きますから
	いくしかねー………行くよりない	生くるか死ぬか………絶対絶命に
	いけ………行きなさい	いけかけ………埋葬の穴掘り
	いけん………駄目、いけない	いくかんしれん………行くかもね
	いくる………埋める、生きて行く	いけうち………身内、親戚
	いこーえ………ゆきましよう	いけすけねー………きらわれもの
	いれるるはず………行けるはず	いけよった………埋めていた
	いくもん………行きますから	いごいたごたる………動いたよう
	いごく………動く	いごかにゃ………動かなければ
	いさぎー………あっさりして	いさむる………言い聞かせる
	いじくる………あちこちあたる	いしがきとり………石垣積み
	いじくりまわす…あたりまわす	いじゅーさらゆる………井路掃除
	いしだたみ…道に石を敷き込む	いしゃころし………ドクダミ
	いじらがいー…気持ち悪い痒さ	いしばし………石つくりの橋
	いじくりあう…なかよく戯れる	いぜ………井路
	いぜくやく………井路修理作業	いぜぶしん………井路の補修など
	いそがする………せきたてる	いたま………板張りの部屋
	いたぎれ………板のきれっぱし	いたま 板敷き………板を敷いた間
	いちごもねー………感心する	いちべー………一倍、特別
	いちぜんめし………一杯きりの飯	いちんくれ………夕暮れ直後
	いちあき………新しくあいた俵	いつでんいいで…いつでも結構
	いつけおび………子守用帯	いっとき………少しの間
	いっち………言うて、行って	いっかやす………外にあける
	いっこむ………入れ物に入れる	いっくりかやす………外に出す
	いっちくせー………いいように	いっけんとび………子供の遊び
	いっちゃん………少しも	いっちょう………一つ、距離
	いっちくる………行ってきます	いっちらん…行ってあげない
	いっぺー………一杯	いっちきた………行って来た
	いっこん………すこしも	いつんまにか…ちよつとの間に

い いっかくる……この場合水や肥やしなどを上からかける、与える
意味。火災などの場合にも急いでかける 意味。

いっすんずり……なかなか前に進まない、少しずつ動く。

いいで………よいですよ いいで……束ねてまとめる藁

いでぶしん………井路の修理 いでさらえ………井路の清掃

いてすくばる………返答に困る いてつくばる……返答に困る

いてー………痛い いっかも………何日も

いっかも………前後ろ揃いの荷物 いっくりかやす……入れ物か

いっかきり………一荷だけ らほかし出す。

いっちょするか……ひとつしますか いっこんわからん……少しも解
らない。

いっぷくりゅう……自分の思い通りにする、腹立てやすい人

いとがむつばる………糸がからむ いっぺんぎし……一回かぎり

いどばた………井戸の側で いどら………野バラ

いとまごい………別れにする言葉 いとこみゅうと……親が兄弟姉
妹の子供の結婚。

いとなった………痛くなった いなりぐち………竹製のザル

いなしい………帰らせる いなかづけ………農家の漬け物
ふるい習慣で漬けた物。

いなかもん……山里の滅多に町に出ない場所の人たち

いにたがる………帰りたがる いにそこなう……帰る機会を失
う。

いにいいで………胃によく効くよ いにゅーかむぐる……稲をかた
げる。

いぬる………帰る いねかむげ………稲を担ぐ

いのこ………農村の子供の行事で

秋の亥の日にワラボテを叩いて虫よけ 厄よけを
してご褒美をもらう……素朴な行事。

いねじゃ………帰り際の茶 いねむる………居眠りする

いのこずち………野草の一種 亥の子餅……亥の子行事の餅

いのこばた………井戸の側 いのね………股などの固まり

『野津原神社ん楠』

樹齡が100年は越す 野津原神社ん楠は 日露戦勝記念に
植えこんだち 話しよったが 当時は家にあった苗を 植えこ
んで早いもん もう100年を越しち 知っちよるしも少ねえ
が 太ったそん根が延びち 土を持ち上げた雄姿は 歴史も感
じさせちくるる。

慰霊碑は日露戦争に 従軍したしたちじ 戦死した人たちん
慰霊と 戦勝ん記念碑。当時の里人が社域を整備しち 記念碑
を建て 楠を植えち憩いの 場所にしたんじゃろう。えーと世
の中が納まった時代になっち 合祀ん祇園神社ん 山車も建造
しち無病息災ん願い込めち 曳き立てが始まったんじゃ ある
めーか。祇園神社ん祭りが 旧7月17日⇒24日になるき
清正公まつりも旧7月23日⇒24日じゃき こん日に合わせ
ち祭りんお供山車《ダシ》としち 参加するごつなったんじゃ
なかろうか。

楠にゃ防虫効果があっち 樟腦を抽出しよったが ナフタリ
ンの名前も懐かしい。苗を植えくうだ そんしの話によりゃ
当時ん町並み街道筋は ほとんどが茅葺き屋根。お役所なんか
は瓦葺き屋根じゃき 火に強い『ヒヨケ』ち 呼びよった。
火を避けちくるる意味じゃが そん火避け山があっち 高さや
らは2間《ケン》約6メートル。幅が1, 5間ぐれじ約3メー
トルあまり。現在の本町と恵良境、野津原神社参道の東側と
そん正面道向かう側、旧地藏谷の西側を街道の南側に《高札場
の正面あたり》 火災の時ん火をここじ 食い止めよったそう
な。

楠は油質性じゃつたき 火の用心にゃ氣くばりが 大変じゃ
たじゃろうが 木陰は広くおおきかったき 親しまれたよう。

権現にあった白山権現さまと 平野にあった祇園神社ん お旅所《仮のお宮》が 当時ん古町にあった。古町⇒野津原町ん事じ江戸期間に 新町ができちかるは 古くかるある町じゃき 古町ち呼ぶごつなつたごたる。今ん野津原神社周辺に 2つんお宮ん お旅所があっち 定期的にここに お出ましになり 祭りん市があっち はじめは物物交換なんかが 北は庄内 挟間かる 南は戸次 判田 大野かる 人々が集まつたごたる。

当時ん幹線ルートは山を越えち 谷村 賀来、別府に。南は大野、判田、戸次、それも入蔵経由が多かつたごたる。豊後ん3大市ち言うと 浜の市、賀来の市、清正公市、ち言うぐれーじ清正公まつりにゃ 郡役所に届をでーち 『ご迷惑はかけませんから』と 許可をもらいよつたそうな。そん代わり 郡役所かるも祭典の日になゃ 伺候が来て『ご祝儀』も あつたよう。

現在の神門は 江戸時代当時の『お陣屋⇒お茶屋』の 裏門じ役員門《薬院門か》を 神社創建の際に 移築したち言う。柱は樺4本柱じかつては 瓦にゃ紋が入ちよつたが 長い間の傷みじ今は その面影はねえが 紋の作りは普通とは 異なちよるごたる。旧野津原村ん郷土神社として 『郷社野津原神社』で明治4年《1871年》から 氏神様として 崇められちよる。

伊能忠敬の郷土測量じ この周辺の基礎そくりよう。幕末時代にゃ風雲急を告げる頃 勝海舟と坂本竜馬が 密命じ強行横断。夢とロマンじゃ源義経が 落ち延びる中継地じつたが。まっと昔にゃ大和武尊が日向かる 引き上げに御座岳かる 『こん里は人が優しく暖かな桃源郷』ち 一夜の夢も結んだそうな。

夢は多いがよい そして実現するなら尚よいが。そんな新しい夢を描いて 明日は今日より しあわせな ふるさとに 皆んなじ守り育てち 行きたいもんです。ご自愛ください。



古い野津原音頭が7番までで あとが不明ですので 少し淋しいとの意見が多くて《本当は10番まであったと思う》合併前の 今市地区や大字上詰地区の 歌詞も入れて合計を14番までに になりました。素人作詞ですので今後は これに類似したものが 出来たらまた楽しいと思います。曲は当時のままの『紅屋の娘⇒中山普平作曲、昭和4年』です。

- 1 おばねの街道 石だたみ ト サノ 石だたみ
殿様行列 きらびやか ト サイサイ きらびやか。
- 2 あの娘《コ》年頃 今市原に ト サノ 今市原に
牛を飼うのも いじらしい ト サイサイ いじらしい。
- 3 岩をぐって 三助井路の ト サノ 三助井路の
水も豊かな 黄金波 ト サイサイ 黄金波。
- 4 四辻峠にゃ 茜雲 ト サノ 茜雲
荷尾杵 獅子舞い 白熊練り ト サイサイ 白熊練り。
- 5 在所帰りか 貝殻岳の ト サノ 貝殻岳に
響く神楽に 子がはしゃぐ ト サイサイ 子がはしゃぐ。
- 6 野津原よいとこ 櫓の上で ト サノ 櫓の上で
嬉し 十五夜 踊りの輪 ト サイサイ 踊りの輪。
- 7 笑顔が揃えば 夢がある ト サノ 夢がある
明日は今日より 幸せに ト サイサイ 幸せに。

24, 4, 吉日

高齢者が多くなっち 福祉バスも巡回しよった。バス利用が目的じゃがそれだけじゃ 無理もあるもんじゃき へき地方面じゃタクシーとバスん連携じ 乗り換えん不便なあったが バス路線の分は支所かる 乗りの都合いいバス停かるわ タクシーがチャント待ちくれちよる。

デイサービスんしたちは 直接家まじ迎えが来ちくるる。そ
げなしたちが施設じ歌うんが 『のつはる音頭』じゃつた。戦
中ん昭和初期にはやった 『野津原音頭』ん 後継音頭ち言う
ようなもんじ ドシテン想いだせんもんじゃき ムゲネコサレ
になっち 7つに足したんが こきある主に今市地区と 上詰
地区ん分が出来た。

こんだ三輪先生がち 名前んはいったんが出来た。らこんだ
『しあわせん丘』も 入ったがイイデち こちなっち又こんだ
新しい そんなわり『のつはる音頭』ち なったごたる。

楽しい『のつはる』音頭

《2012》

- 1 あなたに 逢えた しあわせの丘は サノ しあわせの丘は
唄の絆が あったから ト サイサイ あったから。
- 2 あちらから こつちから 来て想う サノ 来て想う
出で湯に 若さも 保たれる ト サイサイ 保たれる。
- 3 寄り添う 大分市に なってから サノ なってから
道《道路》も 水《水道》まじ あら嬉し ト サイサイ
あら嬉し。
- 4 過ぎた 苦労は あったけど サノ あったけど
時の刻みが 糧となる ト サイサイ 糧となる。
- 5 話しが はずめば 気も豊か サノ 気も豊か
たった一度の 道《運命》じゃもの トサイサイ
道《運命》じゃもの。
- 6 三輪ノブさーんの 唄車 サノ 唄車
宝いっぱい ほがらかに ト サイサイ ほがらかに。
- 7 笑顔が 揃えば 夢がある サノ 夢がある
明日は 今日より 幸せに ト サイサイ しあわせに。

こげなふうじ『のつはる音頭』に なっち昔んうら若い美人
が 唄うそん唄にゃヤッパ 情緒があっち野良仕事ん 後かる
泥じキサノウナッタ 手足しゅ洗うとコリャマタ 美しさがイ
チダント 輝くもんじゃき『今頃かるドキ行くんな』ち 近所
ん若えしがセワシガル。

『ドキモイカンデ』 そんくれ言わんと ヒョイトしち近所
んしに聞こえたら オオゴツ作りたつる。ところじ こん唄ん
節はすべて『紅屋の娘』⇒昭和4年に レコードは売られたが
そげー 買うしゃまゝオランジャツタ。けんどすぐ節は覚ゆる
き 唄も時の間に覚ゆる。

寿年令になったしたちも 昔取った杵つかじ 覚えは早えも
んじ 時の間に覚えち唄いよる。ただ歌詞を覚えるこちなると
ヤッパ 暇がいるごたる。そげんこたーどうでん とにかく心が
豊かになりゃ あた一時間が勝負。ぞげ慌てた所じ どうも
ならんきなえ。

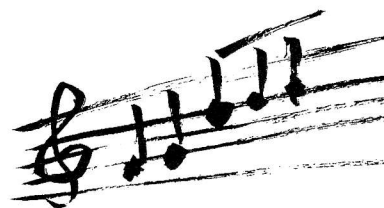
過去ん苦勞を糧にしちよるき 今日健康じ過ごす それが
なによりん幸せち言うもん。元気に唄いましょうな 入れ歯が
飛びでらんごつな。三輪先生ん 唄車に乗せち 大声あぐりゃ
それこす 元気な元じゃき 健康がいちばんじゃきな。発声す
るんも元気な証で。

何べんも詩を書き換えちくれた 調査会んしたちも思わん
勉強が出来たち 転げ回るごつ喜びよったわな。唄は世に連れ、
世は唄に連れられち それが平和ん証じゃが こん頃ゝチット
雲行きもおやしいがモそれもまゝ 刺激なっちいいんかん。心が
豊かじありゃもう 最高ち思わにゃなえ ふんと。聞こえち
来たごたるヤッパ 故郷ん唄ちゅうな いつ聞いてんいいもん
じゃなえ やぐら太鼓に合わすりゃ 尚よかろうごたる。

方言説明

- 2 3 P ドシテン…どうしても。ムゲネコサレ…可愛いそうで。
こきある…ここに 있습니다。こんだ…今度は。イイデーよ
いですよ。こちなった…事になった。
- 2 4 P なったごたる…なったようです。こっちから…こちらから
。あらうれし…とても嬉しい。三輪ノブさん…かつて教職
じ後婦人会活動など 社会活動家で作詞もでがけた。
- 2 5 P こげなふうに…このような事に。ヤツパ…やはり。キサノ
ーナッタ…汚くなって。コリヤマタ…これはこれは大変。
ドキ…どこに。ドキモイカンデ…どこにも行きませんよ。
ヒョイト…もしかして突然に。オランジャツタ…いません
でした。けんど…けれど。寿年令…高齢者に。ヤッパ…や
はり。そげんこた…そのような事は。どうぜん…どうで
も。あた…後は。そげ…そのように。どうもならん…ど
うにもなりませんので。なえ…でしょう。しちよるき…し
ていますから。でらんどつ…出ないように。あぐりゃ…さ
しあげたなら。じゃき…ですから。転げ回るごつ…嬉しさ
のあまりに跳びはね騒ぎ回り。おやしいがモ…おかしいよ
うじゃない。ふんと…本当に。もんじゃき…ものですから
ら。

出会う機会がある。デイズービス通いの 人たちでも同じ年令や
環境など過去の 懐かしい時代があった。そんな人たちの追憶を
そっと思い出させてくれる 唄は無性に元気を貰うような 毎日にな
ってそこに心ときめく。唄があったから勇気が 元気が湧き出た
ような。気持ちがこんな連鎖反応で つぎつぎと何かを求める。心の
潤いの時間だったのでしょ。無心に唄った記憶を追求すると…
そこには仄かな夢やロマンも あって久しぶりに若かえる チャン
スも貰ったように 少女らしい姿態に 恥じらいもない幸せ人生。
よかったですね いつまでも幸せを抱いて……………



方言集語



せ セチトキャ…情けない時には、切ない時には、悲しい時には。
セチデンコライ…情けなくても我慢、切ない時程我慢して。
セチハタラキ…区切りの時に働く、ゆつくりした時に働く。
セチカリヤハリコメ…悔しい時は頑張れ、悔しければ頑張れ。
セチボジカヤス…やかましく叱りつける、煩く叱りつける。
セチナギー…情けなく切ない、言えないほどの悲しさ。
セックバタキ…休み頃に働く、人並みにせず働く変わり者。
セッテンヤッテン…どうにもならない変わり者、異国者。
セッチコスシンボウ…切ないなら我慢辛抱、苦労は我慢から。
セツネ…切なく辛い、情けないけれど我慢のしどころ。

セッチウレタ…競り落としたので売れた、互いに競い逢う。
セツデン…情けなくとも、切ない時でも、苦労していても。
セツウジ…切なく辛いが、情けなく大変だが、苦労しても。
セツタニ…競ったのに、競争したものの、我慢のしどころ。
セッキ…区切りの季節、変わり目の仕事の仕分け上手に。
セット…忙しい季節、繁忙期間、際どい区分けの英知。
セッチョキャ…競っておけばいいことも、曳くときが楽。
セゾートビアルク…背戸を飛んで歩くよう、動きの早い。
セデチョキャ…煎じておけば、煎じた薬は妙薬に。
セデクウジ…無理強いしては損する、無理強いは用心を。

ゼデチャリヤ…煎じてあげたら、難しい煎じ薬療法。
セデンデン…煎じなくても、そのままでも使える、煎じ無用。
セデタキイラン…煎じたから不要、間にあるから。
セデリヤトク…煎じてあればすぐ間に合う、準備周到。
セデテンデル…煎じた後でもまだ使える、無駄にしない。
セデダサルリヤ…煎じて絞られれば、そこまでやれば。
セドカル…背戸からの珍客、勝手知った人たちは、勝手道。
セドカジキオツキ…瀬戸の風に用心を、背戸から火事用心。
セドニヤカガワク…背戸の掃除は確実に、背戸溜り不衛生。

せ セドコスカクルル…背戸は隠れ場所、背戸ん使い用、隠れた。
セドカジャマンリョウ………背戸の風ん涼味、夏のごちそう。
セドコスアソベル………背戸は遊び場、背戸なら怒られない。
セドガキ………背戸で遊べば心配無用、勝手知った場所なら。
セドカジュ………背戸の風には満両ん気持ち、通り抜けの風。
セナリー…してすぐ、したとおもっていたら、してよかった。
セナコ………背中を、背中に問題が、背中が不安になって。
セナミャウツクシイ………背の稜線は美しい、背の並みが良否。
セナリャコ………したからこそ、してよかったと、後悔なくて。
セナコケーチ………背中をかいてくれない、痒いので背中を。

セナココスル………背中をこすって垢を落とす、汗を流して。
セナンコナカスナ…背中の子供を泣かせないように、子守上手。
セナリャシゴツ………仕事をしてこそ、してから評価もされる。
セナク………背中を使う、背中が広くて安心、背中が懐かしい。
セナコカセ………背中を貸りて暖まる、背中も道具物。
セナキ………背中に来なさい、背中を上手に使って、背中芸者。
セナカンコエマツ…背中に肥松が難かし者、言葉に気をつけ。
セナケトマレ………背中におんぶして、背中が一番安心。
セニカエル………背中に腹は変えられない、出来ない相談も。
セニセンジ…背中にしなくて、背中以外の場所に、背より腹。

セニワタリミチ………背中に渡る道もある、背中を越える方法。
ゼニャマワッチクル………銭は天下の回り物、いつかきっと。
セニヤナラン………しなくてはならない、することが大事。
ゼニダケガ………銭だけが世の中じゃない、銭より大事な物も。
ゼニャメノカタキ………銭は目の敵のようでは、銭も信用も。
ゼニャツカイヨー………銭は使いようで、金と頭は使い方で。
ゼニドマモラエ…銭を貰えば使い道は多い、心が大切じゃき。
ゼニガカタキド………銭が敵だけじゃない、銭が悪さもする。
セニャ………しなくては、する事で大きな宝も、する大切さ。



せ セネバッチ……そねばりいらいする、気分が優れないよう。
セノナコワタレ………浅瀬を選んで渡る、流されないように。
セノウユワタレ………浅瀬の上を選んで、用心して瀬渡りを。
セノビャゲンキ………背伸びするのは元気な証拠、全身運動を。
セノリャイイモン………背中に上って見渡す、背に馬乗り。
セノコリャアンマ…背中の懲りは針灸マツサージ、早め治療。
セノコリャヤイト………背中の痛みは灸が、早めの治療が。
セノベー………背伸びして深呼吸、背を伸ばして全身運動。
セバギル………邪魔して悪あがき、人を競りのけて世話を。
セバメチ………狭くして、狭くする事で、狭くなれば有利にも。

セバケリャヒロギ…狭いようなら広めて、狭くて不自由なら。
セハバガヤキタツ…背中の狭い人なら通れる、するり抜ける。
セバマッタド………狭くなったから、狭いから大丈夫。
セバメチョケ………狭くしておけば、狭くったのでせ至便に。
セバマリャ………狭くなれば利用価値が、狭いからゆっくりと。
セバマッチ………狭くなって整理が出来た、せまいと簡素。
セバムリャ………狭くすれば得もある、せまいと整理が簡単。
セバクリオウチ…狭いところで賑やかに、狭い場所の賑わい。
セビノンコマル…狭くても困る、狭いから困難、狭さに苦労。
セビナコライ………狭いのは我慢して、せまいから整理する。

セビニデン………狭いでもよいの、狭いから我慢出来る。
セビゴタル………狭いようだから、狭いから整理したよ。
セビトコリ………狭い場所でも、狭いなりにうまく使う。
セブリャ………無理を言うと、無理やりにはしがかるから。
セブッテン………無理強いしても、欲しがってもないから。
セブリカエーチ………欲しがらるもので、欲も入った欲しがり。
セブリャコス………欲しがればこそ、欲しいなら早めに。
セブルノン………欲しがらるのも中身が問題、あつかましい。
セブルンカ………無理じいするんか、欲しがり欲が強い。

せ セブルクセ………欲しがらる癖がある、何でも欲しがらる欲強い。
セブリジョウズ………欲しがらるのが上手に、調子よく欲しがらる。
セブタンカ………うまい具合に欲しがらる上手、無理強いする。
セベナコライー………狭いのは我慢して、狭いから承知で。
セベートン………狭いのはこの上なし、狭い自慢になるから。
セベンカ………狭いのですか、この上なく狭いと思うよ。
セベンジャガ………狭いのですが、狭すぎる程に。
セベナリ………狭いなりにも、せまいけれど整理がきくから。
セベムリヤ………狭めると使い勝手がいい、狭いとよいかも。
セベデンツカエ………狭いなりに使い勝手が、狭いから徳用。

セベカリヤ………狭いならそれなりに、狭いから使いやすい。
セベブナ………狭い分は生かされるから、狭いのも徳用。
セボカリヤ………狭いから使いこなす、狭いから徳用に。
セボデン………狭くてもうまく使いこなすと、狭いから有利。
セボジ………狭いけれど徳用に使える、狭いだけ有利。
セボージ………狭いだけに有意義に使える、狭いから整理が効く。
セボージャイイ………せまいからよい点も、せまいから簡単。
ゼボケンドキチヨル………狭いと文句言ったが来ている。
セボメチャル………狭くしてあるので便利、狭さが有利に。
セボムル………狭くすれば至便に使える、狭くして有利に。

セマギツチ………無理やりに世話をしたがる、押し退けてまで。
セマクロシイ………狭くて雑多な住まい、せまいので整理が。
セマギル………無理やりに世話をしたがる、押し退けてまで。
セマカリヤ………狭いのなら工夫して、有意義に生かす至便性。
セマチナオシ………狭い土地を交換分合して、畦を取り除ける。
セマスグリヤ………狭くて困難なら増築も、広める工夫も。
セマグルウツチ………狭すぎて気の毒だが、狭く恐縮です。
セミーチュウ………寒いと言うけれど、閉めなさい、攻めての手。
セミータイワン………閉めなさいとは言わないが、攻めて奥の手。



せ セムリャコス……攻めたからこそ、攻撃したために、強引に。
セムンノカ……攻めますか、閉めますか、閉めてもどうか。
セムンナリャ……閉めるのなら、攻撃しても、強引がどうか。
セムルソベ……攻めていると、閉めていたが、閉めてはだめか。
セムシャイド……魚取りのえさに、えさはたくさんあるから。
セメアゲチ……攻めて追い詰めて、強引に攻めたが。
セメチョケ……閉めておけば、攻めたのが効果、強引はどうか。
セメチャラン……閉めてはいない、攻めてはまずい、無理は。
セメラレチ……攻められて、閉められた、攻撃されて。
セメチョキャ……攻めておけば、攻撃が効果、閉めておけば。

セメテンムリ……攻めたとしても、攻撃効果は少ない。
セメクージ……攻めて入ってくる、押し込んでしまう。
セメマクッチ……攻撃したものの、攻めても効果は、閉めても。
セメタテチョケ……攻撃して追いこむ、攻めて追い払う。
セメンド……攻めないから、攻撃は無駄、閉めないから。
セモウツカエ……狭く利用する方法、狭く上手に利用。
セモタリャ……背をもたせる、楽な姿勢にもなるが。
セモナリャ……狭くなれば、狭い利用方法、うまく使う。
セモカリャ……狭いなりに、うまく使いこなす、整頓が出来る。
セモデン……狭くても使い方、せまい上手な利用方法。

セモクロウッチ……狭いので窮屈、狭い部屋に大人数が。
セモイケ……狭く上手に動く方法、忍びの戦法、使い勝手。
セモヤレ……狭く上手に動く特技、広いのに狭く使う工夫。
セヤンヤクル……世話が大変で苦労する、面倒見が大変。
セヤマジャ……世話までは出来ない、世話は大変だから。
セヨスリャ……世話はしても儲けには、世話は損の始まり。
セヨサシイ……世話をさせて任せて、世話過ぎに任せて。
セヨシヨ……世話をしておけば、世話のお返しもある。
セヨシチミヨ……世話をして大変さ、世話の巧妙はなかなか。

せ セヨシタバカシ……世話したばかりじ、世話だけして。
セワシメー…世話はしない事に、世話は苦手で、世話苦痛。
セワシキャエータ…世話するのは飽いた、世話はもう大変。
セワシテン……世話をしても、世話の後始末も大変。
セワスリヤ……世話したばかりに、世話の後が大変で。
セワシチコス…世話してこそ苦労もわかる、世話の苦労が。
セワデンイイキ……世話になっても、世話が出来れば。
セワガツチヨケ……世話はしておけば、世話になるもの。
セワンワヤク……世話が朝飯前、世話の上手な人間も。
セワクノタネ……世話は苦労が伴う、忙しい苦痛が残る。

センジャツタカ……しなかったので、すまないの、未決。
センチンソダチ……慌てて戸が開いたまま、あわてんぼう。
センスラ…冗談好みの人間、調子者で信用が、充てならぬ。
センギ……捜し回る、捜したものの、捜し当てない、審議。
センナムゲネエ…しないのは可愛いそう、なんとか満たせ。
センドリヤ……男性の自慰、適齢になると自然摂理。
センブリヤキク……漢方薬の効果は大きい、常備薬に。
センギシヨル……捜しているの、捜し回って、調査中。
センタクイトー……洗濯に使う板、生活用具でもあった。
センドル……男性適齢になると自慰行為、人間成長の摂理。

センズリ……男性独特な摂理、自然的な自慰行為。
センゴツ……しないように、使用しない、使わない、中止。
センニモ…以前にも、よくあった過去、前にもよくあった。
センデンシタチ……しなくてもしたと誤解、罪をかぶせる。
センノカ……しないのですか、しなくてよいの、利用せず。
セラングツシヨ……押しあわないよう、危険です押さない。
セライゴハ……養子が入ると途端に子どもが生まれる例が。
セラルリヤ……押されたら、無理強いされたなら、推薦で。
セランジヨケ……押さないように、無理押ししない。



せ セラレテン…せられたとしても、せられたのなら、押された。。
セラレンゴタリャ……押されないようなら、押されないから。
セラニャ…押さなければ、押さないようなら、押してほしい。
セランジコス……押すないからこそ、押さないのであれば。
セリクリャ……押しまくるなら、乱暴に押すのなら。
セリクウジ……押し込んで、無理にセリこんで。
セリデーチ……せりだしたので。無理に押し出した。
セリデータ……セリ出して。押し出してしまった。
セリクウダ……無理にセリ込んできた、せりこんで。
セリモウチ……せりあいながら、無理にせりあうので。

セルチュウテン……せりあうと言うても、せり合うのも。
セルソベ……せり合う側で、せり合っている側での。
セルリャ……されるのなら、されるのも、された場合は。
セルルカ……されますか、出来ますなら、してくれますか。
セルンナ……されるようですか、できるようなら、出来る。
セルンカ…押しますか、押してあげましょう、押すのですか。
セルルモンガ……押されるものですか、押されますか。
セルキカセ……押すのでかして、押しますから貸して。
セル……押す、押しましょう、押してあげます、押し出す。
セレセレ……ほぼ同じ、一緒くらいかな、平均くらいの。

セレンゴタリャ……押せないようなら、惜しいけれど無理。
セレタナイイガ……押したのはよいが、やっと押したものの。
セレンクシ……押せない、競られないのに、競るのは無理。
セレテン……競られても、押されても、押しちとしても。
セレタンカ……押したのですか、競りはどうですか。
セレチョリャ…競られていれば、押しておけば、押せたなら。
セロウドチ…押したいと思い、押せると思うが、押したいが。
セロモンナラ…押すのなら、押したとしても、押すならもう。
セロウセロウ……押して押して、競ってみたら、押せ押せ。

せ セロモンナ………するものなら、するのであっても、しても。
センバ…脱穀する農具、たくさんを束ねる、多くを早くする。
センデン………しなくても、しなくてよいから、やめなさい。
センチン…便所、トイレ、簡易排便場所、主に家の外にある。
セングンシンギョウ………大勢でお経を捧げる、集団読経。

そ ソーデ………………………………………………………………………………
ソイナリヤ………それならば、そうであるのなら、そのように。
ソトン……………………………………………………………………………
ソイカリヤ…………………………………………………………………
ソイカクリヤ………………………………………………………………
ソイジョケ………そぎとって、削り取って、削って細くすれば。
ソイジャロウ……………………………………………………………
ソイチミヨ………………………………………………………………
ソイジョク…そぎ落とす、そいでおけば、削って細くすれば、
ソイジカル………………………………………………………………

ソイデン………………………………………………………………
ソイチカル………………………………………………………………
ソイチョラニヤ…………………………………………………………
ソウラモウ………それはもう、それはそれはもう、とても大変。
ソウヤ………………………………………………………………
ソウモユー……………………………………………………………
ソウマジャ…そのようまでは、そんなにまでは、それまでは。
ソウトン…そうとも言う、そのようですよ、そんなに言うが。
ソウデン………………………………………………………………
ソウクリヤ…そうとなれば、そのように言うなら、そうなら。

ソウチャ……………………………………………………………
ソウグレカ……………………………………………………………
ソウカンシレン…………………………………………………………
……………………………………………………………



そ ソウソウ………そうですとも、そのようです、全くそうです。
ゾウクル……騒がしくする、いたずらをする、冗談まじりの。
ソウジャロ………そうでしょう、そのようですよ、もっともな。
ソウグレカ………そのようですとも、全くそり通りで。
ソウデンイイ………そうでもよいです、そのようで、よいです。
ソウモネエ………そうでもないよう、それは違うのでは、無理か。
ソウデンイカニャ………それでも行かないと、行くのがよい。
ゾーヨ………生活経費、やりくりが大事じ、年末あせわしい。
ソエノ……添えたはかりで、添えて間もない、そえてよかった。
ソエン………添えないから、そえるのは無理かも、無理せずに。

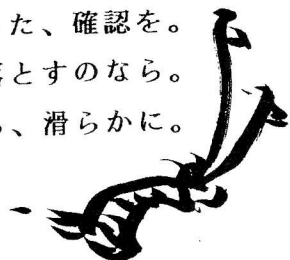
ソエテン………添えても、そえたとて、そえないほうが。
ソエギシチ………添えたから大丈夫、添えてよかったよう。
ソエニイク……添えに行きます、そえておけば、添えるために。
ソエタンカ………そえたのですか、添えましたか、そえたらよい。
ソエチョキャ………添えておけば、そえたなら、添えておけば。
ソエチャリャ………添えてあげたら、そえてあげる、添えて待つ。
ソエグチャ……口は出さないが、ちょつと口添え、無理は禁物。
ソエラレンド………添えられないから、添えても無理なよう。
ソオモユー………そんなにも言え、そんなに言うたら、らしいよ。
ソウドシイ………うるさい状態、騒がしいので、静かに願いたい。

ソウシキヤ………死去の慌て、葬式は、告別式は、葬儀の日程は。
ソウソウ………早々と、火急に駆けつけて、さすがに早い。
ソウジャロ………そうでしょう、そうと思います、たしかに。
ソウカ…………そうですか、そうでしょうね、承知しました。
ソウチャ…………そうですとも、そう思います、そうですよきっと。
ソウグレカ…………そうですとも、そのように思う、それが正しい。
ソオトン…………そおですよ、そのようですとも、たしかにです。
ソオナ…………そうですか、そうでしょうね、なるほど解ります。
ソオオムーデ…………そのように思う、たしかにそうでしょう。

そ ソオラキタ……見なさい来ましたよ、待っていたように来る。
ソウシチョキャ………そのようにしておけば、そして待てば。
ソウユウテン………そのように言っても、言うて見ても。
ソウカンシレン………そうかも知れないが、多分無理と思うが。
ソカイイキ………そこはよいですから、そこは大丈夫です。
ソカコマル………そこは困りますが、邪魔になるのが困る。
ソカワリー………そこはいけませんよ、そこは駄目ですよ。
ソカシラン………その事は知らないが、全く関係ないから。
ソカシタド………そこは済ませましたよ、そこは終わって。
ソカヌリー………底のほうは温度低い、そこは温かくない。

ソカ……そこは、底は、その方は、そちらの方は、その辺は。
ソガンカ………そいで、削って、削ることで細くなる。
ソカホル………そこは掘るので、そちらは掘る予定で。
ソキニヤ………そこには、そちらには、そちらの場所には。
ソキマジシチ………そんなにしてまで、そんなに世話しても。
ソキンシ………側の人たち、側にいる人たち、側で見ている人。
ソキスリャワリ………そこにしては悪い、そこは困るので。
ソキコス………そこにこそ作るが、適地でよかった、決めた場所。
ソキデン………そこにでもして、そこが一番良さそうで。
ソキー………そこに、底に、底にも適当な場所が、指定席。

ソギトレ………そいで取る、削って細くする、削れば安心する。
ソギオトセ………削って細く仕上げる、細くすれば上品。
ゾクゾクスル………興奮して、異常な状態に、予想以上の出来事。
ソクラソング………そこいらの、周り周辺の、近所近辺。
ソクツブセ………そこを埋めて、底を潰して、その辺を閉める。
ソクユウシナ………そこを修復して、その辺の修理を。
ソクミタカ………そこを見ましたか、底を点検した、確認を。
ソグクレナラ………削るぐらいなら、そぎ落とすのなら。
ソグンナラ………削り落とすのなら、そぎ落とすなら、滑らかに。



そ ソーベクソウロー…でたらめに、勝手気ままに、信用ならん。
ソージャキ……そうですから、そうと思うが、そうでしたか。
ソーンゴタル………そのようで、そのように聞きました。
ソートン…そうですとも、そのように思います、でしょうね。
ソージャロ………そうでしょう、そうと聞きました、たぶんね。
ソーカンシレン………そうかも知れません、そのように思って。
ソージコス…それでよかった、その方がよいと思う、それで。
ソーユウタモンノ………そんな事を言っても、それで果たして。
ソーコシヨルト………そうしている間に、やがて結果も出る。
ソーデンセント………そのようにしないと、そうしておけば。

ソーデ………そのようですよ、そうと思っていた、それがよい。
ソージャツタ…そのようでした、それでよいのでは、解った。
ソグレカ………その通りで、それがよいと思う、解りました。
ソーソー………その通りですから、解ったようで、やっと解決。
ソーシチョコ………そうしておきましょう、そのようにして。
ソーナラ………そのようなら、そうであれば、そうでしたか。
ソーコウシチ…やがて結果も、間もなく解る、やっと解った。
ソーチャ………そうですとも、それでこそ、それがよいよう。
ソーカチ………そう言うても、それでよいのですか、なにと。
ソーユーナラ………そんなに言うなら、それでよいのですか。

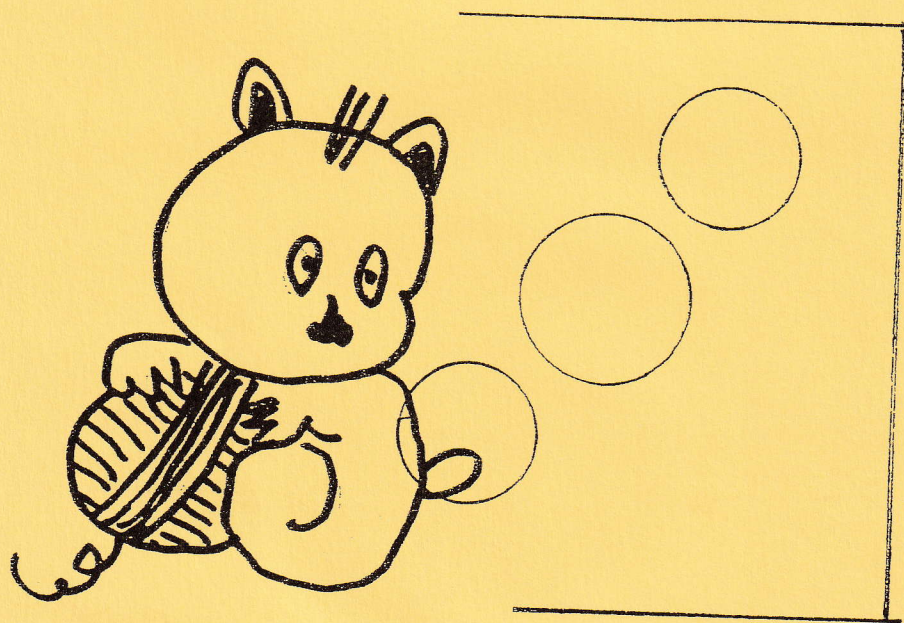
ソゲマジ…………そんなに言うのなら、それでよければ。
ソゲンコツ…そんなことが、無理ではないの、不安なんだが。
ソゲメー…そげないのでは、そげますか、そぐのは無理かも。
ソゲマジャ………そんなにまでは、そんな無理は、卑怯では。
ソゲイワンデン………そう言わなくても、無理は言わないが。
ソゲンコター………そのような事は、それは無理では、違うが。
ソゲタンカ………そげましたか、そげたのなら、そげればよい。
ソゲンコツジ…そのような事で、それは無理では、乱暴では。
ソゲー………そんなに、そんな事で、無理では、気がつかない。

そ ソゲンハダ…そんな事は、それはちがうのでは、それは無理。
ソゲナ………そんな、そのような、無理な話で、少し待って。
ソゲチ…片側に寄って、片寄って、曲がって、予定より外れ。
ソゲンコトン………そんな事も、予想異常な、予想意外な事も。
ソゲンモンジャ………そのような物です、予想が外れて落胆。
ソゲセカンデン………そんなに急がなくても、慌てても。
ソゲナンナ………そのような物は、予想以上の物は、知らない。
ソゲナコチ………そんな事に、知らなかった、予想に反して。
ソゲマジャ………そんなにまでは、そのような事は、論外な。
ソゲーエ………そのように、そうでしたか、知らなかった事で。
ソゲイヤ………そんなに言えば、そんな聞いた事が、あきれて。

ソコナシ………底がないような、予想以上の酒飲み、太っ腹。
ソコソコ………程よい程度の、ほどほどに、普通であれば。
ソコマジャ…そこまでは感知せず、頓着なくて、知らぬが仏。
ソコラジュー………そこら一面に、周囲に広がって、周辺まで。
ソコメシユ………底に焦げついた飯、おごげのおいしさ。
ソコガアルキ………そこがあるから救われる、命綱、救助所。
ソコジカンガイ………そこでゆっくり考えて、余裕が必要。
ソコラソングエ………そこら周辺、一面に広がる、周辺一帯。
ソコンシヤ………その家の人は、その家の人たちは。
ソコツキヤ…底が見えて覚悟、限界に入って、最後の土壇場。

ソコヘン………そこらあたり、その周辺、その方向の場所。
ソコラジュー………そこら一帯、その周辺、周り一面の。
ソコマメ………足の裏に出来た踏み板傷め、無理をすると外傷。
ソコンホウ………そちらの方向、そちらに狙いを、調査地点。
ソコベラ…底のあたりを、決まった場所の指定、底辺の位置。
ソコカル………底から、その辺から、その場所が起点。
ソコラヘン………そこらあたりが、その辺が問題の場所。
ソコンヘン………そこらが、一番問題の場所、ここが問題点。

女性の底力



声かけで育ち太る作物

あんまりスポーツはやらん　こんしゃそんなかわり　田のクロ畑
ん中にヘールト『アンタ　サカシイナ　太りよるな　あオオキニ』
チ　誰か人がおるんかち　通るしが見とるるごつ　話ししよる。
『りゃーもう　コゲー大きゅうなったん　元気モンジャナァ』ち
笑顔じ話しかくるものじゃき　舅さんな『お前　あ　ゆう話すきじ
ゃろう　野菜が喜びよるど』ち　冷やかし半分に褒めよる。

褒められち　悪い気持ちんするしゃ　ネーキ　なんかみんなが
楽しい笑顔に　引きこまるるもんでんある。お勤めが済んだら
チョコット畑に　『また行きよんな』　近所んしどもも　日課の
ごつ暇さんありゃ　田畑ん仕事じゃき　手本にせにゃち　言うな
易いがソレカチ　ジッコウちなりゃ　なかなか難しい。

朝ちょこっと　畑に行くと　2, 3日前に撒いた　種ものん芽
がもう出ちよる。『あら　あんた早えな　あ　ショワネエンナ』
しゃがみ込むと　話しかけちじっと見よると　不思議なもんじ芽
の先に　朝露がするっとノボッチ　見る見る丸なった。じっと見
つめちと思うたら　それがふつくらと　膨れち重とぅなったんか
『ぼっ』と　見ちよる目の前じ　割れた拍子に軸を伝わっち
根元に落ちた。

『りゃ　まあまあ　あんた上手じゃな　あ』　まるじテズマン
ごたる　一瞬の出来事。百姓しよってん　こげな芸当はめって
見る　そげなこた　ナカロウガ　ヤッパご褒美に見せち　クレタ
ンカ　ウレシュナッチ　『オオキニオオキニ』　家ん昼時にこん
話に　花がさいたんも　日ごろん声かけが　よかったんじゃろう
か。

それかるは　ナオサラ声うかけたり　話たりする明け暮れが

つづくもんじゃき きんじょん評判にもなった。ゆう昔かるん
話しにゃ おやじが ねじ鉢巻きしち 鍬うカタグルト 田ノク
ろう見ち回りよる。稲が慌てち 『おやじが来たど 揺らしち』
そげ言うと みんなずり葉をユスラケータ。親父は足うとめち
『うん 水がすくねえんかの』 じっと株を分けち見よる。

『手叩き水じゃがのう そうか肥料がほしいんか 解った』ち
昼からは もう肥料を ヒネリヤリしよる。田の畦じこれが解る
早めん肥料やり タイミングガ イイキ一番ほしい時に 効果
抜群じゃった。こけが百姓ん熱心さ 体験奥の手 企業秘密かん
知れんが 早く気がつく 察するんが作つくりん鍵んごたる。

じっと話聞いちょつたが 『うっとどう 早うかるシヨルニ』
チ にたっと笑うたが 『しめしめ又知恵がマイコンだ』 じゃ
ねえな。聞いた事が役に たったり悪い事も 知ったりん世の中
じゃった。『あんたどうも すぐ言いよえ 気がつかん 事もある
きな ほんな又昼かる来るで』

執念は自然と出るもん とっさにも出るき すぐ間にあう技。
コツが解ることじ 思わぬ奥の手にもなる。芯をとめたり 枝を
のけたり チョコットん仕事が 思わん実りにも響く。『元気』
『ゆう太りよる』『おおきに』 人間に話しかくるごつ 声をか
けち畑を回ると 影に真っ赤に熟れたトマト。

夜露に朝日がキラリと 輝くと瑞々しい 野菜が『ありがとう
さん』ち 言い寄るごたるき 今日嬉しい。笑顔がつい出ち
こっちまじ嬉しゅうなるんも こん人ん優しい扱いが 声かけが
物こそ言わんでん 伝わるもんじゃろう。『あんたの命を頂くき
な あんたが人間に 生まれ変わるんで』

今日も畑で話す声は もう専売特許じゃが 嬉しい心の表現。



執念燃やしたクチナシ栽培

農家さん担い手としち 事情じ秀才を犠牲にした夫が 常に将来を見据えち収入源ぬ 探索しよったが臼杵料亭が 黄飯材料でのクチナシに目をつけち いろいろ調べたり研究したり。じゃがどん手弦からも確信な持てんじゃった。農家さん忙しい合間にゃ 里ん世話役 青年団の役職 父親ん関わった井路ん仕事と 家を離るる事しきりん生活。

じゃが手こまねてん 先にゃ進まんち種を撒くこちなった。本当は苦労は女にのしかかるち 気が進まんじゃったが 夫ん執念の種が芽をで一た時ん 喜びようは話しならんごつ。『これならしよわねえど』 顔見合わせち 取り組むこち覚悟決めたんが 今日に結びち一た。

発芽は難しいもんじゃき 芽が出たもんの管理が素人 じゃき大丈夫じゃろうか 不安もよきり手探りん 毎日も続いたもんじやが もうここまじ来たからにゃ ヘモドルワケゃいかん。覚悟決めた日を思いだしながら 春先ん花つきう待った。所がまっ白い花が緑ん葉の中かる 覗きでたもんじゃき 『咲いたで』

花つきは少ねえけんどはこんだ 実がどんくれつくかも。八重んクチナシにや実はつかん。ほんなこっちゃショワネエカ。心配してん仕方あるめー『なるようになるわい』 あっけらかんと笑う 頑強な夫が突然病魔に 悲観と不安とが一挙に 訪れたが どうにもならん これも宿命じゃろう。

もしかすりゃ『これじなんとかイノチキン足しに』ち 残しちくれたんじゃなからうか。『お前にゃ苦労かくるのう』ち 口癖に言いよったそん言葉が まさかになっちしもうた。じゃけんどこクチナシん花は 今年も見事に咲いち 香りふくよかに。

小学校交流ん関わりじ 職場ん材料利用んタイムカプセルが
地元ん学校と 荻町ん学校にも。やっど軌道に乗ると 光る頃
う迎えたが 天は遂に夫を帰らぬ人に召した。しかし執念の宝
物となった クチナシは今年も花をつけ 実りも迎えた。体験
者が効果があって痛みが癒えたと 喜びの声しきりに涙堪え。

子ども達の余暇の応援 娘が集中した世話の手助け 親戚が
影から日向から支援する 夫の遺志の生産は細々であっても
大切な宝物として 生きがいとして残してくれた 思い出の財
産でもあると思う。少し涼しくなった秋口に 収穫したクチナ
シの 黄色い豆姿にふっと 夫婦で挑戦した不安な 季節が蘇
る時やはり博学繊細であったが 先見の目があり苦勞させまい
と ひと滴残してくれた 可愛いクチナシの花物語 花を愛
で香り楽しみ 秋ん収穫じ救わるる人ん 喜ぶ顔に嬉しさも。

人は一人じゃ生きられん 皆んなに支えられち 生かされち
よる。じゃ自分に何が出来るんか 夫が残した人助けがあつた
と すりゃこれが 社会にご恩返しん役目ち 寒い空んもとで
ん 防空頭巾ひっかぶっち やりよると苦勞も飛んじ 鼻唄ん
ヒトツも出そうな秋晴れ。

若い頃あ苦勞も多かった 世話役じ仕事そこのけに 出ち行
く日も多かった。そん留守に一人じ 男仕事に負けんごつ荒仕
事もしちょつたき 今でん子どもたちが 加勢に帰るまでん
クロギリでんシチョカニヤチ 出来るんも 優しゅう教えちく
レタ からじゃろう。

喧嘩もゆうしたが それが刺激になっち『負けん』 そげな
氣力もまゝチッタ ノコッチョルゴタル 氣がしちならん
天国かる見守っちよる けんじゃなからうか。又そろそろ収穫
時期じゃが 『ああい忙しいこつじゃなあ』



予想に反した人生航路

夫が店の主じゃき農業は一人占め 屈託ねえごたるが 心ん中は予想かるマルジ遠回り人生。結婚話ん時にゃ好きな シガオッチモウ…じゃが皆んなずれい 勧めらるりゃアンマリ 嫌いやも通らんが当時としちゃ あたりまえじゃった。酒もタバコも飲まん 腹もたてんマコチ いいシジャキ。

ところが祝言のその日に もう飲みすぎるぐれー飲む。ありゃまゝアンシタチン 勧め言葉は『空手形』じゃつたんな。けんど夫婦になった以上は そげな自分勝手は アンマリイワケニャなえ ふんとまゝ。ち肝据えちもう 40年すぎた。あんまりシタコトンネェ 百姓も見よう見まねじ 『あんたハリコムナァ』

マックロになっち 里にタマサカ帰ると 育てちくれた母親が『まゝまゝ ムゲノコサレ』ち 抱きしめち くれよったもん。寒い頃にゃ ゆう愛宕山に 松葉かき行き 行く時ゝ籠に入っち 上り坂ゝカルイあげち クレヨッタ。半纏ぬ着こんじ 頬だけか冷ていもんじゃき 涙を滲ませち見上げたら 『よしよし』 そん涙を手拭いじ 拭くと『帰ったら焼き芋じゃろう』

そげな優しかった母親が 目の前に浮かぶと 『くそー我慢せにゃ』ち はりくうだもんじゃった。店に自転車じ弁当を運ぶと 帰りよせんこんだ 子供と両親とん 昼飯にゃもう手っとり早いもんでんは すかんき 手際ゆうチョコット 小皿にもりつけち ぐるっと囲んだ食卓。皆んなん箸がウゴキダスト 途端にダリガ顔覗かする。

ツタンカーメンの種を 貰うち撒いたら具合ゆう 芽がでちょう。大けな豆がナルキ 楽しみしちよつたら 虫がチータゴタル。慌てち予防したき なんとか食い止めたが ふんと花も美しい。

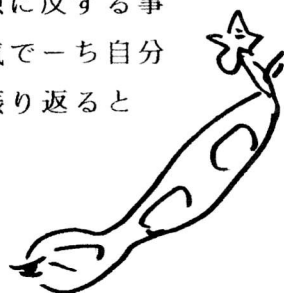
実の粒も大きゅうじ『もうかった』ち 心がなんか躍動する
ごたる。よる帰ったき 『ツタンカーメントレタデ』 見せたら
じっと見つめち 『やんがん大けな 先んごたる』 笑いで
一ぬえーと堪えち 『チュウカンガち』 苦笑いしちしもうた。
物造りん楽しさは 格別じこん頃は『作づくりがウマイナ
ァ』ち ゆう褒めらるるき 骨折るけんど『まゝいいか』

歴史に興味があるもんじゃき 懇意しよった詳しいシニ 聞いたら
『ほんな連れなうき来りゃいい』ち 返事があつたもんじ
次日にコッケムクリ 行くともうシコしち 愛宕山に上るこち
なつた。途中の田んぼにゃ 大好きな『イヌフグリ』可愛い
コンメー花が 咲いち寒風に揺れよつた。

西暦1000年時代ん城跡ゝまゝ石段跡がちっとある 案内
しちくれたシガ 棒先じゴソーをはねのけち 『これが当時ん
石段の残りで 欲しかろうが持ち 帰ると悪いきな』 大笑い
しちしもうた。こんしがコゲナ話しゅまゝ。つぎつぎと知っ
ちよる話う しながら上りついたら 眺めがいい。

母親とゆう松葉取りにきた あん幼い甘えん坊時代が 走馬
灯んごつ甦ちくる。源義経を迎えるこちつた 戦国時代ん話
にゃ 熱がこもっちそれが 夢物語りになつたき 真剣残念じ
やつたごたる。『わしが腹うたててん しかたねんけんど』
小首かしげたそん 横顔はふんと 絵になるような こんしの
話に 今日はなんか心が はればれするごたる。

あん時ん話が鮮明に回想されち こん頃また歴史探訪ん仲間
にち 意欲が燃え立つき 申し込みしち見た。予想に反する事
ん多かつた前半じゃが これかるはもちっと 勇気で一ち自分
勝手な人生も いんじゃなからうかち。ひょいと振り返ると
『ありゃまゝ もう還暦すげちよらまゝ』



字里物語

3

『女人禁制の起こり』

和銅3年《710》権現に悪病流行とあるき 当時としちゃ珍しい事じゃが よそかる帰ったシタチん 病気みやげじゃつたんか。それまじカカッタ事がネーキ いっぺんかかると ソリウすぐに皆んなに ウツッチ広がる。仏教が伝来したんがここらへんじゃき そげなルートじ入った そげー考えらるる。今まで体験せんき 養生んしかたも クスリもそげーネエキ『アイタノウアイタノウ』ん 声が聞かるるが ドシュモナランジャツタ。

国東六郷満山にゃ仁聞菩薩が 広めた頃にハヤッタチ言う。神亀4年《727》にゃ 高城山に子安観音を 安置した行基とあるき 一の瀬川原ん普門寺とん 関わりもでちくる。愛宕山に鷲ヶ城ん築城、人ん行き来が多くなり 物や文化とともに病気も どつとんどつとん 広がりよった。治療方法が進まんじ 祈とう所ができ 庶民は神仏にと 焦りも多うなち行く。

清々しい風が えーと汗も ヒッコンダち 思うとちっと肌じゃ コンコロモチがいい。『握り飯どげえ』 ヒョイト指しでーた 途端に独特ん 味噌漬ん香り。やっぱ丹精こめたち すぐでんヨバレテーが ここじ『そうか』ち 手をデートンジャ色気もねえ。『こりゃまゝ 済まんのう』ち 手を合わせた。よ

うぶな娘にしちゃ なんとまゝ手際んいい やっぱ母親がそげえ 躰たんじゃろう。動作にしてん 同じトワズ言うごたる 言葉んハジハジニデン 何とどのう気品があるんも それが頷くる。『忙しいにゆう シコ出来たんじゃな』『アゲンコトンジョウ こんくれんこつー 出来にゃ……』『じゃのう』 思わず嬉しい笑い顔になった。手拭いじオシアラウと 大けな手をサイデーチ 1ツ握った。そん感触にゃ娘ん真心が伝わる。

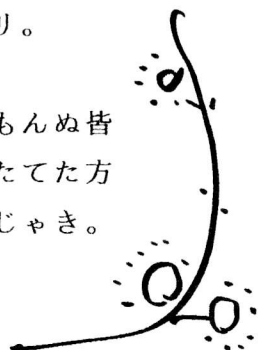
元永2年《1119》天徳寺廃寺ん後 霊位を引き継いじ 普門寺を建立 若者ん修業所を設け 安部実任入道法眼阿者利とあるき400年はず 前にあった天徳寺を 引き継いだんじゃろう。こん寺は英彦山の末寺ち言われ 熊群山東頼寺を開いた 安部実任の子。

安部実任が熊群山と 高城山吉祥院、普門寺に 観世音菩薩を一体ずつ 刻んで納めたと言う。普門寺は一の瀬川原にあり 祈念の場所としち『女人禁制』を なした事から宇曾山、精進ヶ岳、御座岳、を修業ん場としち 若い僧ん教育もしたかる 現在ん宇曾岳神社にもある 『女人禁制』ん 決まりはここに 始まったんじゃろう。

そん普門寺境内にゃ暦祖ん 塔印《天徳時代ん墓地か》に陸奥に生まれた『梅の木』が 植えられちよる。創始安部実任が陸奥に 関係があったのか それとん陸奥に領地が あったんか雲ん中に 美しい虹が浮かび 出るごたる思いもする。子どもたちが 川を渡っち 山かる取っちきた ガラメやアケビを 食う姿とう見ると 若い僧たちちもう 故郷ん母親を忍び 幼かった頃がふと 思い出されるんじゃろう。仏道ん厳しい修業ん路 そげなこつう追うんも 人の子じあり苦難の 修業ならではん 事でんあろう。故郷を遠う離れち 他国にあると思うんは どげ言うてん母んことじある。

峠越えれば歩いて3里 山が高こうじままならぬ。里唄にもあるごつ つい目の前にあってん あん高え山がアルバックリニ 歩きゃ3里でん ドゲシュウもネエ ハガイイ事バツカリ。

じゃがそん苦勞しちこす 背伸びも出来る事が あるもんぬ皆んなシヨル。じゃき人並みと思ゃ 腹もタツメエし 腹たてた方が負け犬になっちしまう。幸せは努力と運と 巡り会いじゃき。



△△ さとの修験場 △△

修験場の宇曾ん山が みどりましち陽の出が 早うなっち朝ん光りが 朝露に濡れた木木う 照らしちくるる。一の瀬川んせせらぎん音う 聞きながらん 食事ん後かたづけする 若い人たちにも 長く寒かった厳しい 冬かる開放されち凌ぎいい。遠ゅう離れた父母ん許うもう2年 梅ん実を眺めち母を思うと 頑張っち一人前に ナラニャチ心に決むる 朝んひととき。

§ § 流れん清い 七瀬川 ト サイサイ 七瀬川

かじかの声や 螢がり ト サイサイ 螢がり § §

鐘が鳴り拍子木に 合わせち般若心経を 唱えち今日ん日課が はじまると 七瀬川水ん音やら 木木んさや揺れが 交差しち朝焼けん空間ぬ 波紋んように流れよる。修験場ん静まりん中に 素朴な姿ん仏がぼっかり 現れて苦しい若い人たちん 心に悟りを授けちくるる。そこに仏門に入った 人たちん心ん 喜びも浮き彫りされ 生まれいずる 自信も持てるごつも なるようにある。

朝のお務めが終わった しばしん一時 里ん娘に逢うことも 話す事も出来んけんど 寂しい寺内ん こん人たちにせめてもん 慰めん言葉をかけちアゲテェ と娘心が畑仕事に 行く語らいん中に 伺えち 木の間がくれに見ゆる 仕事着ん女らしさん 言葉んやりとりが まるで見ゆるごたる。心んやすらぎち そげー思うと悪いんかん知れんが。

心くばりしたそん 気持ちだけでん どんくれ一嬉しいもんか。そげな優しさに 生きる幸せも感じ 里ん人たちん為にも 尽くさねばちふっと 心に呼びかける そげな風がサツト吹いた。宿命の中にある人間が 生きて行くそん中じ 人の世話に心がなりよる 宇宙ん仕組みとは言え 厳しい現実が それを教えちもくるる。

★★★ 円福寺について ★★★

円福寺たぁまこち 響きんいい寺ん名前。下谷にひっそりした
内懐には 東と西にゃ風よけん 山が連なり南に 宇曾山を仰ぎ
見る位置にある。北は透けて冬ん風は 冷たいけんどそんなかわり

夏は暑さが和らぎ 涼しい風がすり抜けちくるる。『両方いい
んが頬かぶり』たぁ まこちユウ言うたもんじゃ。

谷川んせせらぎを 行く水は美しく つめて一な勿体ねえぐれ
じ 周りに咲くいろんな 花にも幾百年も 続けち育って来た
暖かい心が宿っちょるよう。東に居を構えちよる 庄屋さんかた
ん 屋敷ん高さと 同じにするようにと 西ん円福寺も 山を受
けた広い寺域ん中に 建物が整然と並び 心んより所にふさわし
い 場所でんあった。

寺に仕える人たちん 手入れんゆき届いた 境内にゃ松、杉ん
ほか古木、珍木、もあり仏の前を飾るにゃ こと欠かぬような
そげな花ん中に ひときわ香ぐわしい 梅や桃の木にそっと 抱
かるるごつ白いシャガ 黄色んヤマブキ、むらさきんテマリコ、
なんかが 旅をしち来た人たちん 心う慰めちもくるる。

周りん山肌や谷ん周りに 散在する家並みも 含めち50戸あ
まりを 中心とした心んよりどころは 里ん日々ん楽しさ含めて
ん よそん人たちにゃ 比べるこた出来んごたる 素晴らしいも
んが 見て取れる。これこそ自然の中での 人間の生きる場所
でん ありそうに思われる、

円福寺や庄屋さん館を 中心に道行く人たちん 明るい顔がそ
りゅう 物語っちょるよう。年頃ん娘たちん野良着に そっと手
を貸す男らしい 姿体に流す汗ん光りは いつん間にか優しい
情愛に変わり 幸せな実りにと進んで めでたい祝い船が 帆を
あげて。



応永21年《1414》源家の中心 新田義貞の臣江州佐々木の末葉 金丸三郎憲貞が 直入郡の柏原氏神八幡宮より《現在は田代八幡社と言う由。後醍醐天皇と北朝方と戦った 新田義貞が越前藤島で武運つたなく戦死。のち大友を頼り豊後にくだり 柏原郷田代村に京都の 岩清水八幡社を勧請して 義貞の霊を祀り当社を建立した。柏原村9ヶ村総鎮守であり 旧藩時代は上社に維新後は村社だった。社殿は天保12年《1841》~~建立~~ 建立。現地の調査によれば》

上記より勧請して 当村に森永左近照義が 一字を建てち『宇曾山円福寺』とした。当時は天台宗ん力が 強くて行政機構じゃこげな 形じ作られよった。六郷満山も同じケースんよう。円福寺にゃ天台宗本尊をはじめ 大天狗豊前坊、宇曾大権現張山坊、洛北松尾山鞍馬寺奥の院多門天狗大豊坊も 合わせ祀られたち記録されちよる。

祭官にゃ大和加茂神社の 社家板山某がなる。郷土広瀬一撤斎、庄屋太郎右衛門が 信仰の祭神としち 地域にそん教えを広める。はじめ過原にあった 円福寺も下谷に移し 宇曾山の神宮寺としちよつたが 広瀬、橋本、などん勧請じ奥の院に移し 日本兵法第1社『宇曾大権現鞍馬大天狗宇曾山張山坊円福寺』となる。これじ密教は円福寺に 尊神な奥の院に 鎮座するこちなった。

張山坊とは源家以来ん 『源家守護の御神霊』ち 言われる。このようにして 宇曾連山は 英彦山、尺間山、を結ぶ直線上にあり 山伏ん修験場となる。松ん梢に風鳴りがすると 白衣を閃かした天狗が飛ぶ 鬼は慌てち隠れ よからぬ病魔は 叶わぬとひれ伏した。じゃが一時逃れじゃき 見抜いた神は 忽ちにそん魂胆を微塵に砕く。子どもん病氣も こりゃもう叶わぬと 退散したと言う。『子どもん虫封じに霊験あらたか』 そこにある。正月、春秋ん彼岸中日、お参りん多いのん ゆうわかる。

修験者はほら貝を吹きながら 錫杖をつき一本歯の下駄に身を委ね 山里に下っては、行の力と神の靈験によって 村人の病気を治した。特に子どもの 『癘の虫』は たちどころに治すとその靈験の高貴さがあった。今も続く『虫封じ靈験』は 特質なご利益があって 救いを請う人が多い。心の問題もあるが。

円福寺はのち 禅寺となる。白衣をヒラヒラさせて 小走りに動く修験者が みどりの木木の合間を 揺らして行き交う時 里の道行く人たちは 神仏を拝むように 手を合わせて 我も無病息災を念じたことだろう。あの山 あの岩陰 から突然現れる そんな姿はまさに神であり 仏じあるのかん。神神しさもあった。

当時の宇曾山奥の院の祭神な 日向鶴戸大明神絵図、祖神鹿取先生靈位、観世音菩薩、鞍馬山多門天張山坊、とされちよつた。山を崇める人の心の より所でんあり 多くの人たちの修験の場として 大切にされちよる 山だけにこのような 祭神をお祀りしたんじやろう。

女人禁制ん山じゃあるが 里ん女性もそんな代わり 男たちに託しち家族ん息災 里ん安全を念じた事じやろう。鶴戸大明神のまつられた 起因は不明じゃが 宮崎鶴戸神宮とは 全く関係なかったが 同じ修験場としての 想像すりゃまた共通するいろんな面があるんも事実じ 嬉しい思いも起きる。

束の間のより所として 修めたのかも知れない。鶴戸神宮も吾平山仁王護国寺といい 日本3大権現の一つじ あった別当寺とん 関わりあいは一連の山岳宗教ん場で あったようである。

こげな連なる山と山が 関わって長い間に 人が幸せに過ごせたんも 元には神仏があり 宗教が心に示す生き方の 御手本でもあったのでは なкаろうか。天狗さんにも感謝せにやなえ。



- 45 P シタチ…ひとたち。まじ…まで。ネーキ…ないから。ソリ
ウウ…それを。ネーキ…ないから。ドシュモナラン…どう
しょうもならない。コンコロモチが…とても気分よくて。
ヒョイト…突然。ヨバレテー…いただきたい。データンジ
ャ…だしたのでは。トワズ…冗談を。シコ…準備。ゲアン
コトンジョウ…あんな事ばかり。オシアラウ…押して美し
くする。
- 46 P ほず…ほど。ガラメ…野ぶどう。どげ…どう。アルバッカ
リニ…あるものですから。ドケシュウモ…どにもならなく
て。ハガイイ…悔しい。バッカリ…ばかり。シヨル…して
いる。
- 47 P ナラニャ…ならなければ。けんど…ですが。アゲテー…あ
げたい。だけでん…だけでも。そげな…そんな。なりよる
っている。
- 48 P くるる…いただける。まこちゆう…本当によく。テマリコ
…アジサイ。手テを貸す…加勢する。
- 49 P 柏原…竹田市萩町。くだり…こちらに。しちょつた…して
いた。じゃが…ですが。じゃき…ですから。
- 50 P したんじゃろう…したのでしょう。あるんも…あるのも。
こげな…こんな。せにゃなえ…しなけれよいのに。

女人禁制…一つの思い逢う気持ちとしては 女性を大事にする
底流がある 優しい思いやりが こんな形になった。とも解され
る場合もありそう。同伴でお参りする夫婦でも 上り坂では子は
父親が背にする。それでも女性は大変である。やっと上ったのだ
が疲れは もう限界でもありそう。それなら母親は拝殿で待ち
その間に父親が奥の院に上って 祈願をしてもらう。奥の院の石
段は素足で参る。女性の足冷えも苦痛であろう。落ち松葉が足裏
を刺激し 刺さることもありうる。

勿論きびしい修験の場には 異性出入れは妨げになる 当然の
摂理だろうが。奥の院の御戸開きされた この日は格別に許され
た 禁制には『せめてこの日は』と 許されるのかも。思い逢う
心の判断は個々に 判断すれば神も許し 仏も頷くのでは。殊更
我無しやらに禁を犯すのも 条理ではないが 元は人間の理性が
決めれば 心も落ち着いて 祈念もできるんじゃ あるまいか。

※※※ 語り部ゆらぐ炎の中に ※※※

一碗の粥を馳走になった 旅ん僧は家族も 仲間に入れち果て
しねえ 世のさまざまを語る そんな時にや炎ん中に 美しゅう映
し出さるる こん地のさまざまな語りに いっしか雨も上がっち
よつた。月も美しゅ照り 隙間風ん寒さも 燃え盛るタキ木の
パチパチっと音になしか 心に優しい余韻も残しちくれよる。

ここにゃここなりん 民話もありゃ伝承ん話も ケックシャあ
ろうが 暖こう包んじくれた こん家ん人たちに何か みやげ話
こすがお礼ん心くばりかん 知れんじゃろう。源家ん守護神ち言
われた 張山坊にゃ常盤御殿の 涙ぐましい物語りがあつた。子
を思う気持ちが 生き別れになった 身を案じち京都ん寺じ そ
ん健康を念じち守護神に ひれ伏しち拝したち言う。

平家ん手厚い思いやりに 感謝と無事を念じた事が 虫封じん
健康祈願に 結びついたとん言えそう。牛若丸は義経じあり 鞍
馬僧正が谷じ天狗についち 剣術を学びのち兄と共に 平家追討
に大けな役割う果たした。が追われる身になっち 奥州じ生涯を
閉じる。こん修行に協力した天狗たゝ まさに張山坊じあり 宇
曾山に勧請した円福寺に 関わる源家の御神霊じゃつた 事と結
びついち来る。円福寺ん石段を上り 開いた本堂に安置されちよ
る 諸仏は戦火に類焼されち いたわしいお姿をとどめちよる。



人の心の中に宿る 仏たちの姿は幾百年も 続いた世の中の
移り変わりを じっと見ていたことじゃろう。さや揺れる風に
滴が一つ 二つと苔むした 石を濡らすそんな有様 まさにそんな
ように 光っちゃった。自然はだまり 過ぎ去るがそんな中に
知ってほしい願い 解ってほしい悔しさも あるんかも。

まっ白い指が かがり火に照らし出された そんな手じ薬草湯が
出された。暮らしん知恵に 教わった秘法じゃろう。旅ん人に温
こうもてなす術を 尽くしたそんな心くばりに 燃える火の温もり
とは また異なった人情味に 接するひとときである。この家
主が伝わる民話を ぼそり語りはじめた。

★ 鬼と天狗の名勝負 ★

宇曾山に降った雨水が 麓ん人たちん作った畑を 洗うち作物
がコンゲンネェいたむ。修行ん場としちゃった天狗は なにかい
い方法はねえかち 頭を悩ましょったが そげなある日ん夜明け
に 岩穴かる鬼がヒョツクリ 現れたんじゃ。空腹じ食べ物う捜
しよるごたるが 荒らされた畑にゃそげー 食べ物もありゃせん
。鬼もこまっちゃうるごたるき 咄嗟に天狗は思いついた。

『お前も食べ物に困っちゃうようじゃが こきー８８ん谷を作
りゃ 食べ物ぬ約束してんいいが』ち謎かけしちみた。『え谷を
８８か いつまじ』 乗ってきたのでこれ幸い。『３日間じゃが
出来にゃほかに回すが』 考えよった鬼は サンニユウスリヤ
こりゃいい話。『よからう決めた あしたかる』『ホイ』

話がトントン拍子に進んじ いよいよ明日かる仕事も 始まっ
た。ほった天狗。しめしめ食べ物にありつけたと鬼。そんな
また小粒ん雨も降りで一た。こん雨が仕事うせき立てたんじゃ。
夜が明けよせん鬼は 仕事を始めち柔らこうなった 土が動く。

働く力はもてあましちよるき 1日目にゃ50本が見事に で
けたもんじゃきダッタ鬼も 早う寝ちしもうた。夢にゃご馳走が
追いかけてくるごたる。天狗も『こりゃヤルワイ』と 安堵しち
2日目になった。キニョウタ違うごつカンカン照り。鬼もヨコイ
ヨコイ汗まみれん はりこむがデーブンダッチョル。

それでん30本が出来ち合計80本。ちったダリガタマッタ
そげな顔しよったが 『食い物の不自由がねえ』ちなると 目の
色がまた生き生きしよった。天狗はチット慌てち『コリヤマァ』
ち 思案したもんじゃが 『しよわなかるう』ち 里中ん鶏う集
めち話しゅう始めた。

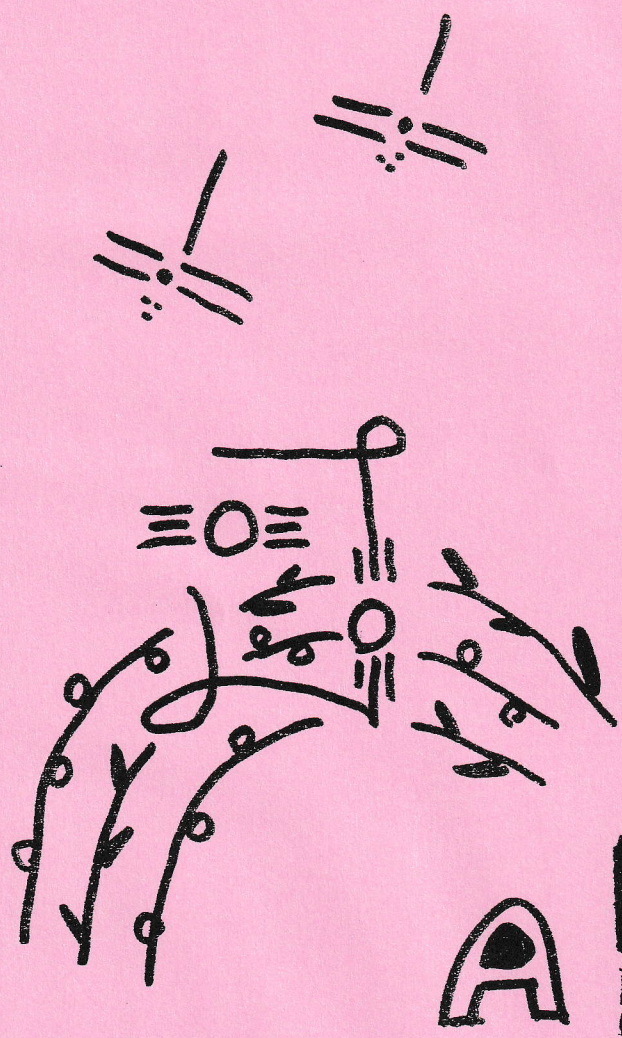
谷が出来るの嬉しい事 食い物を準備するんもいい。じゃがそ
れじ働かないんじゃ かえって悪い状態じゃき チョイト灸を
スエニャ悪かるう。『みんなこれこれしかしかじゃき 早朝にゃ
鳴かないじ 昼過ぎにチョコットだけ鳴く』 そしち静かにしち
よく事に決まったんじゃつた。

2日働いた鬼も残り8本なら 晩方チョコットじ出来るち 合
点すると頑張る力にと 大酒飲んだあげく ゴロリキュン。ご一
軒が周りに響いたそうな。朝になってん鶏も鳴かない 静かに朝
はすぎ曇天気じ 外は薄暗いもんじゃき チョコット目がさめた
が 『まゝ早えんか』 またゴロリ。

エート薄暗え曇空ん晩方に 目がさめたが飲みすぎた 頭が重
て一き飯う食う気にもならん。ゆう見りゃもう陽は西ん山 あり
ゃ『今日は陽がこっちかるか』 そうこうしよったら 暮れそう
になりよる。『こりゃ大事』慌てち 外にでるともう晩方じゃつ
た。『しもうた こりゃもう負けた』 鬼は自分の貪欲に反省し
ち『俺がおったんじゃ迷惑』と あっさり里を後に旅に出た。こ
ん鬼もやんがち『帰って来た鬼』じ またお目もじします。



有言多供公世恩



鯉のぼり泳ぎよるともう 見ちょつてん心が浮き浮きする。近所に男ん子が生まると 鬼ん首でん取ったごつ 何か嬉しゅうなんな皆んな 同じじゃろう。『さぁ今年しゃ特別 大けな粽んダンゴ作らにゃのう』 柏ん葉やらトキワ茅やら じいさんがん仕事じゃき朝かる ねじ鉢巻きしち腰に 厚鎌せーち出かけた。

子供がすくすく成長する そげん願いもこめち 祝う行事じゃが もともとは中国じ こん日を病氣や厄よけん 行事をした事かる始まったもん。日本でん5月は 田植え時でんあり 若い人たちん危険も多うなるき そげな事故もねえごつ 心がくる教えん一つでんあった。

ちまきダンゴは もち米じダンゴを作り トキハ茅に包んじイグサじ結んだ上品なもん。トキハだけでんねえ 場所によっちゃコモ、ショウブ、ヨシ、クマササ、なんかじ包む。こげなんは殺菌作用もあっち 蒸し上がったときん 独特な香り匂いは それだけでん元気なる。

米は昔かる日本人にゃ 大事な食べ物じゃつたが 中でんモチ米は格別なもんでんあった。じゃき食べる時にゃ なんか神様にでんなったごたる 気持ちにもなりよった。高級な食べ物でんあっち 餅は独特な風格も備えちよつた。暑さが増しちくると トキハカヤも背伸びしち 揺るる草木ん中かる『こきーあるよ』ち呼びよるごたる。

風になびーち季節を 表現するごたる農村 そろそろ田植えも始まるんじゃろう。田んぼに水が入っち ワクドもわが物顔に こっち向いた大きな目 時にゃ雨も降らんと 目ん玉が乾くもんじゃき ゆう手じ目のふちゅー 撫で回しよる。

家にゃ祝いに貰った 武者人形がお祝に来た そげな人たちう
迎えちくるる。子どもは元気に飛び回り 生まれた赤ちゃんな
来たしたちが たらい回しに笑顔じ 迎え送りしよる。鯉のぼり
吹き流しを世話するごつ 幟も威厳があっち 風が吹くたんび
環が カタカタち心地いい 音を刻みよる

子供ん声は家庭円満の証 みんなが支えちくれちよる そきい
人間社会があるが 助けおうち生きているのん 常日ごろん付き
合いがありゃこすじ サカシイ日ん暮らしも そげな地盤によっ
ち 回りながら生かされちよる。人に迷惑かけんごつ 元気に過
ごすことん いかに幸せな事じゃろうか。

柏ん葉に ちょこんと座っちよるんが柏餅。柏の葉に包んじ二
つ折も様になっちよる。が カンカラん座布団に チョコント座
り も一枚おまけに上に乗せ グアユウくっくいた『カンカラ餅
さん』 チマキダンゴが 男ん子らしい勇ましさに比べち カン
カラに座って上かる かぶせた餅う 女の子らしいとん言う。

今は『子どもん日』ち 5月5日を祝うが 昔は一緒に子供ん
日としち 祝いよったきそげな 話が生まれたか。人の心の中に
ゃ仄かな 夢やロマンも想像しち 物語りが生まれるち言うき
ふんと夢が花を開かせちくるる。どげな偉えしでん 生まれた時
は赤ん坊 じゃつたんでなえ。

お坊さんが遍路中じ お茶ん接待にカンカラ餅がだされた。そ
りゅうそっとカンカラを ハイで頂くと突然子供が も一つを取
って逃げたもんじ 2つ食べたと思われそう。『美味しかったき
カンカラまで食べました』 影で聞いていた子供 帰りかけたお
坊さんに『私が…ご免なさい』 気がついてこそ人間 誰にだっ
て出来心はある 早く気づくか悪いと思うか そんな境にあるもん
じ 反省する勇気があるかが と論したそうな。



天狗さんとん約束に負けち よそに修行に出た宇曾ん鬼が どうやらコンゴロ帰っち来たごたる。今まじゃチットグレン事あ 人があんまり言わんじゃつたが よそじゃソゲンワケニゃいかんもん。ちっと『熱う』で一ち困ったケンドそげな甘えは通りもせん。はじめち住み慣れた 宇曾ん里がドンクレ よかったかが身に染んだかが 真剣解ったごたる。

『やつば俺ん住む所は ここがよかったんじゃ じゃにナシ甘えちよつたんか 自分でん齒痒うなった』 村ん辻ん地蔵様ん前まじくると ペコリと頭うさげた。地蔵様も横目じチョロット見ると『ふふん 修行が出来たごたるのう』 おかしかったがジットこらえち見ち見らんふり。

供えちあるダンゴ見ち 『食べてえなあ』と 手を出しかけたら ドッカル飛んじ来たんか 蜂がイッピキ見るなり 『ありゃこん鬼は ここじ皆んなを こなしよった鬼じゃなあ』 そりゅう聞いた鬼は 『こりゃー悪い所を見つかった』ち 思うたもんじゃき手をあげたらチクリ。『こりゃー大事じゃ』ち 思うと頭うさげかけた。

そん拍子に前にツンノメッチ そんまま地蔵様ん前ん 石段に頭おゴツン。『ア 痛え』 そん声が あんまり大きかったもんじゃき 前を通りよったシタチモ 立ち止まっち 『ありゃ あん時ん鬼じゃねえ』『なにえ なにえ』 ソウコウシヨルウチ いっぱい人が集まった。『ふんとそうじゃそうじゃ』 鬼もタマガッチ シモウタ。ジャケントジ 中じゃ『むげなこされ』ち そばによっち来ると 『どうかえ やっぱ七宇曾ん里がヨカロウガ』 そげ言われた時鬼は 『こげー優しく迎えちくるる こん里こす自分が住む場所ち しみじみ思いで一たんじゃつた。

それをじっと見ちょつた 天狗も『どうやら反省しちよるな』
ち 気持ちを汲み取ったようじゃつた。でも ここじ甘やかすと
ユウなかるうき いっときコンママに しちょこうち知らぬふり
シチョツタ。そんな時じゃつた。どうやら火事んごたる 煙りが上
がっちよる。『火事ど早う加勢に行かにゃ』 次々と人が集まり
で一た。鬼の出番だ さぁどうするか……。

それを見た鬼は 『ふんと よし俺がハリクウジャロウ』 側
にあったムシロを 引き寄せ水にザブン つけたムシロを頭に乗
せち 一目散にツージ行つた。あっと思う間の 出来ごとじゃつ
たが それでん多くの人たちん 加勢じ大火事にナランママじ
えーと消し止められた。

数日過ぎた

『こん前ん火事ん時にゃ 鬼が加勢しよったんと』 そげな噂
が広まったもんじゃき 天狗さんも嬉しかった。『帰って来たん
じゃろうか』『まさかアン鬼じゃろうか』『反省したんかな』
勝手気ままに話すのを聞く 天狗さんも 『そろそろ迎えち』と
ある晩に 鬼を呼び寄せた。

『皆んなも喜んじよるが 帰ったらどうか』『……』 鬼も
嬉しかった。が ここじソナラと それじゃあんまり都合いい
こちなる。『考えさせて』と いっぺんは断っち 皆んながそげ
な気持ちならと 『心入れ替えち』と 心から反省した事を 示
したので 里の人たちも大喜び。里には又 天狗や鬼やら人間や
らが 人間社会ん中じ 皆んなが助けおうち 住む里に戻つた。

世の中にゃ誰一人 要らないものはないものです。だから自分
の出来る事をする。そして人の為にもなり 人に助けてもらう。
それが世の中なのです。鬼もそれから 仲よく楽しく暮らした
そうです。いつまでん……。



三佐かる竹田は13里

馬子ん五助さんが街道じユウ 聞かれた時にゃ『三佐かる竹田はドンクレナ』『ジャナ13里じゃわな』ち 返事するけど 旅慣れんしが聞く時にゃ そこかるち言わんじすぐ 『三佐かる竹田まじゃ』ち 聞くもんじゃき 聞かれたしゃテッキリ『三佐かるち思うち じゃな13里じゃわな』に なる。

そんしがもし途中じまた コゲナフウニ聞くと やつば『13里んごたるで』に 返事がヘモドル。ソンはずじゃこと 三佐かる竹田はどこまじ行ってん 13里は決まった距離じゃき 『ここかる竹田まじとか 三佐まじとかにセント イツマデン13里はキエズジマイななるなえ。

じゃな野津原かる熊本じゃ 約26里104キロM。江戸までじゃ263里ち言うごたる。江戸と豊後ん間じゃ ちょいと33日かる35日かかる。今じゃ新幹線でん利用しち 朝出りゃ午後になつてくき二になった。ただ早えがいいんでんねえが。戦後ん苦労したしドウハ少々ん 苦労でんショワナカッタが。

地震雷火事親父が こん頃あいじめ原発放射能に なっち来たごたる。どこまじ恐ろしい社会に 現実ん世界が変わりよるんが マットおじいなえ。小さい幼児が保育所に 通いよるが親とん朝ん別れも どうやら身にちーたんか 『おはよう』『保育所に行つて来ます』 なんと愛らしムゲネエなえ。

でん今ん苦労が積み重なると 人ん有難さが解っち 友達うデーじにし合うホリャモウ いい人間に育ち行くごたる。お歳はいくつな そつと聞くと『三歳』『そうお利口さん』『可愛いでしょう』『うん……』 誰が教えたんか でん素直なそん語り調子は バアチャンそっくりじゃった。

戦中頃まじゃ大分やら 竹田ぐれまじゃ歩いち行く そげんこた当たり前じゃつたもん。そしち戦後暫くまじゃ 物不足もあっち窓硝子が割れたまま 板をつけち窓にしたバスも 走りよったんで。人間な慣れちしまうと もうヘモドルんな難儀なこと。今じゃ隣町まじでん車社会。田のクロ水回りも忙しい時にゃ 車じ一走りする事じゃつちある。

『三佐かる竹田が13里え そげーあるかなあ』 車ならまあ1時間ちっとありゃ 行きつくんじゃねえ。便利もいいけど損な面もあるが これももう仕方ねえかなあ。

方言説明

★55P もう…すぐ。作らにゃのう…作らなくては。人たちん…人たちの。トキハガヤ…草丈の長い茅。イグサ…畳表に使う植物。なんか…などは。こきーあるよ…ここにありますよ。ごたる…ようです。ワクド…蛙。もんじゃき…ものですから。

★56P そげな…そんな。来たしたちが…来たひとたちが。たらいまわし…順に回す。環…紐がからまぬようについてある用具。そきー…そこに。ありゃこす…あればこそ。サカシイ…元気健康。なっちよる…なっている。グアユー…うまい具合に。じゃつたんで…でしたので。そりゅう…それを。

★57P チットグレ…すこしぐらいは。ソゲンワケニャ…そんな事には。いかんもんじ…いかないので。ちっと…少し。ケンド…けれども。ドンクレ…どのくらい。ジャニナシ…なのになで。チョコット…ほんの少し。ドッカル…どこから。こなしよつた…苛めていた。そりゅう…それを。ツンノメッチ…転びそうになって。シタチモ…そのひとたちも。ソウコウシヨルウチ…まもなくしていると。ジャケンド…ですけれど。

★58P ゆう…よく。コンママ…このまま。づーじ…飛んで。ソンナラ…それなら。



59P ユウ…よく。ドンクレン…どのくらいの。ジャナ…ですね。コゲナコツウ…このような事を。ヘモドル…元の場所に帰る。ソン…その。セント…しないと。イツマデン…いつまでも。キエズジマイ…消えないままになって。苦勞したしドゥハ…苦勞した人たちは。ショワナカッタ…幸いに大丈夫。マツト…もっと。おじいなえ…恐ろしい事だったですね。ムゲネエ…可愛いそう。バアチャンソックリ…おばあさんによく似て。

- ★ 距離 1里…36町〈チョウ〉…3,93キロメートル。
1町…60間〈ケン〉…109メートル。
1間…6尺〈シャク〉…1,82メートル。
1尺…30,3センチメートル。

◎◎◎◎◎ 民話、伝承 ◎◎◎◎◎

野津原かる横瀬に越ゆる峠道にゃ ゆう狸やら狐やらが おち化かされたり 眠らせられたり 時にゃ話とぎいなりたりもしよった。化かさるるな相手ん 術にかかちしまうち 言うけんどソリャ どげじゃろうか。人間が化かさるるたぁ 口実じア ッチ本当は 人間が化かしたんじゃなからうか。

祝言帰りん土産をガイト 持ったしがユウそん 話ん主人公になるが ふんなそげ一狸が出るんなら みんな連り待ち伏せしち捕まゆるこちなった。じゃがソン話がもう 狸に筒抜けじゃった。『よし来たど お前は土産を取れや』『わかった』 こげな話がまとまると 峠じひとよこいしよる。そげんこた一知っちよるんか どげかは問題じゃが そんな結末ぁ。

ちようずそん頃じゃった。同じこつー考えちよる 若えし共が
『コイサ セガウカ』ちこちなっち 夕飯もそこそこに 峠に
集まった。橋ん詰めじ祝言があったき 夜中え帰るしがある。
『せがうんか』『そうど 面白いど タマガッタ拍子に 裸に
なるしもおっち』『なにや』 ゲラゲラ笑う若いしたちん話。

月がいいあんばいに出たき 『影におらんと 解ると顔う覚
えららるど』『しよわねえき 俺が顔はそこらにゃ ねえき
の』 勝手なこつー言うもんじゃき 狸が『何事が起こったか
のう』ち 影べらかる顔で一た。ところがあんまりおかしい
そん顔はもう 荒神ぬ見たような おじい顔。

『よいコイサは とてん 人間ぬ騙すどころじゃ ねえど』
『見よあん顔まるじ 荒神のごたると』『ふんとじゃのう』
『こんだ姫がおりゅせんか』『神楽じゃあるめーし そげーは
役者が揃いめえ』『解らんもんど』 めいめい勝手なこつー言
いよったら どれが狸じ どれが人間か 解らんごつなっち
しもうたき たったままじ呆れ反っちよった。

と そん時じゃった 多人数じ帰りん客が ここまじくると
『ちよいとヨコウド』『や ヨクウンカ ほんな土産うこき一
寄せちゅかにゃ』 そげー言うと そんしが集めはじめた。そ
りゅう じっと見ちよった狸坊主 『しめしめ あっき行きゃ
あヒトカルイもらいだすど。

そりゅう横かる見ちよった 餓鬼大將が『やっぱ アイツガ
親分狸じゃのう しめしめあっち 気を取られたわい。そんな
かめ コッチサネ いごかしち 来たら棒じひと叩きするか。
それとん 知らんもんじゃき ノソノソ近づいち そべー来た
。『こりゃー狸坊主 おみやげは これじゃ』ち 振り上げた
棒じひと叩き。『あいたー 土産はそれじゃつたん』



龍姫を祀った供養塔

二の瀬や三の瀬を越すに 近え場所に深い淵があった。行列が通る度い川を荒らし 水う汚すもんじゃき 淵ん龍姫はタマランジ 瀬渡りゅ妨害しよった。怪我するしやら 滑る人なんかも あっち毎回起こる 事故にゃ手を焼きよった。そん挙句にゃ祈願するこちなっち お願いすると 『淵に住む龍神ん姫が 汚れを苦にしてん難波ち解った。

そりゅう聞いた役人な 早速納経しちここに 供養塔を建つるこちしたき それかるは大けな事故は 起こらんどつもなった。道脇に建てた塔ん 碑面にゃ南無妙法蓮華経ち 彫られちよるききっと 肥後領地ん関わりでん あるんじゃろう。

道中を通る人たちも そげな話しゅう聞くと ナルタケ用心しち川を汚しめーえち 気をつけよったごたる。川は昔かるイノチキに 直結シチョルモンジャキ 汚さんのが当たり前 じゃが やっぱついウッカリ が多かったもんじゃき 戒めもあつたんかん知れん。

チヨウドん時い大水どま 出るとヘリン崖べらを 崖にシガミチーチ歩くか 入蔵に上がっち山際に おるる小道があるんじゃが ソレケコス遠回りになる。そげなこつう思うと チットデン 近えトコルウ早う行く 考えちみりゃ 欲な話しでんある。そんなくれんこつ センジャ銭も残らん じゃつたんじゃろう。

淵ん南側ん細道が エートチット広うなつたが それでん雨どま降っち 人通りが多いと泥道になっち ソゼモスルモンジャキ 地がゆるーじ 崩れたり崖くずれも そんたんび淵やら川に 人も馬もホラケ落てち 怪我したり大事じゃつた。細道ん側にゃ人だけじゃねえ 牛馬ん災難除け 道中安全の碑もできた。

江戸期間の参勤交代頃じゃ 雨も多かった川ん氾濫 大水も
ショツチュウジャツタ。それじヨダキーは通らん。徒渡り《カ
チワタリ》が 無理なら入蔵う回るか 二つに一つとなる。ア
ベトまじ来ち ヘモドルンモ大人げねえ。よし山んへりゅ行く
ち 一声ありゃもう 災難覚悟じゃつた。

道中安全の碑も立つ 事故者ん冥福と安全も 念じちソロソ
ロ歩く。そんうち山ん持ち主も 『ちっとぐれなら 山ん中を
通りゃ』た 言うまいが暗黙ん 了解もあつたんか。杉ん根元
を木や草にツカマッチ 歩くと楽に山際に出た。左は見とねえ
ち思うと なおさら見ゆるき不思議。

淵ん中か龍姫が浮かびあがっち 『よいから気をつけて』
ち 優しい笑顔が目に見る。『有難い』『やっぱ龍姫は優しい
んじゃねえ』 話題はいつんなかめーか 広がると龍姫ん評判
も ゆうなっち 見方も考え方も ずーつと変わっち来た。や
っぱ解っちくれちよる みんなじ大事せんとねえ。

供養塔、安全祈願、おそらくみんなが そげな気持ちになっ
ちかるは 道もチットズツユウナツタ そり一通る人たちも
感謝しながら通る そげな気持ちん集まりが 事故もノウナツ
タんかん知れん。手を合わせち感謝する時 そこにゃ目にこす
見えんが なにか物事の無事を 祈る力が働くんじゃろう。

清正公祭りん御輿も ここん淵にゃ入らないち言う。そげな
心ん決まりをいつ誰が 決めたでんねえが 無言の教えが継ぎ
伝えじ 守られちよるんは 嬉しい事でんある。時代は変わっ
てん していい事と 悪い事ん区別は守る。それが人間社会ん
摂理でんあり。今日も七瀬川ん水は 知らん振りしち 流れよ
るがじゃきこす みんなじそっと 幸せ念じちこす人間性ん
価値もあるち言うもん。



『指が消しゴム』

石版に石筆じ書いた字に 赤チークん丸をもらうと そりゅー消さんごつカバンに入れち 帰る子どもたちも 道草くいよると消えちょつた。それでん親は頭う撫でよる。上級生になっち西洋紙に書くと 間違っただ時どま 消しゴムなんか買うちゃ もらえんじゃき 指ん先いツツつけち コスルと 紙と一緒に字も消えたき そん上う鉛筆ネブッチ チット濃ゅう字をケータ。

1 銭じくるる店と 間違うち9枚しかくれん店も あっちイトキァ子共も悪口言いよった。そん1 銭もなかなか貰えんき 消しゴムならん指消しゅ なるたけセンゴツは 気をつけちよったんじゃが。銭持ちん家ん子は上等ん紙や 紙ばさみも持ちちよるき 羨ましかったけんど こりゃもう貧乏はドシュモならん。とうとう紙ばさみゃ 買うちゃモラエンジャツタ。

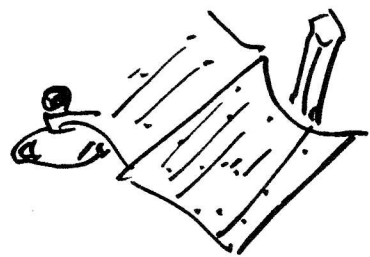
ソレデンマァなんとか卒業しちこんだ 高等科に進んだが 今思うとそれがヨカッタんカ 知れんちも思いよる。おおかた人並みイノチキ しょんぬ見ると それでん生きらるる。いんにゃモシカスリャ 社会に出ちかるわ そげんしほうが旨い 生活世渡たりゅうしよる かん知れんちも思う。

苦勞する親ん気持ちちが解る そげな生活環境がやっぱ 遅しゅ人間ぬ育てちくるるから 世の中に出ち来たら そげな苦勞がこき一きち 生かされよるんじゃろう。ヒョカット指先いツツつけち 紙をコスルトそん感触も やっぱケックシャ いいもんでんあるんも あん頃子どもなり苦勞した 肥やしになっちよるんじゃろう。

◇◇◇ 方言説明 ◇◇◇

6 1 P とぎーなった…ともだちになった。アッチ…あって。ガイト…たくさん。ユウ…よく。じゃがそん…ですがその

- 6 1 P こげな…こんな。とよこい…休憩。そげんこたー…そのような事は。どけか…どうですか。
- 6 2 P ちょうず…運よく。コイサ…今晚。セガウカ…怖がらせる。そうど…そうです。タマガッタ…吃驚した。もんじゃき…ものですから。ねえど…ないよ。ふんとうじゃのう…本当ですか。そげーわ…そんなには。どれか…いずれか。たったままじ…立ったままで失礼。ヨコウカ…休憩しましょう。ヒトカルイ…体格に合わせて。コッチサネ…こちらの方に。いごかして…動かして。たまらんじ…我慢できず。こちしたき…そのようにしたので。ナルタケ…なるべく。イノチキ…生活。シ Cholモンジャキ…しているのですから。やっぱ…やはり。へりん…外側の。トガミチーチ…しっかりつかまって。ソレコス…それでこそ。トコルウ…所を。せんじゃ…しないと。じやった…でした。エートチット…やっと少し。ソゼモスルモンジャキ…痛んだりするものですから。
- 6 4 P ヨダキー…辛くて苦手。ヘモドル…引き返す。ソロソロ…ゆっくりと。チツズツコーナル…少しずつこのように。ノウナッタ…なくなって。
- 6 5 P 石版、石筆、赤チョーク…戦前の学用具。ゴツ…ように。草くい…遊びながら。ツツ…つばき。コスル…する摩擦で。ネブッチ…なめて。ケータ…書いた。イットキァ…しばらくは。センゴツ…しないように。こりゃもう…生まれつき宿命。ドシュモ…どうにも。ソレデンマァ…それでもとにかく。いんにゃ…いえいえ。モシカスリャ…案外と。ヒヨカット…突然無意識に。ケックシャ…結構。ちよるんじゃろう…なっているのでしょう。方言説明
- 6 6 P 方言説明



あやうき話の玉子

あやうき話の玉子



今かる300年はず前んこちなるが　ここらへんな松山と　雑木が　茂つちよつた所じゃつた。てんでんと家があっち　そん周りに畑ある農村風景。久保田ち言う所い　コンメー湛池があっち　えーと飲み水に使うぐれ。まこち貧しい寒村じゃつた。それでん何とか　助けおうち皆んな　イノチキョしよった。

谷村におった工藤三助が　そげな話ゆ聞くタンビ　何とかしちゃうにゃち　寝てん起きてん思いよった。かぎおの井路を　苦勞しち引いた時い　『じゃこんツイデニ何とか』ち　思い巡らせち　芹川をせきとめち　全部井路に流したけんど　一滴も湛水にゃコンジャった。ひれ伏しち泣く姿にゃ　皆んなも同感しちしまう。

三助は井路に　ひれ伏すと神にご加護を　仏に念力をお願いした。ところが水が　ぼりよる、そげな事まじ　ゆう調べたら　ええとチットズツは　流れで一たか　そりゃもう滴はずじゃつた。どしてんこれじゃ　話ならんきもいっぺん　岩ん上に座りくうじ　一心に祈願の執念に　浮動明王ん夢枕んお告げ。

踊りを奉納し大岩を焼き　すぐ水をカクル事じ　岩がホラコーなっち　エート鑿が役立つごつ　掘れはじめ何とか　工事がチットズツ進んだそうな。そしち泥水がチットズツ　流れち一たん嬉しさは　もう飛びあがらんばかりん　喜び声になった。泥水を神仏に供え　石ん祠を建てち『井手明神』ち　名前をつけたが　今ん湛水神社《現在は合祀されたものも》ん　はじまりのよう。

やんがち水も多う流れち　来るごつなっち　井路を開き水路ん整備もしち美しい水も　流れちくるどつなっち。木を切り倒し畑が田に変わっち　みるみるうちい田所になった。春一面に水が渡った田を見ち　三助はうれし涙を　浮かべち『あゝ水が湛えた』　たたえ水ち　神に感謝したそうな。

それかりと言うもんな 誰からともねえ こくう『湛え水』ち
呼ぶごつんった。タタエミズん始まり。つまり正確にゃ『タタエ
ミズ、じゃが いつんなかめーか 『湛水』タマリミズ ち言う
こちなったらしい。昔は文字を読めるしも 少のうじタマリミズ
ち いつとはねー呼ぶ それがもう 当たり前ん名前にも なっ
たごたる。

識者んなかにゃ 本当ん呼び名がいい そげー思うしも多いが
呼び慣れた 親しみやすい となりゃそれも又 いいんじゃナカ
ロウカナ。こん伝説を提供して くだせそさった方も 辞書に
も『たまり』とは 出ないし 由緒のある 呼び方なんしゃが
それかち絶対 悪いち今更変えるのも と苦慮しちよつた。

習慣は恐ろしいものじゃが 工藤三助が苦勞した 水がここま
じ たどり着いた事で あれこれ揉めては 申し分けない事で
使い慣れた 今の呼び方で よいのなら それも又感謝の 気持
ちに通ずるのじゃ あるまいか。振り返って当時を忍び ご苦勞
に思いを 馳せるそん気持ちは 絶対に忘れんじ 水神祭りは
チャントしよるんも なにか微笑ましい。

こん投稿が昭和28年8月じゃき あれかるもう60年以上も
すぎた。今年も無事に田植えが 草取りが《こりやもうアンマリ
見られんが サナボリ、タウエヨコイ、そしち稲刈り》ち 順調
に進んじ早いしゃもう 予約ん供出 親戚に新米ん お接待なん
かが 見らるる。

山が高うしち待たるる水が	岩をくぐっちここまじ来たと
木の葉揺らしち里につくは	顔を覗かすいじらしさ
三助まつりの涙にぬ濡れた	三助まつりに揃うた揃うた
里に帰った娘も濡れる	稲の出穂よりよう揃うた

§ § 故郷民謡『三助おどり』から § §



◎◎◎ 思い起こす 55年はず前 ◎◎◎

昭和55年ち言うと 約55年はずまえになる。53年にゃ今市小学校、中部小学校にプールが 完成。町民グランド造成工事も はじまり、大分医科大学が開校。56年にゃ福宗農道整備事業完成、県道大分⇒竹田線が国道に昇格 442号線となる。石合⇒今市間、野津原⇒奥地開発道路の久住線開通。なんかもあっち えーと道が繋がる地域になった。

そげな頃にはんな地域は どげじゃったろうか。ちっとセンギしち見たら ここ50年あまりんなかめ で一ぶん変わったな無理もねえけど やっぱ過疎、小子化、経済ん低迷なんかが 苦になり気になるけど これも仕方ねえんじゃろうか。ちっと並べサゲーちみたきな。

1月頃にゃ正月はもう 新正月になっちよるき でん昔気質んしゃやっぱ アラレ、カキモチャ 『寒の餅』ち ペツタンコしよる家も多かった。そりーなんちゅうてん 農家は牛馬を使うもんじゃき 五月どま田の中じ 仕事に追う時にゃ ドシテン尻べろ叩くき そん時い怪我うせんごつち 『鞭』を作るんを 『鞭焼き』ち言う。それにこん頃は空気が乾燥 水がすくねえ とキチョルキカ 火事が多かった。それも人家。山とまゝ消防車が サイレン鳴れえち セワシュかったごたる。

今畑、入蔵、吉熊、なんかがおおごとじゃった。そうそう書き初めしたり 初山ち言うち 山を見ちまわり帰りに 榊、ナンテン、なんかを持ち帰る じいさんの横顔は キラキラ輝いちやっぱ 年を感じさせんきな 今年も元気じハリコムんじゃろう。

2月にゃ早いしゃもう 下狩りうはじむる。杉が安うなったち 嘆くけどそんなま ホタッチョイテン どにもならん宿命じゃ。

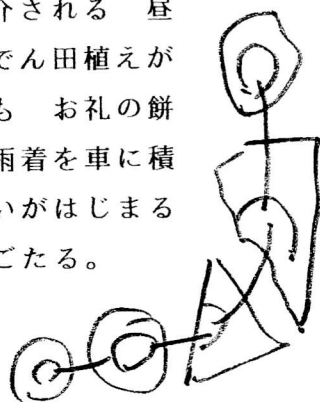
それにまゝ春田起こしななんか はじまると耕運機ん事故も時々起こっち 気をつけんとなゝ。用心に越したこたねーき。

3月に小児マヒ予防接種が はじまるが ふんとヨカラン病氣も出たり。油断もならんこちなった。定期的にある春まつりも ちった肌寒いけんど 太鼓が鳴りだすと 夜更けまじお宮は賑やか。中にゃ神楽を舞いてゑしもあっち 顔見知りだけに 声がかかかるとやら 祭りよばれち来た年寄りも 孫ん顔にゃ財布がフンワカと 緩む風景も和ましい。

4月に入るとこんだ 婦人会が敬老者を呼んで お祝が始まる。花見と並行するだけに 年寄りオンリーじ 思わぬ顔の皺も伸びそう。知事に便りを出す週間があった。身近い要望が多ゆう集まっち 行政ん英知に結びついたよう。新入学、就職と新顔がデビューする 農村も脚光が光च्छよるごたる。

5月になると農繁期に入り 茶摘み、梅ん収穫、タケノコが出まわり ワラビ、ゼンマイが 食欲をそそり立てる。鯉織りがヒラヒラ矢車ん 環がお祝いん合図鳴らしよる。吹き流しと真鯉、緋鯉んコントラストが 旨く交差した五月晴れ。幸せな人生双六が醸しだされちよる。

6月ともなると雨が恨めしい じゃが水不足ん田には やっぱ雨が待たる。天水頼みの田んぼじゃ それこそ雨が頼り。『宙に投げた苗がほどいい所に 落ちました 野津原村ではもう田植えがはじまりました』と ラジオ放送で紹介される 昼のいこいにゃ 忙しい合間にかきこむ昼飯 それでん田植えが済むと 『さなぼり』になる。世話になった家にも お礼の餅うくばり若いしたちゃ 里ん田植えに行くんか 雨着を車に積みこみよる。年寄りは早めに座りくうじ いっぱいがはじまるが 水ん中ん仕事じダリも 出タンカ酔いが早えごたる。



なんぼ水がほしゅうでん 豪雨は困るしソレカチ言うてん干ばつ
あ 尚更困ったもんじゃった。野津原も含めち大分県の 干ばつ
つん大きなものの記録は 慶雲3年〈706〉、元和5年〈1619〉、
享保14年〈1729〉、明和3年〈1766〉、天明6年〈1809〉、
明治27年〈1894〉、明治36年〈1903〉、明治39年〈1906〉、
大正3年〈1914〉、昭和2年〈1927〉、昭和14年〈1939〉、
昭和14年〈1939〉、昭和33年〈1958〉、昭和42年〈1967〉。

主な大けな干ばつ 並べたんじゃが こんほかにん小めえ
干ばつもあったごたる。じゃき水喧嘩が起こり 水番しよったし
がどこかに連れ去られ たりもした。常磐に座りくうだ 女ごし
が水とりきた荒シコに 『オラビタクラレタ』ラ 立ち上がると
イマキュ引きあぐると ピラッと丸出ししち 『やるんかえ』
ち一括に さすがん荒男もへニャへニャ 腰う抜かしたそうな。

6月になると早生ん田植えがはじまる。6月ん中ん日に植ゆると
『野辺米』になるち こん日は植えんじ苗とりしよった。が
こん日は人手が揃うち 集めち植えた家もあった。高校じ保育所
がはじまり 百姓ししや助かりよった。一方じゃ麦刈りしよる
片方じゃ田植えち そりゃまあ農繁期ん 典型的な縮図が見られ
よった。

7月に入ると青年団の映画会、PTA映画会もあっちこっち。
土用ん牛ん日にゃ ウナギもじゃがタニシも 粉練りした料理が
夏ん 栄養補給に一役買いよった。モンテンルパかるん 引き上
げ者が夏んさなかに 帰郷したんもこん頃じゃった。

8月ポリオ生ワクチン投与 大掃除があっちこっちじ あっち
畳バタバタ叩く風物詩。盆行事 町長盃野球大会に盆帰りん 若
者も久しぶりん参加。農事台帳調査もありよった。供養踊りん晴
れ姿 女らしさもゆう 眺めらるる年頃娘ん 出合いん場でんあ
った。

9月は婦人会ん慰安会 盆かる区切りん季節 暑さかるチョコット行事ん消化も出来る。そこしよると小学校は運動会 早え子どもは朝晩の遊びに もう運動会が顔うだす。こん前植えた稲がもう背伸びしち そよそよ。秋ん病氣予防に気が許せん。干し草がツボいっぱいに広げ 晩方どま草イキレが 季節う感じさする。

10月にゃ『お日待ち』行事 農家が米がゆう出来るごつ太陽に感謝する農家ん行事。大元は地主が小作人の 一年間の田んぼ畑を利用しち作った そんな労に感謝する気持ちかる 晩に招いち労をねぎらう 慰労会じゃつた。飲み食い無礼講じ言いたえことも聞きてえことも 遠慮のう言え聞けた 特別ん晩じゃつた。

事実すべてを聞くことじ 欠点見出し苦労ん原因 改善余地なんかを 見つけちいい方向に進め 作ってくれた感謝ん一時を 最大限に生かして さらに農地の高度利用によっち お互いが豊かになる話合いてでんあった。夜食もよばれ尽きぬ話しと仮眠で 夜明けを迎え太陽を拝み みやげを抱き引き上げる。みやげが帰るのを待つ 早朝ん家族子ともん喜び。

それによっち小作人も 頑張れるし収穫が多いと 暮れの宴がまた楽しく待たれる。地主にしても土地が生かされ 管理が高度でありゃ収益もさらに 増した働く楽しみのある 人生でんあった地主と小作人の 人情物語てんある。労働の喜びは即収益にも帰っちくる それがまさにツツロク人生。

11月は取り入れがぼちぼち まさに農繁期にはいる。高校ん託児保育所は感謝され 生徒も育児や子どもん 扱いん勉強も出来た。民謡研究家ん加藤正人が 野津原地域じ調査收拾をしたんがこん頃じ 地元ん趣味んあるしたちが 加勢もしよっ

たき 思わぬ順調に進んだ。



- 67 P コンメー…小さい。イノチキ…生活。タンビ…たびたび。
じゃこん…ではこの。ツイデ…よい機会ですから。カクル
コトジ…流すので。ホラコー…柔らかに。
- 68 P チャント…詳しくしっかりと。
- 69 P なんかも…なども。センギ…見つけたら。並ベサゲーチ…
たくさん並べておいて。しよりゃやっぱ…ついてると。な
んちゅうてん…なんと言うても。ドシテン…どうしても。
そうそう…そのようです。ホタッチョツテン…そのままに
しておいても。
- 70 P こたね一き…したうえはないから。ヨカラン…予想以上の
。フンワカ…なんとなく。ごたる…ようです。昼のいこい
…ラジオの正午15分から放送の 農家向け番組。さなぼ
り…田植えが済んだ報告をする行事で 苗を洗って供えた
後 世話になった人たちに お礼のお接待をする。区切り
の習わしで終わっていない 家の加勢にも行く事もある。
くうじ…落ち着いて。ジダッタ…疲れも出たよう。
- 71 P なんぼ…いくら。ソケカチ…それでも。じゃき…ですから
。オラビタクジル…叫んでやかましく。ピラット…身軽に
飛ぶ。野辺米…葬儀の時に使う準備。タニシ…田んぼにい
る貝の仲間…現在はあまり見られないが。。
- 72 P ツボイッパイニ…農家の庭先いっぱいに。どま…には。草
イキレ…干し草の独特な匂い。みやげ…家族みんなに心づ
けのご褒美品。ツツロク人生…物や知恵や心が行き来する
好誼の 関係にある人の付き合い。

人間な一人じゃ生きられんもん 支え合う助け合いん心が 損が
得にもなり負けが勝ちにも変わる。これが人間哲学でんあるが ど
うかすりゃ自分だけが 偉く強く富裕層ち思う 浅儂さが転げだす
と あっと思うまに底まで 止まらない例もありそうじゃ。奢らず。
貧しがらず 心は豊かに過ごす事。

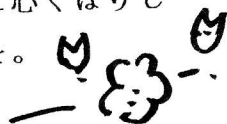
12月はまだ米の出荷も終わって 庭先じゃ『クンタン焼き』
が 紫煙め上らせよる。苗代に使う材料一つ 先の仕事と
明日の事が いつも同時進行しよるんが 百姓農家である。
郡内駅伝大会が湯布院⇨大分間じありよった。野津原を舞台にし
た駅伝な 大分大学がでーぶん前に 野津原⇨大分間を走った。

なんさま起伏が多いき 走るしもヤオネーガ 村中ん駅伝なら
今市⇨野津原コース。野津原村んころにゃ 自転車競争もあった
が 四辻峠周辺じ走った 健康マラソン大会や 宇曾山マラソン
大会なんかもあった。じゃが今はもう 交通事情も悪いし選手の
揃えも 困難じ支所周辺の『桜ロード』を リレー式に走る方法
が 取り入れられた。

秋祭りの遅い地域 米すりん残った家なんか 年末節期ん仕事
あ 農家にゃこれまじち 区切りもなかなか難しいごたる。けん
どまあヤウヂが 皆んなづりサカシュカリヤ 由にしちよつてん
いいんじゃ なかるうか。昔しゃ節期ん掛けん払いも 小作米ん
納め込みも今じゃもう 見かけんなあ農家も 自作農家になった
証である。

55年も過ぎちみると 経済もかわったし人ん 年令もそんく
れ皆んなが 年う重ねたこちなる。町に働く場所を持つ 自然と
盆、正月だけが出会う風景。じゃがきっとまた いい事もあるち
信じち頑張りましょう。稼ぐに追いつく貧乏なしち 昔ん諺にも
あるきなえ。病気せんことじゃなあ。

東京んスカイツリー 634メートルで 宇曾山と同じ高さじ
ゃが こっちん方が高いごたるなえ。欲目じゃろうが やっぱ里
ん宇曾山な どっかる見てんいい山じゃこと。寝つかん工面しち
今年も 暑い予想ですき無理はせんこと。健康管理に心くばりし
ち お元気な日々をお祈りしています。ご自愛の程を。



※ 蛇口ゃ閉めるんも程度もん…蛇口うテンショムショひづ
閉め それでん水がポトポト。水道蛇口にゃパッキンが
入っち 水ん流れを調整しよる。こん時にパッキンが
旨い具合に水をストップする。閉めたらんでん 水はそ
くう潜っち出る。閉め過ぎてんパッキンが ヨゴージシ
マウき そんな隙間をすり抜くる。

いつもん感覚じサット閉める それじパッキンが『止ま
れ』ち 言うき水もオズージ そきー止まるが ひずう
閉めた時にゃ 『よーいこっちべてー隙間』ち トギう
呼び集むるき 何のこたーねえポタリポタリ……。コリ
ュウ『けちん尻抜け』ち言う。

★ 町づくりん人たち…城下町《権現中心》かる 宿場町にな
った野津原にゃ 明治《1868》になっち 急速に人が
集まった。そん中にゃ大工、鍛冶屋、下駄屋、染物屋、と
多種多様化しち来た。江戸期かる続いた 食生活に結びち
いた店が 宿屋と共に広がり 生活にゃ事かかぬようにな
っち 府内に出るにしてん 客馬車が待ちょつた。

歩いて3里は片昼仕事じ そげな便利な土地だけに 店が
並び他地区かる入った 人たちが共に競い合い 栄えたん
じゃろう。人が住み着き神仏とん 関わりあいがやがて
医者も定着 町づくりはさらに 進んじ寺小屋 勉学所な
んかも出来ち 皆んなが勉強もするごつなった。そしち
いよいよ小学校も 出来たきますます 勉強する時代にな
ったごたる。

そんな頃まじ木の上にゃ 今流なら中等教育ん寺も 出来ち
よつた。き勉強意欲も高まった。大分にも通学し 地元
にゃ青年学校、やがて子ども会も出来だした。

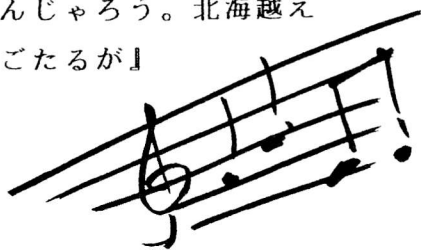
昭和24年に大分県が懸賞募集した 引き上げ者を迎える歌の『北海越えて』に 野津原じ振りがついち 小学6年生4人の舞台が東部小学校じ 披露されたんがそん直後じゃった。当時校長先生と懇意じゃった 振り師ん勉強したしが 無理に頼んで実行したが 教頭先生なんかは 乗り気じゃなかった。

『お帰りなさい お父さん 初めて合う日 今日この日…』と 47万同胞がまだ未帰還の頃 南方方面は派手に迎えられてん 北方方面は陰気な状況に 苦慮しち依頼した歌ん完成。妻城良夫ん作詞作曲じ 教頭先生どま当時ん一流振師ん 名前をでえち目を見つめた時 ひやっとしたち言う。

父親、母親、妻、息子ん4人4役を 旨くこなしち 舞台を飾った作法教室。若草子ども会じゃき 物怖じせんじ出来たんかん知れん。『ようこそ お帰りなさいませ さぞ辛かった……』銃後ん嫁としち 親子と苦労した間の 息んつまる戦争がえーと終わってん いつ帰るかわからん 北国えん抑留生活。

両親も 『ご苦労だったすまなんだ 一目みるまじ見せるまじ……』ち 齒を食いしぼりながら 頑張ったかいもあった。4番にゃ 『倅よ あなた お父さん……』と 家族愛が鮮烈に盛り込まれた こん歌が振りつけられち 踊ったあん子ども達も もう還暦すげち 孫抱えるごつなっちょる。

振り返ると『いい思い出になったんで』 大笑いする横顔にゃ 懐かしい 貧乏じゃったけんど 楽しい夢とロマンが なんか今もヒカッ湧いちくるごたる 子ども会時代じゃったち言う。それだけ心は豊かじ 幸せな頃でん あったんじゃろう。北海越えては もう知っちょるしも 少のうなったごたるが』



そ ソザチン…粗末にして、雑にしていためて、扱いが悪くて。
ソザチャ……育ったのなら、育って安心、育つまでが苦勞。
ソザッチョル……育っているので安心、成果がよい、抜群。
ゾサクサマギリ……多様な時に便乗して、調子に合わせた。
ゾサタン……育ちが悪い、栽培に失敗する、躰が悪くて。
ソザシチ……いためてしまって、折角なのに迷惑かけ。
ソザタチソコノウチ……発育が悪く、間違った栽培で。
ソジュウヒツパル……袖を引っ張って、なにか欲望が。
ソジテン……そざしても、傷めてしまって、傷つけて。
ソジャキムゲネエ……そうですから可愛いそう、苛めに。

ソシチカル…そうしてから、それから次は、それから後は。
ソシタラ……そうしましたら、それがよかったか悪いか。
ソジイリ……袖に手をいれなさい、冷たい手は袖に。
ソジュウカラギ……袖をからげあげて、袖からげで大丈夫。
ソジチョリヤ……構わないで、知らぬ振りして、疎外して。
ソジスルキ……聞かないふりしい、しらぬがよいから。
ソズルゴタル……傷めるようだから、気をつけないと大変。
ソズルド……傷んだら大変、気をつれないと傷む。
ソズリヤ……傷んだら大事、用心しないと後で後悔する。
ソズルキ……傷むから、傷んだら弁償しないと、取扱注意。

ソズンナ…傷むようだから、取扱いを丁寧に、無理は禁物。
ソゼテン…傷んでも心配ない。傷んだら責任を、怖い商品。
ソゼンゴツ……傷まないように、取扱いに気をつけて。
ソゼタナ……傷んだのは、傷がついたら弁償があるから。
ソゼタンカ……傷んだのですか、傷物は分類して。
ソゼチ……傷んだから、別に分類して、再利用の方法を。
ソゼチカル……傷んでからでは、傷まないように用心して。
ソゼンデン……傷まなくても古くなれば、季節遅れは分別。
ソゼメー……傷まないでしょう、完全に包装してあるから。

そ ソソコスデージ……そこが一番大事、女性性器こそが大事。
ソソカシイ…あわてんぼう、機転が方向違いに、慌て性格。
ソゾーシイ…うるさい、賑やかすぎて、静かにしたらどう。
ソソライー……手に感触がざらざらする、荒々しい感触。
ソソリタチャ……元気よく立って、直立した姿、凛々しく。
ソソソマワリン……女性性器の周辺の、大切な場所に。
ソソ……女性の性器の呼びかたの一種、上品に聞こえる。
ソダチャワルデン…育ちが悪くとも今は別人、見かけでは。
ソダタニャ……育たないと、成長してこそ価値もある。
ソダッタ…育っています、うまく成功した、予定とおりの。

ソダッチョル…育っている、栽培方法が上手、成果がよい。
ソダッチャル……育ってみせる、育たないと申しわけない。
ソダトウドチ……育たないと、頑張って成長したので。
ソダネーカ……そうじゃないですか、そうと思います。
ソダッタンカ……育ったようで、育ってよかったと思う。
ソチャコチャ……あっちこっちに、散乱している。
ソチョリャ……そうしていると、その中間に、その間に。
ソチヨランデン…そうしていなくても、そんなにせずとも。
ソチデン…そちらでも、そちらの方でも、あなたからでも。
ソチドマ…そちら様が、そっちの方なら、そちらの皆さん。

ソチカル……そちらから、そちらの方から、皆様の方から。
ソチマジャ…そちらの方までは、そちらの人は知らないで。
ソックリゲール…そっくりかえて、逆とんぼりに倒れて。
ソッポミーチ……他のほうに向いて、知らぬ振りして。
ソツンネーゴツ……入念な交流に、万事間違いないように。
ソッコター……そことは、そちらの方とは、どちらの方で。
ソツデン……そのようなことでも、そんな事であっても。
ソッチデン……そちらでも、皆様の方でも、そちら。
ソッココスリャ……あらましでも、雑な取扱いでも。



そ ソッチズリ…そちらの方に、貴女の家に行くとっている。
ソッチンハウ…そちらの方向、貴方の方に、行く予定です。
ソデマクリャ…袖をまくりあげて、袖が汚れないように。
ソデンシト…そっと心づけして、暗黙の差し入れ、悪質業者。
ソデマジャ…それまでは、そこまでしなくても、限界もある。
ソデチョリャ…傷んでいるようで、古くなって傷みが。
ソデタキ…傷んでので、傷みが激しくなったよう。
ソデジコス…それでこそ話に、やはりそうでしたか。
ソデクチャ…袖の口がひどく傷んで、目立つ場所、清潔に。
ソトズーニ…外の人には気配り、外の人たちにはいい顔。

ソトカルミリャ…外の人が見ると、内では鬼か、二つ面。
ソトンコモ…他所にいる子どもも、よその子どもたちも。
ソトズロ…外の人には笑顔、内の人には夜叉、二つ面。
ソトベッピン…着飾るが心は、見かけによらぬ不清潔。
ソトンジョ…外ばかりに、外見はよいが、内心は粗悪。
ソトベロ…人側は美しいが、見かけ倒し性格、油断ならぬ。
ソトジュウ…外ばかり飾る、見かけ倒し人格、見かけは。
ソナワリャ…全てが整うと、万人向きの性格、高貴な精神。
ソナエチョケ…供えておきましょう、備えあれば安心。
ソナイチュウニ…供えなさいと、供える準備、備えた気持ち。

ソナエタケンド…備えたのですか、供えて待つ祭り。
ソナエテーガ…供えたいのですが、供えるには、備えの手順。
ゾニンナラン…どうにもならぬ状態、荒れ果てた被害地。
ソヌルゴタラ…曲がって行くよう、曲がった狙い、苦手意識。
ソヌルソベ…曲がって行く側で、失敗が見られて。失敗露見。
ソヌリャモウ…まがったのなら、失敗は取り戻し、反省材料。
ソヌルモンジャキ…曲がるものだから、狙いの失敗が発見。
ソヌルカン…曲がるかも、曲がりを知り、それも発見。
ソヌンナラ…曲がるのなら、次の手は真っ直ぐ打法で。

そ ソネバッチ……機嫌わるく背を張り騒ぐ、怒り不満が爆発。
ソネマクリャ……腹をたてて機嫌がそこねる、不機嫌が爆発。
ソネクルリャ……機嫌そこねて暴れが、怒りが爆発して。
ソネテン……背を張りこわばって怒りをあらわに、不機嫌に。
ソネメートン……そねなくても、欲望不足を態度で示して。
ソノマンマ……見たまんまの心理状況、真正面の人間像。
ソノグレ……それくらいは、当たり前の心理、当然のあり方。
ソノテニャ……奥の手が出て、隠し玉では驚かない。
ソノモン……そのままの、正直な対応、みたままの人間性。
ソノハダ……そのはずで、見たままのありさま、現実主義。

ソバマジ……側まで近寄って、側に来るとはっきりと、接近。
ソバジャキ……そばですから、うどんではない、側なれば理解。
ソバカル……側から、ここが起点で、そばに目標が。
ソバンワキ……側の脇に控えて、側近の立場、役割が肝心。
ソバイジャ……あり余る母乳、母乳が滴る、幸せの原点。
ソバナリャ……側であれば、側だから言える、役割の大切。
ソバトン……側ですとも、そばが適役で、そばなら大丈夫。
ソバツキュ……側にいる必要が、側用心だからこそ。
ソビーチ……引っ張って、引いて、引くことで役立つ。
ソビータンカ……引いて見ましたか、引いた感触はいかが、

ソビーチョケ……引いて確認する、引いたままで、引き役立つ。
ソビオレ……側にいて、側で守って、側の警備を。
ソビヨレ……側に寄って、側で歓談するのも、側ならば。
ソビクルキ……側に来ますから、側において楽しい時間。
ソビカニャ……引かないと、引くことで役立つ、ひけば。
ゾブリャイー……見かけは抜群、大きな収穫がありそう。
ソ布林……見かけのすばらしさ、これならいける。
ソブッテン……素振りが悪い、見かけが高得点に、見かけ倒し。
ソブルカ……見せかけは確かか、見かけが肝心で。



そ ソブハワケ……………側をはわいて、側をきれいにしましょう。
ソブカザレ…側に飾りをつけて、回りをきれいにしましょう。
ソブンナワリー…わけてしまうのは考え物、そのままだが奇麗。
ソベクリャアマユル…側にくると甘えがでる、甘やかし悪い。
ソベオラニャ……………側にしないと危険が、よく見ていないと。
ソベマジキー……………側まで来ていれば、側にいると安心する。
ソベコスイイ……………側ならばこそ安心、側にいて遊んだら。
ソベドマ…側にいればこそ、いたずらしても、心配ないから。
ソベオイチョケ……………側においておけば安心、側で遊ばせて。
ソベキチョレ……………側に来ていなさい、そばなら安心出来る。

ソボユーシヨケ……………側をよく整備して、側を奇麗にきなさい。
ソボミヨレ……………側を見て心配ないか、側で警護して心配なし。
ソボサガセ……………側をよく捜して、足もとを捜すのも。
ソホセンギ……………側をまず捜してから、近くにある事が。
ソボマジヤミタカ……………側もおめたのですか、閉店が多くなり。
ソボマクカ……………蕎麦を撒いて、蕎麦栽培のはじまり。
ソボクル……………側にくるので迎えて、側なら心配ないから。
ソボマツチヨリャ……………しぼんでしまった、空気が抜けたのか。
ソボスンナ……………蕎麦は食べたくないから、蕎麦はあいたので。
ソマルメードチ……………染まらないように、染まらぬ用心を。

ソミータンカ……………スワムク…咳き込んだので、咳が高まって。
ソミーチイウ……………染めたらと勧める、染めてはどうですか。
ソミチョキャ…染めておけばしばらく着られる、染め代えで。
ソムリャコス……………染めておけば、そめたので再利用。
ソムルニャ……………染めるのには、染めて役立つならば。
ソムルゴタリャ……………染めるようなら。染めておけば役立つ。
ソムリャイイ……………染めて役立つ晴姿、再利用も助かるから。
ソムカンナ……………咳こまないようで、スワムカナイヨウ。
ソムルゴツ……………染めるように、染めて使えば、勿体ないから。

そ ソメタンナラ……………染めたのなら、染めたようですから。
ソメモンナ…染物は、染めに出すのなら、染めにしましょう。
ソメンデン……………染めなくても、染めは無用です。
ソメチョケ…染めておけばよいのでは、染めたがよいのでは。
ソメシメー…染物の終わりです、そめるのにはもう終わりに。
ソメラルル……………染められますよ、そめてもよいので。
ソメテーノー……………染めたいのですが、そめてもよいのですが。
ソメタチ……………染めたとしても、染めてみたとしてどうにも。
ソメテン……………染めても染めなくても、構わないけれど。
ソヤケンド……………そうですけれど、それはそうだが。

ソヤマア……………それはまゝまゝ、そうでしたか、そうならば。
ソヤソウジャ……………それはそうでしょうが、そうなのですか。
ソヤジャロー……………そうでしょうね、そうと思っていたが。
ソヤノウ……………そうでしょうな、そうと思っていました。
ソユードチ……………そう言うと思っていました、やっぱりそうで。
ソユートン……………そう言うのではと思って、そうでしょう。
ソユウチオモウ…そのように言うとおもう、多分そうでしょ。
ソユリヤイイ……………添えたならよいのでは、添え物に効果が。
ソユラルリヤ……………添えられるものなら、添えてこそ役立つ。
ソユンナ……………添えなさんな、添えなくてもよいので。

ソユーカノ……………添えましょうか、そえたが品がよい。
ソユードチ……………そえましようと思って、添えたが効果的。
ソヨカジュ…そよ風が快い、そよ風の季節に、そよ風楽しい。。
ソットシチ……………そっとしておいてください、そっとするのも。
ソヨッタナ…少し静かになったようで、少し落ち着いたよう。
ソヨユリュ……………静かになったので、そっとしてあげて。
ソワレン……………添われないから、添えても無理なようで。
ソワンカン……………添わないかも、添わないが無難では。
ソワレチョケ…添われておけば万事、添われて幸せいっぱい。

そ ソワンコター………添わないことは、添わなければ従うから。
ソワルリャノヤ………添われるものなら、そわれるのなら。
ソワンカン………添わないかも、添わないほうが強いよう。
ソラニモコマル…よく似たもので迷惑、よく似て便利な時も。
ソランゴツセント…剃りすぎないように、そり返ると危険で。
ソラルリャアブネ………剃られると怖いから、反られてホット。
ソラスンナ………反らせると危ないから、剃らせたのはよいが。
ソリシテン………それにしても、そのようであるなら、大丈夫。
ソリュイヤワリー…それをいうちゃ悪い、それは他言にして。
ソリャトテン………それはとても喜ぶ、それは黙った方が。

ソリャチガオウ…それは違うのでは、それは間違いと思うが。
ソリャマァソウジャ…それはそうと思うが、それは正しいが。
リリャソウデン………それはそうであっても、それなら早く。
ソリャミタカ………それ見なさい、やはりそうでしたか。
ソリャソレナリ………それはそれで、それだけは知っていた。
ソリシテン…それにしても、それであつたのなら、分かった。
ソリヨウチ………剃りあうのも、反りかえった時の成果は。
ソリュミリャ………それを見ると、やはり見てよかったと思う。
ソリャソウト………それはどうなった、その結果はどうでした。
ソリャマァ…それは大変で、それから先は、結果はどうです。

ソルミチョル………それをじっと見つめて、最後まで見ていた。
ソルチシヨル…それと分かっている。それが違っているのに。
ソルイヤワリー………それは他言無用に、それは内緒にしたが。
ソルースンナ………それは禁止して、それはやめたがよい。
ソレナライイガ………それならよかったが、それでよいと思う。
ソレナリニシヨ…それなりの結末で、よい結果になったよう。
ソレグレ………そのくらいのことは、そのようならよいが。
ソレデン………それでも未練が、それが結果だったの。未解決。
ソレシカ………それだけなら、そんなことなら、それでよいか。

そ ソレコス……それこそ大変、それだから心配、それが理屈に。
ソレデン……それでも行く、それだから心配、それなら安心。
ソレジャ……それならば、それなら行くことに、お先に失礼。
ソレニシテン…それにしては手回しが、機敏性があっち負け。
ソロチョリャ……揃っているの、意見が多く出るようじゃ。
ソロット…こそっと忍び足、黙って戻って来た、黙認したが。
ソロソロ……ぼちぼちはじめましょう、早くしないと遅れる。
ソロベクソウロー…何か意味が分からないが、無責任でいい。
ソロットシチ…黙っていても、知らぬが仏では、知らぬ振り。
ソロバンジ…そろばん勘定は間違い無し、ごまかしは怖いよ。

ソロタチイウ……揃ったのなら、揃ってははじめれば一番よい。
ゾロゾロ…大勢がやってきた、賑やかな何事、落ち着かない。
ソロタンカ……揃ったのなら、はじめてすすめましょう。
ソンママ……そのままにしている、準備しますので。
ソンシモ……その人たちも、暇を持て余して、余暇の利用は。
ソクレンコツ…そのような幼稚な、誰にもできないのでは。
ソンシチ……損した後は儲けもある、損して特を貰う。
ソンゲムキャ…そつちに向くと、こつちが見えない、方向は。
ソソツマリヤ……その結末は、解決に手間どる、少し待って。
ソンサキヤ……その先は真っ暗、明るい日ざしも、先方不明。

ソクレンコタ……そのくらいはお茶の子、簡単謎解き。
ソンシタンド……損して儲けを貰う、損も儲けの始まり。
ソンゲサネ…そちら方向に、そちらに向かいます、すぐ行く。
ソソハズジャ……そのはずですが、決まった通りにする。
ソソジュソコラ……そこらあたり一面に、周辺一面。
ソンシャ……そのひとは、そこにいる人たちは、家族です。
ソソシドマ……その人たちは、そんな連中は、そのグループ。
ソソガキニヤ……その悪坊には、悪者扱いするわりには正直。
ソソクイ……異物を刺さり踏みつけ、素足に異物が刺さって。



◇□△ 方言の広がり △□◇

方言単語だけの欄に 続編№11号から 始まった古くからの生活用語『方言単語』も『あ』の項から 『』の項まじが こん回に入りました。計が18038語になりました。こん続きがこん後に 『た』の項としち 始まります。続編№23号に載るんが 途中までになるが 引き続いて 続編№24号にも 続いち掲載します。てお楽しみに ご愛読くださいませ。

いつものようですが 必ずしも方言じゃ ないかも知れませんが 又卑下した言葉 差別用語 なんかも入りますが これは方言集の性格上ですので ご理解ご了承ください。おそらく『わ』の項の『ワ』の 頃には総計50000語くらいかもでも今記録に残せて よかったと思います。すでに死語になった方言 全く使われない方言など 消え去る運命の 言葉もあるからです。でも反対に東京でも 使われている そんな方言もあって 輝いています。

- た タアラセ…田んぼの荒れた部分、田んぼがあれて見られない。
タアラシヤコマル…田んぼが荒れたのは困る。みすばらしい。
ダアレシ…誰も相手に、人はほとんど相手に、見捨てられて。
。 ダアリヤ…………だれでしょう、誰の事なのか、疲れたので。
ダイナリショウナリ…………大小さまざまに、多かれ少なかれ。
ダイー…疲れてしまった、疲労が激しくて、どうにもならぬ。
ダイヒイ…御輿の先方に行く御弊、役が目立ってすばらしい。
ダイチク…………抱いてゆくので、抱いて楽しむ時はしあわせ。
ダイチョケ…………抱いていなさい、抱いてください子守役。
ダイチータ…………抱きついて安心、抱いてもらってほっと。
タイチクウ…………炊いて食べる料理、炊くことで食べられる。
ダイバラシ…………長い荷物で台を長く使う方法、利用価値が。

た ダイショアルキ……………嫁の里に帰る行く、里歩きん楽しさ。
タイテイナコター…だいたいな事は、なんでも出来る重宝者。
タイチャレ……………炊いてあげなさい、炊いてあげたら。
タイシタコタネ……………大事でもない、吃驚すんほどでもない。
ダイチク……………抱いてゆくがよい、抱いていれば安心する。
ダイコマキ……………だいこんを撒く、だいこんを栽培して。
タウユウスル……………田植えをしますから、たうえしないと。
タウエン……………田植えの、田植え作業が忙しい、農繁期になる。
タウエンダカイ……………田植え間の牛馬の世話、牛馬が大切に。
タウエウマカタ…田植え作業の馬使い、田植えには馬の役割。

タウエナカトリ……………田植えの植えつけ紐引き、紐で印をつけ。
タウユーシュ……………田植えをしましょう、田植え時期になって。
タウウセ……………田んぼからの荷物運び、田んぼに荷物を。
タエネエ……………なにか楽しみもない、刺激がなくてぼんやり。
タエチョリャ…絶えてしまったので、枯れてしまったようで。
タエジ……………なくなってしまったので、補充をしないと。
タエチ……………消えてなくなった、なくなってしまったよう。
タエメー……………なくならないだろう、なくなる心配はないので。
タエラカ……………自慢話がおおきいが、自慢がどこまで通用。
タエンゴツ……………絶えないように管理、なくなってからでは。

タエルリャ……………たえらりるのなら、我慢てきねものなら。
タオヨコワシ……………田んぼもまには休ませて、休耕田にして。
タオセル……………たんほを整地して、田んぼを平らにする。
タオルル……………倒れたのなら、たおれては大変で、無理は禁物。
タオヨコタクリ…田んぼを横切って走る、田んぼがいい場所。
タオレン……………倒れないから、たおれるまでは、たおれたら。
ダオオウ……………牛馬を追う、牛馬を上手に使う、駄使いが上手。
タオマシヤ……………田んぼをまして、増産はよいが労力が。
タオシチヨケ……………田んぼの仕事をして、田んぼ作業が待つて。



た タオルリャ……倒れたのなら、倒れたらしい、やっとなら。タオマウ……田んぼを回って、田回りして水を管理、水見て。タオレテン……倒れたのなら、たおれたようですから。タカガ……たいしたことのない人の、意外な人のことなら。タカンコ……とんぴが生むとは、珍しい存在の話、考えられん。タガガ……桶の輪が緩んだので、桶の輪を換えないと水漏れ。タカハリャ……祭りの高張り提灯、祭りにつきものの提灯。タカガシレチヨル……大したことはないから、当たり前で。ダカレテーナ……抱かれないような泣き方、甘えが覚えられて。ダカルリャ……抱かれたのなら、お前もほどほどにしないと。

タカムリャ……気持ちが高ぶって、意欲を高めて、気合を入れ。タカメチョケ……高めにしておけば、高くしたほうが都合よい。タカラルリャ……無理に言われると、分かっているけど仕方なし。タガシミー……桶の輪を絞めて、丈夫にしておかないと。タカメ……高めにしておけばよく見える、高めなら無事だが。タカセチ……炊きながら時間調整、炊いていると覚えるもの。タキナー……炊いてくれたら助かる、炊き方が難しいもの。タキモンヌ……焚物を集めてはじめよう、薪集めから仕事。タキツキュ……炊きはじめに燃やしつけを、着火準備から。タキグチュ……燃やす炊き口は綺麗に、火は神聖なものです。

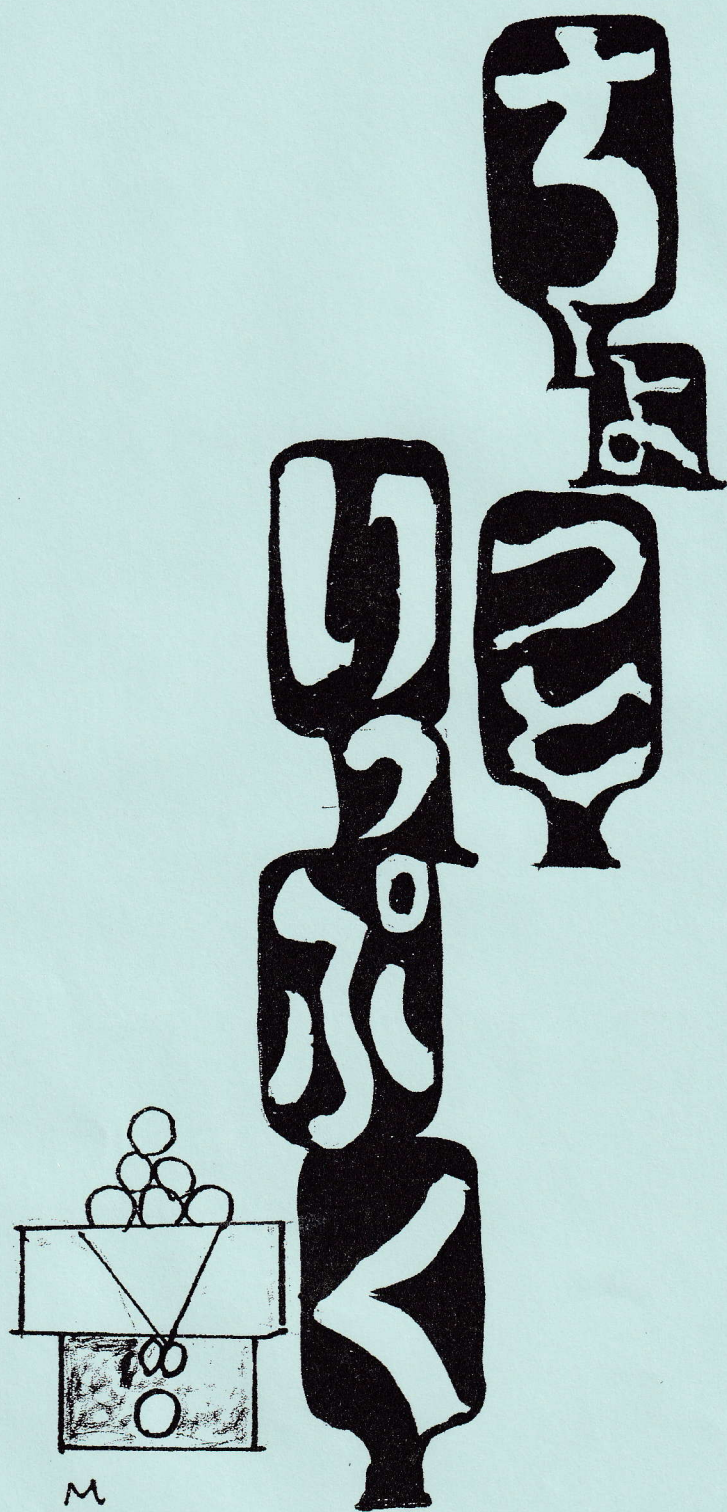
タキツケチ……燃やしつけてからは用心を、燃えだしたら。タキモンジ……薪でこんがり、薪料理は熱処理がよいから。タキダシ……炊き出したら、救援料理教室、非常食の応援。タギリ……興奮状態、沸騰しはじめたら、爆発気分の怒り方。タギル……興奮した状態、人の意見が聞けない、勝手気ままな。タキャ……背だけは、背の高さを計って記録する、高い背の人。タギッチョル……興奮して言うことも聞かない、手前勝手な。ダキグシュ……抱き癖がついたので、あまやかしが迷惑に。ダキタカリャ……抱きたいのなら、抱いてもいいが甘えて。

た タクナッチョル……苦しそうにしゃがみこむ、うずくまって。
タクナロウジョチ……うずくまってしまいそう、大丈夫なの。
タグッテン…手繰り寄せても、引き寄せて見ると、引き寄せ。
タクケンド……炊きますが、たいていますが、炊きますから。
タクラレチョル……騙し取られている、知らぬ間に取りれて。
タクラルリヤ……騙されてうっかりして、しまった遅かった。
タクネチ…ごまかして、騙し取って、うまくごまかしたので。
タグケーチ……………ねんざして、ねんざで傷めたよう。
タクキ……炊きますから、たくので来てください、炊飯開始。
タクソベ……………炊いている側で見学、炊く事の勉強を。

タクヌー…炊いているのを、炊く方法を習って、炊事の基本。
タクチ……………炊くと連絡が、炊きますから集合。
タクンカン……炊くかもしれません、炊くことに決まった。
タクジャロウ……炊くと思いますから、たくと連絡も。
タクヤ……炊くのですかそれは、楽しみにしています、期待。
ダクット…あっさりと切断、歯切れのよい裁断、切り口見事。
ダクダク……歯切れのよい音、手早い調理の達人、霜の朝。
タグケータ……………捻挫して苦労している、捻挫の治療に。
タグアラエ…肥桶を洗って、肥桶は使ったらすぐ洗うように。
タケナワン……竹が縄の代わりに使われる、強い利用方法。

タケナオ……竹で作った縄で利用、竹の使い方で縄の役割。
タケモンニナル…高いものになるときも、貰えば高いものに。
タケタゴタル……炊けたようすから、炊けましたので。
タケタナァ……たけましたので席について、食事の準備が。
タケンボンポ……竹で作った入れ物、竹を利用した容器。
タケンポツポ……竹を生かした入れ物、竹が入れ物に変身。
タケヅツン……竹のいれものに花が一輪、竹の筒に入れた花。
タケモタ…竹はもとから割ると割れ難い、先から割るが理想。





★★★ あれから24年 月日の立つのは早いもの ★★★

方言調査に『とりくんだらドゲーナ』ち 話しかけたんがもう
24年も 前んこちなった。『ヨダキーケンド』 アゴヒゲゝ撫
でちニコッと笑う。それヨリカズット 前に話はタンビタンビ
出よったし文化協会も 総会じ『やろえ』ち 話がトントン拍子
やるハズジャツタ。が そうはいかんもんじゃ。

会長が《当時》文化財調査委員じゃき 今なら話がデーブンと
聞き取るるき機会は ドンピシャジャツタガ ホンナち取り組む
ちなると やっぱ勇気も度胸もいる。ダレドウガするな、断われ
れドモシュウト もうペシャクコに なりかねん。『じゃなゝ
やっぱ難しいごたるなゝ』 それじまた立ち消え。

そうこうしよったら 平成ち言う時代になった。『もうヨダト
ウエ』『ジャナ スルカナ』 簡単にする 出来るんならもう
一番いいこつ。じゃが誰が どけな方法じ いつかる スルンナ
ち 立ち止まった。『ちょいと加勢せんなえ』『あーいいで』
一番手に乗ったんが 何でも出来ち器用人。

『ここかる手繰り寄せち 話が弾むと案外集まるんじゃ……』
たまたま委員会ん日に 『こげなふうじ 加勢すると』 ちった
嘘もあったが 大きいめに言うち 謎かけたトコロガ 『ヤリマ
ショウ』になった。春先ん気持ちもいい気節 田んぼにゃもう
田植え準備ん水が ガイト入っちよるし なんか幸先がいいごた
る。水が取れたら何か ユタットナル 不思議なもんじゃなゝ。

3人揃うたところじ『今年かる取り組みしゅうえ いつまでん
ホッタラカシ シチョクト ほかんしどうが やりだすと 勿体
ねゑがえ』『ありゃまゝ そげんこた一なかるう けんどなゝ』
話がナンカシランガ 調子がヨスグリャセンカナァ』

3人寄れば文殊の知恵とか スンナリット話が弾む。ここじ
モウ内緒に候補者を出えち みりゃどげーかな。それがいい善
な急げじゃき。皆話がゆう解るもんじゃき 10人はず出たん
が ホボオナジ想いん人ばかり。以心伝心たユウ言うたもん。
とりあえず8人決まった。『あんたどうは抜けなんなえ』

爆笑が響くもんじゃき 事務所んしども何事かち チラリ覗
ききたがショワネエゴタルキ ヌキアシじ引き返した。ほんな
後ん7人にコイサマジ 当たっちよかりゃもう それじ行くこ
ちしゆうになった。今考えちみると そげな機会にもうナッチ
ヨッタ そげな想いも回想さるる。

独りは健康の都合じ無理 独りは加勢はするからと 7人が
決まり間をオカンジ 打合せ会を始めました。『それまでに
解る範囲ん方言ぬ 書き抜いて持参しちょくれ。その時に寄っ
た方言が 450語あっち 重複したんもあつたが とにかく
スタートしたな間違いねえ 数字じゃつた。』

『こりゃいいんじゃねえ』『ひやっとしたが やっちみると
尾も黒いごたるなあ』『そん調子じ集むりゃもう上等』で
『ご苦労じゃけんど 気楽にやりましょうよ』『こげんことじ
なえ よかりゃかてちょくれ』『とにかく方言じのうでん
集めち 皆んなじ選別すりゃいいき 何も心配いらんので』
『たまがった 食いつかるるかち 思うたが世話ねえな』

選別して重複やら 方言じねえのなんかを 分類しち300
語あまりん 第1回收拾は見事に誘い込まれた。次まじまた
『書き貯めち持ち来ちょくれな』『会費がいるんじゃねえ』
『そりゃまあまた打ち合わせん時に 決めような あんまり
銭は出さん 使わん工面じ行こえな』『それがいい じねえと
変な風に誤解されたんじゃなえ』『そげしゆうえな』



方言集続編No 2 3号《通算3 3号》までの 力戦奮闘した素人
集団。それまでの約2年半に コピー取りしながら 一気に発行
出来たのが 平成7年3月で『前編』を 中央公民館の皆さんの
ご支援で ほんの50ページ冊子。印刷インクの匂いが歓喜に。
関係機関などにも謹呈 あっと思う間にシマエタキ 応援しちく
れち2版を追加印刷。すでに後編も編集済みじ 10月にゃ一気
に『前編』『後編』 調査収拾で記録した『こぼればなし』も
合わせて発行した。3冊セット箱入りじゃった。

時あたかも野津原町『町政施行40周年』 そりゃまあめでた
い年んタイミング。記念冊子にち話すと 町からも支援しちやる
になった。感謝感激じゃったき それなら必要分だけ貰って あ
とは全部記念号としち そっくり謹呈するこちなった。町でも更
に増刷の上祝賀会のプレに 利用することになった。

平成11年からは表紙も色紙 方言集続編として 毎年1回の
限定100冊で継続に。この間に小学生向けの『優しい方言ガイ
ド』 なんかも発行しち謹呈。方言単語も12000語が入った
。15年3月にゃ『方言単語集』として『前編』『後編』の 2
冊を発行 12月にゃ 『方言単語追加編』も 発行した。ここ
まじ進んじ15090語 どうやら取り組んじ よかったち自負
もシチョリマス。

16年からは10ほどんジャンルん 別に方言単語を分割しち
毎年チットズツ入れ 20年版にゃそれもほぼ終わった。こん間
にゃジャンルごと案内に 色紙を挟んじ見つけやすい 冊子に変
身しちくれたごたるです。21年からは今までん 方言単語全て
を更に『あいうえお』順に 毎年分割しちいれよります。

平成28年10月まじん 分割じ入った方言単語ぁ15386
語。1つでん5つん意味もある ソゲナンモあります。

こげえに苦勞はあるけど まゝまあ進みよったが 少ねえ会員の重鎮が3人も逝去。独りは故郷に引き上げち 残った4人がそれぞれん 個性をし生かした活動を 繊細に続けちこんまま進んじ行くと ヒョイトスリヤ単語 45000語ぐれにゃ なるんじゃアルメーカ。

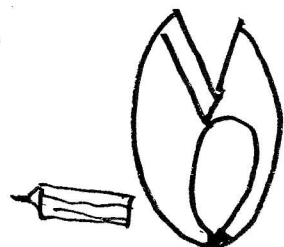
もっとも一つん単語でん 意味がいく通りもあるき そりゅー全部を書き並べちやるき トテン脈やかになりつつある。一つそん例を見てん 『いいで』ん場合⇒ヨイデスヨ、ジユウニシチ、ヨカロウカラ、ナカメーハイロウ、タバネル縄 などがある。聞いただけじゃ誤解されやすい、意味が判明しにくい。

じゃが相手を思いやる 情愛がそげなんぬ 解決するのもある。上記ん場合『いいで』は 非常に無責任な返事なんじ はっきり言い切らないと誤解が生じるが 相手ん情愛がはいれば 思って聞いた返事なら 4つはお任せとなる。が相手も受けた以上は責任を 持ってくれると思う。

『いいで』 にゃ賛成と 無用です とのアイハンスル意味があるき 早合点すると結果に とんでもない事が起きる。そんな単語をはば全部が入っています。ので数は膨大になります。それがまた古い生活用語でも あるんじやろうなあ。心が中に仲介しちくくるき 心配ねえイノチキも 出来たんかん知れん。

平成24年からは ご愛読者ん希望が多いき 年2回発行にしち 出来るだけ早く皆様に おとどけ申したいと思います。ので引き続きご愛読のほど お願い申します。

この頃ん話じゃが日本人と傘 毎年1億3000万本発売じ 透明な簡易傘が8000万本とか。最近な丈夫な傘になっち 長う使われるごたるき大事に してーもんでんある。



『ちょいと買い物に行くけど　こん前言いよった筈いる』
いっとき考えよったが　忙しいのに返事がねえ。と　突然『よか
ろう』　『解った』　バズが滑りこんだき　フガユウ乗れた。

こん時じゃった　『はて　よかろうは』ち　思案がはじまった
んじゃが。自分がんぬ買うと　迷うたけど　『いいなら　家じ
使おう』ち　2つ買いマテヨ。　相手が気が通じあうんなら　も
んくはなかろうが　変わり者じゃったり　天気者じゃったり　色
ん好みと違うと　『よかろうち言うたこと』　一蹴されちしま
う。

気持ちがわかったしなら　折角買っちきちくれた　ちっと好み
じゃねえが　貰わんと済まんち　気を使うもんじゃ。『よかろう
ち　言うたに』じ　終わりになる。『いいで』『よかろう』にゃ
二つん意味があるき　用心に越したこたねえ。『いいで』にも
『よかろう』にも　二つに使える意味がある。

信頼しあっておれば　問題はないし　かりに気を利かせた買い
でん　『いいで　どうせ使うもんじゃし　こん色好きじゃわな』
となる。そげ一言わるりゃ　『はい　夏　見舞いにあげるで』
『りゃー悪いなゝ』ち　こんだ次ん機会にゃ　思わぬお接待も
あるもん。これこす『つつろく人生』　ジャロウ。

『する』『さする』『してんいいで』　変に考えると　可笑し
く聞こえるかん　知れんがそりゃー　本人がそげな憶測があるき
聞こえ　響くんじゃろう。言葉には　ほとんど陰陽な意味がある
が　じゃき親しみ安く　面白く情愛がこめらるる。場面によっち
意味も全く　異なるこちーなるき　場所相手によっち　上手に使
いわけんと　信頼問題にも発展する。

そげな方言を調査収拾しよると　人間の赤裸々な生活が　浮き
彫り悲哀も感じるが　相手を大事にする真心は大切ち思う。。

- 89 P ドゲーナ…どうですか。ヨダキーケンド…いやだけれど。それヨリカズット…それよりもはるかに。もんじゃ…ものです。ドンピシャ…うまく行き。キシナ…きてすぐ。ダレドーガ…誰たちが。ドモシュウト…とすれば。ベシャンコ…つぶれてために。ヨダツト…はじめると。ジャナ…ですね。スルンナ…はじめの。ガイト…たくさん。ユタツトスル…ゆっくりと。ホッタラカシ…そのままにして。ナシカシランガ…なでかしらないが。
- 90 p どげーかえ…どうですか。ショワネーゴタル…大丈夫なようで。コイサマジ…今晚までに。オカンジ…すぐに。たまがった…びっくりした。いるんじゃねえ…必要なのでは。そりゃまゝ…それはまた。
- 91 P シマエタキ…おわったので。ミチョリャコス…見ていればこそ。ジャンル…項目別。チットズツ…少しずつ。ソゲナンモ…そんなものも。
- 92 P ヒョイトスリャ…もしかしたら。アルメーカ…あるまいか。トテン…とても。ヨカローカラ…よいでしょうから。ナカメーハイロウ…仲間に入れて。イノチキ…生活。してーもんでん…したいものでも。
- 93 P フガユー…運よく。いったに…言うたのに。つつろく人生…人間行き来するから生かされる。ジャロー…でしょう。そげな…そんな。

太陽の前を金星が通過する 高さ634メートルの電波塔完成など 日本でも4年前には 画期的な話題が豊富にあった。オリンピック開催があり聖火が ギリシャから会場まで リレーされるが 内容が豊富になり選手も 若返る進歩の世代になった。高齢化社会どこまで進むか 方言も記録の仲間入りして残したいものです。



野津原じ古くかる使いよる 生活用語ん方言じ 日本各地でん
使いよるんがデーブン あるもんじゃき コンダチット 並べ
ちみました。タマガルゴタル のやら『ふふーん ジャナァ』
ち思うんも ケックシャ あるもんじゃわな。北ん方かる始め
ヨウカナ。

北海道 カテル…中間に入れる。トーキビ…トーキビ。

ワヤ…無茶。だめじゃつた。

青森 アンベ…具合は。ドモ…あげども。

宮城 ソダス…傷める。

秋田 アンベワリ…都合悪い。マメ…元気。

山形 ホヤ…電球。

栃木 マネル…告げ口する。モヤイニ…一緒に。

群馬 カテル…合わせる。ヘズル…削る。

埼玉 キビショ…急須。ジョーリ…草履。

東京 オチャオケ…お茶おけ。オツモリ…酒がなくなり。

コギタナイ…薄汚い。ノッケニ…はじめに。

神奈川 モヤイデ…一緒に。ロクスッポ…不十分。

新潟 コビリ…こびる。ソロット…ぼちぼち。

長野 ダレドウ…誰たち。ホイジャナ…それではな。

山梨 カジル…ひつかく。トブ…走る。

富山 キノドクナ…申しわけない。

石川 カヤル…転ぶ。

福井 オオキニ…感謝。コソバイー…くすぐったい。

岐阜 ウムス…むす。セフル…ねだる。

静岡 ジルイ…やわらかな。セセクル…もてあそぶ。

愛知 トブ…走る。

三重 ツイデ…他の用事に来て。

滋賀 コラエテ…勘弁して。ノーナル…なくなる。

京都 アマエタ…甘える。イキシ…行くとき。ウチ…私。
オテショ…小皿。キビショ…急須。ノク…どく。
シマツスル…片づけ。ナオス…しまい込む。タク…煮る。

大阪 マイッベン…も一度。ボチボチ…ゆっくり。ホメク…蒸す。
オオキニ…ありがとう。オカン…母親。ズボラ…無精。
ドンナラン…どうにも。ナオス…しまう。ナンボいくら。

兵庫 イゴク…動く。イラウ…さわる。オトンボ…すえっこ。
コソバイー…くすぐったい。ジルイ…柔らかい。
タボウ…ためる。ツクネル…こねる。ホナ…さよなら。
ホメク…蒸し暑い。ホロセ…ジンマシン。

奈良 イッケ…親戚。オトンボ…末っ子。コスイ…ずるい。
サカムケ…爪の付け根がむくれる。ツカエル…混雑する。
ドヤス…殴る。ネキ…側。

和歌山 オオキニ…ありがとう。ホイタラ…そしたら。

鳥取 ショノム…ねたむ。ニジクリツケル…塗りつける。

島根 オンキナ…安心な。アバカン…あり余る。シオハイー…
塩辛い。クジ…苦情。バンギ…夕方。

岡山 オラブ…叫ぶ。セワネェ…大丈夫。マン…運。
ノーナル…なくなる。テゴ…手間。て

広島 イヌル…帰る。オラブ…叫ぶ。カタグ…担ぐ。クジュクル
…むずがる。クワイチゴ…桑の実。ダンタン…次々に。
ツマラン…だめ。ドロオトシ…田植え休み。ボーブラ…
かぼちゃ。ムカワリ…一周忌。

山口 キビル…たばねる。サデコム…かき集める。シカブル…
もらす。スイバリ…木のとげ。ネキ…側。ビツタレ…無精
者。ヘンジョコンゴウ…逆らってつべこべ。マメ…元気。

徳島 インデクル…かえってくる。末っ子。セングリ…次々と。
チョウズ…便所。ハジカイ…痛痒い。ヒコズル…引きずる。
。ヒダルイ…空腹。

香川 ジルイ…かるんでいる。デキアイ…あり合わせ。セラウ…
妬む。



- 愛媛 イイエナコト…とんでもない。オッポ…おんぶ。
 イブシコブシ…こぶこぶができて。キナイ…黄色。
 クジクル…不平を言う。ゴクドサレ…ごくつぶし。
 シャグ…つぶす。ショウケ…ざるなど。
 タイタイ…魚。ネキ…すぐそば。ビンタレ…だらし
 ないかっこう。ヘンジョコンゴ…理屈を言う。
 メンドシイ…恥ずかしい。
- 高知 オンボ…おばれる。トギ…友達。ハグ…むく。
 ヘチ…見当違い。メッソ…あまり。
- 福岡 カルウ…おんぼ。キビル…束ねる。ツマラン…だめ。
 ナンカカル…よりかかる。ヒョクット…突然。
 ヨコウ…休む。
- 佐賀 オラブ…叫ぶ。タマガル…びっくりする。デケン…
 できない。
- 長崎 イッチョン…少しも。オットロシ…おやまゝ。
 ソビク…ひっぱる。タギル…沸騰する。
 ハダグイ…間食。ヒンノム…飲み込む。
 マッポシ…真正面。
- 熊本 イッチョン…すこしも。グゼル…ぐずぐず言う。
 ソサカタクリン…逆さまに。ショノム…妬む。
 ワカラン…だめだ。ヤオイカン…簡単でない。
- 宮崎 オジイ…怖い。オラブ…叫ぶ。
 ナンカカル…よりかかる。ハゲラシイ…くやしい。
 ヨダキー…面倒だ。ホゲル…穴があく。
- 鹿児島 ナオス…かたずける。
- 沖縄 イッペー…いしっぱい。

全国ん方言辞典によりゃ こげな言葉が出血ちくるが 大分ん
 シドモガ聞くと懐かしい。こげなふうに方言な チョコットシタ
 事じよそでん使いよるき 広いごたってん日本な 狭えもんでん
 あるごたるなえ。嬉しい事でんあるが……。

◎ 美しい場面に

アンマリモドカンナンナ…あんまり せがいなんなムゲネエ。
チョツトマツチノミヨルキ…少し待つて今 飲んでいるき。
セカンデンユックリシヨ…急がんでんいいき ゆっくりと。
アタダジャガデキタデ…出来あいじゃけんど食べちょきよ。
コッチガスズシイゴタルデ…こつちおいでチッタ涼しいき。
クワンドルオトシタン…ゆう気がちーたな鍬は一番苦手と。
アセリカエーチョイタキ…ちっといらん世話じゃけんどな。
ノキバネイレタキ…濡るるよりゃよかろうちしちいたで。
ソンママツマンジクイナァ…汚れ手でん自分のじゃきいい。

● 優しい場面が

カッシュウカ…忙しかろうごたるき。お互いん手間がい。
コラエナーナ…あいつも解っちよるんち思う。
イツデンイイナァエ…遠慮してん損でお互い様じゃき。
ムリュシナンナ…無理しちワズロウテン褒むりゃせんき。
ツコーチョキヨ…どこでも切らす事もあるもんじゃき。
シンパイセンジイイキ…こまったら話したらすーとする。
ナカンデンワカッチョル…泣きて一時ゃ思い切ってな。
ハラヒトツオアガリ…時やよそん麦飯がいいもんで。
ユックリハイッタナ…たまにゃ忘れてダリュ取らにゃ。
ハヨイヤイニ…いつまでん一人じ考えじ言うとなになる。

- ★ 言葉ん中にゃ後じジワート 味が出る事も多いき 思い切つて信頼のおける人には 話すこともプラスになる。誤解もあるが自分の欠点もある。じゃき話したことじ 修正の機会にもなっち 早かったのが効果になる。伊達に年は取らんしが多いき 利用したり利用されたり そこに人間の心ん浄化 絆 交流も育ちくるもんです。



年に2回発行になりまして 少し多様になりましたが その分
気合いが入って ご愛読者皆様との 距離が縮まったように 感
じます。この号には 『七瀬川のヤナ』が 懐かしく出ました。
全盛期の川祭りは 近郷の名物にもなって 参会者も多かった
そんな思い出が回想されます。

ふるさとの味にも 日本人の基礎となる食べ物が 根強く生き
ているようです。あげな話にも昔を懐かしむ 人の心が湧いてい
ます。方言が飛び出して 若い女性の思い出は 歌あり野菜づく
りの片鱗にも 覗かれます。子どもの質問に昔の行事が 心にそ
っと復活するような嬉しい一時も 寄り添いました。

宇曾山物語街道はスカイツリーと ほぼ同じの高さに向けて
歩いています。熱心な娘が馬子の五助に 質問したり自分の習い
覚えた繊細な資料を 縦横に交差させながら 知られざる物語が
浮き彫りされて 夢とロマンの多い故郷。だから大好きと笑顔が
いじらしい。

歴史は絶え間なく続き 方言はひっそりと影を 潜めるがその
片隅で少女が カタコトに話すあどけない方言。仄かに笑顔がこ
ぼれて 単語が続いて広がっています。湛水の語源が出ました。
忘れられない捨てがたい 地域の名前も追いながら いつかき
つと又浮上するのを楽しみに。単語は19256語並びました。

次回もお楽しみに ご愛読の程をお願い申し上げ お礼と致し
ます。今回もご愛読を誠に ありがとうございました。

編集者一同

2017年・4月発行予定になります。方言単語の
広がりをはじめ『方言子どもの世界』『民話伝承』
『女性の底力』『ふるさとの味』『宝の玉手箱』
『ちょつと一服』『街道物語…宇曾山☎4』『あげ
な話 こげな話』などが行列つくって並びます
。

取り組み発足して 25年に入り 通算35冊が
書棚に並んだと思います。カラフルな表紙紙が 少
クスンドかも。素人集団の 全て手づくりの 粗末
な冊子ですが 限定100冊が 愛読されていると
思うと取り組んだ ことえの喜びも 満喫しなが
ら 皆様のご支援で続けられる ことに感謝申して
います。誠にありがとうございます。

次回のお会いまで ご自愛の程を。

野津原方言調査会

大分市野津原竹矢

☎ 097-588-0572

事務局 588-0092



い いねこぎ……………稲の脱穀
いのちき……………暮らす、生活
いばりよる……………威張っている
いびる……………いじめ
いびり……………いじめ
いぶりだす……………煙りで追い出す
いまき……………腰巻
いまきんまま……………腰巻のまま
いまがせ……………今だに
いみる……………多くなる、増える
いむめし……………甘藷の入った飯
いもじ……………腰巻
いもあめ……………甘藷を煮詰めた飴
いめーなんめ……………婦らにゃならん
いやり……………蟻
いやで……………嫌い、いやです
いら……………ウロコ
いらぶかす……………騙す、ごまかす
いらぶけーた……………騙した
いらんで……………いりませんよ

いりそこなう……………入る機会失う
いりむこ……………婿養子入り
いれ……………入りなさい、入れる
いるかせ……………自由にさせておけ
いろあい……………色彩色がよい
いろみー……………色目を
いろきちげー……………色魔に迷う

いわれん……………言うわけには
いんげ……………いいえ

いのこつるべ……………井戸水汲つるべ
いばっちょる……………威張る、高飛車
いびしょこねー……………汚ならしい
いびしい……………醜い、汚い
いびりまわす……………意地悪いいじめ
いままじ……………いままで
いまからでん……………今からでも
いまんごつ……………今のよう
いみりでーた……………増えてきた
いみらかす……………増やす
いもあん……………甘藷で作った餡
いも……………この場合甘藷
いむーくう……………いもを食う
いもじはたけち……………腰巻を開く
いやんばい……………都合よい
いやしんぼ……………食い意地が悪い
いやらけーのや……………好かない人
いらんしょ……………おせっかい
いらんな……………いりませんか
いらんしょわやくな……………世話焼き

すぎで嫌われる。

入り百姓……………入植して農業する
いれくる……………騙す、ごまかす
いれあぐる……………熱中する
入れそこなう……………入れるの間違う
いろちょうぐ……………絵の具
いろめあげち……………興奮して
いわんこっちゃねえ……………言ったで
しょう。

いわする……………話させる、言わせる
いんじくせ……………帰ってもいいよ

い	いんにゃ……………いいえ	いろく……………乾燥する
う	ういちーた……………追いついた	ういちょく……………おいて置く
	ううじる……………大釜での汁	ういたはなし……………色話、嫌の話
	ううする……………背おわせる	ううちいく……………追って行く
	うえつぎ……………補植する	うえーた……………沸いた
	うかばん……………浮かない	うかばるる……………成仏、顔がたつ
	うかった……………合格した	うかっちゃる……………合格している
	うく……………浮かぶ	うぐらもち……………もぐら
	うけかぶる……………仕事が遅れる	うち……………私
	うち……………家	うち……………子供の遊びパッチン
	うけちょけ……………受けなさい	うけしごと……………引き受けた仕事
	うけたがる……………試して見たい	うけそこなう……………受ける機会失う
	うげた……………ひねくれる	うけしばい……………勧進元がつく芝居
	うごかせ……………移動させる	うごくなや……………うごきなさんな
	うごいちょけ……………移動しておく事	うごきそこなう……………動く機会失う
	うごかする……………移動させて	うしころし……………眉間を指で叩く
	うじけた……………気重になる	うしをつくろう……………病牛の手当て
	うしみ……………嫁さがし	うしのーち……………失って
	うしぐつ……………牛に藁で作った靴	うすだす……………牛馬で荷物を運ぶ
	うぜる……………ゆがく	うぜよせん……………ゆがく時間がない
	うすー……………嘘を	うそなき……………芝居泣き
	うそんかわ……………嘘ばかり	嘘はっぴやく……………嘘を並べ
	うすむる……………追加してうすめる	うずむ……………風を切る音
	うすのめ……………石臼の割目	うそんじょう……………嘘ばかり
	うそば……………親知らず	うたち……………汚い、汚れ
	うたいなー……………歌ってください	うたちげねー……………いやらしい感触
	うちいた……………麺類を延ばす板	うちだな……………小麦雑穀の台
	うちづら……………家の中でよい顔	うっと……………私
	うちんこ……………自分の家の子	うちばり……………ふすまのした張り
	うちんし……………私の旦那、家の人	うったたく……………ひどく叩く

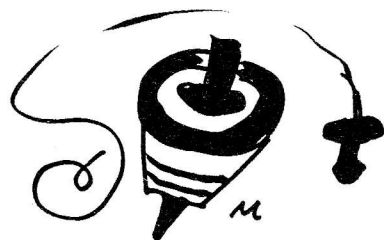
う うちかぶする…頭からかぶせる
うったらかす…構わず捨て置く
うつつくる…無茶に叩きつける
うったて………当てて補修する
うっぱたる………捨ててしまう
うったつる………うえから着せる
うどむ………風を切って鳴る
うとおちくりー…歌っておくれ
うてーじゃ………打ちますよ
うどうむどう…そこらいっばい
うなっちょる………響き鳴る
うなるかえ…響き鳴るですか
うぬが………お前が
うぬかたんし…お前方の人たち
うねつくろい………敵の補修
うべた………水いれたよ
うびー………水を追加せよ
うべちゃんなー…水を入れてあげなさい。
うべちょくれ………水いれて
うぶる………水を追加する
うまに………料理の風習味
うまんつの………無いものの例え
うまれつき………持ち前の性格
うめーき………おいしいから
うみんもんとも…全く解らない
うむす………湿気があり暑苦しい
うむ………出産
うめーもん………おいしいもの
うもう………生みましよう
うようよしよる………そこら一杯

うちかぶる………頭の毛を乱して
うつらうつら…ゆっくり呑気に
うつつくる………釘で打ち止める
うったて………上にあてがう
うったつる………上からあてる
うっとー………私
うどんぬうつ………うどんを作る
うどんげ…クサバカゲローの卵
うでじょうね………腕力持ち
うどま………お前たちは
うなじーた………うなずいた
うな………お前は
うぬどう………お前たち
うねまし…途中から敵が増やす
うべみず………水を追加する
この場合風呂などに。
うぶりゃいい…水を入れなさい
うべて………水入れて
うべちょけ………うべなさい
うべちゃろうか…水入れよーか
うまかえ………馬の入れ替えする
うまんくそひらい………馬糞拾い
田畑の肥やしにする。
うまいどう………お前たち
うむごたる………生まれそうだ
うむす………抱卵
うめごたる…おいしいようです
うめー………おいしい
うもー………おいしく
うやむや………そうべくそうろ
うらめしーやつ…憎らしい相手

う うりべた……………下手な商売
 うろーうつ……………釜飯を転換する
 うろたゆんな……………取り乱すな
 うれたごたる……………売れたよう
 うれすぐる……………熟してしまう
 うわぐち……………性器が上向き
 うんどまあ……………ほんとにまあ
 うんどーかた……………お前かた
 うんすけ……………土製瓶の容器
 うん……………よいです

うるるかえ……………売れますか
 うろうろする……………落ち着かず歩く
 うろいよこい……………雨で休む日
 うれのこり……………嫁に縁遠い
 うわしんどう……………散髪する
 うんがいい……………幸運、巡りがいい
 うんどかた……………自分かた
 うんにゃ……………いいや
 うん……………はい
 うんちょ……………大便

え えーこりゃ……………これはまた
 えーくそ……………はがいい、腹立つ
 えーも……………我慢ならん
 えーた……………空いた
 え……………なんですか
 えーらしい……………かわいい
 えかきしば……………線香等で書く柴
 えぎ……………喉をほる刹那
 えぐい……………喉をほる感触
 えこひーき……………不平等な扱い
 えさむし……………魚釣の餌する虫
 えそーやる……………生き物に餌を
 えずがる……………こわがる
 えだうち……………剪定
 えつり……………土壁の中組
 えつりなわ……………えつりに使う縄
 えとがしら……………干支いちばんネ
 えにする……………絵に書く
 え……………柄



えおすぐる……………柄をつける
 えがなげ……………長い柄がついて
 えくぼほげた……………えくぼが出来る
 えぐいも……………喉をほる感触の芋
 えさばこ……………鳥などの餌の箱
 えださき……………枝の末端
 えじき……………動物の餌
 えだはつり……………枝を切る
 えたいがわからん……………不明物体
 えっへん……………威張る氣勢を張る
 えでんかくか……………絵を書くことに
 えになるなえ……………絵の題財に適當
 え……………絵
 え……………餌

え えのぐじ……………絵の道具で
えば……………蜘蛛の巣の糸
えびごしゅ……………曲がった腰
えらしい……………愛らしい
えらわん……………取り合わない
えらもん……………偉いとかいかぶる
えりさがす……………選びさがす
えれーごっそり…予想以上多く
えれーこち……………大変な事に
えらもん……………偉い人たち
えんなわ……………遊び道具の紐
えんぺつとぐ……………鉛筆を削る
えんどいー……………相手がいない
えーとすんだ……………やっと終わる
えんまく……………霧状態で見えない
えーしこしな……………よい格好しな

えのちょうぐ……………絵の具
えばり……………この場合蜘蛛の巣
えぶ……………俵などにつける札
えらぶる……………偉いと思っている
えらもん……………偉い人
えりすぐる……………選びすぎる
えりくりあう……………まとわり合う
えれーやつじゃ……………偉者じゃ
えれーやつ……………さすが偉い
えんぺつ……………鉛筆
えんやらえーと……………やっとの思い
えんこ……………すわる
縁組みしゅうや……………縁組みしよう
えーくれんこつ……………いい加減な事
えんぎでんねー……………縁起でもない
えーらしい……………可愛いらしい

お おおさむ……………少し寒い感じ
おいちーた……………追いついた
おいちょらん……………置いてない
おいちょく……………置きます
おい……………呼びかけのあなた
おいてー……………大分に
おいのせ……………追い越しせよ
おいまわす……………そこらに追う
おいちーた……………追いついた
おおる……………芽がでた
おおごつ……………大変な事
おおいしい……………大きな束に
おおうす……………余計に入れた曰

おあがり……………上ってください
おいたんしに……………大分の人に
おいちゃりー……………置いて下さい
おいちゃらん……………置かせない
おい……………呼びかけの返事
おいのこす……………追い越す
追いまくる……………追いかける
おいたくる……………むやみに追う
おえ……………追いなさい
おおっぴら……………遠慮なく
おーた……………計算が合う、出会った
おーじょうぎわ……………諦めが悪い
おおいのこ……………主な井戸、水貯め

お おおわり…割れ目の大きい性器
おおげなし………大きい者が
おおづら………出しゃばりする人
おおまら………大きな男性性器
おお……… はい、返事する
おかん………母親
おかどちがい…人違い見当違い
おきの………起きたばかり
おきよせん………起きる時間遅れ
おきそこなう………寝坊する
おくる………土が反転した
おくりはてん…送れない程多い
おけた………起きた
おけたがる………寝るのに飽きた
おけちよる………起きている
おこし………腰巻
おごめん………来訪の挨拶
おこりまわす………激しく叱る
起こしきらん………固くて苦勞
おことおおい………行事が忙しい
おこっちょる…牛馬の発情状態
おさがり………上の着た物を貰う
おじい………恐ろしい、怖い
おさまらん………不満で不承知
おしなぎー………もったいない
おしよる………折る
おしもん………ラクガン
おじじょう………叔父
おしたおせ………押してたおす
おずがり………びくびく、怖がる
おずーなった………怖くなった

おおげなし………大人のくせに
おおづら………大きな顔をする
おいぐち………大きな女性性器
おおあな………穴が大きい性器
おおぐそ…まとめ糞、沢山の糞
おかちゃん………お母さん
おき………燃えた残り火
おきもん………置いてある物
おきはてん………置かれない
おくる………起きた
おくて………遅い育ち
おくりそこなう…送る機会失う
おけた………腹一杯になった
おけだち………起きたばかり
おこる………牛馬が発情する
おごめん………あやまり
おこつる………調子に乗せる
おこしきらん………起す事が無理
おこしきらん…重くて起こせぬ
おこっちょる………怒っている
おさわり………そっと触る
おしこみ………押し入れ
おさげ………三組の髪型
おさまらん…形が小さく入らぬ
おしなぎー…惜しくて仕方ない
お相伴に預かる………相手をする
おししょう………神主
おじゃん………叔父さん
おずる………怖がる、びっくり
おずうじ………怖くて大変
おしそこなう………押す機会失う

お おしよせん……押す機会失う
おせだす……馬で荷を運ぶ
おせ……押しなさい
おたびしょ……御輿の休憩所
おたことまる……見え張り
おちぼひろい……稲の落ち穂拾う
おちゃひき……予想がはずれる
おちゃおけ……茶飲みのつまみ
おちゅーのり……調子に乗る人
おっち……いますから
おつる……飯を釜から移す
おっちもろうち……居って頂く
おっしゃりて……おしゃべり
おつむてんてん……幼児の手遊び
おてしょ……手塩皿、子皿
おてつかん……気がいらいら
おとしわな……落ち込む毘仕掛け
おとより……年末の常会
おとしまわす……落しながら歩く
おとこし……男たち
おとったん……お父さん
おにがみ……架空の神
おなごしゅー……女の人たちを
おねまくら……寝の時の枕
おばじょう……おば
おばん……近所の老婦人
おびとこびろ……帯しめずの姿
おばるる……おんぼする
おひどー……お疲れさま
おまえ……あなた
おまえかた……おなたの家

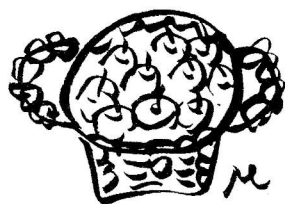
おしりかりー……浮気好き女性
おせまくる……賑やかに競回す
おぞう……じぶんたち
おたちん……嫌られ者
おちょくる……おだてあげる
おちゃにごし……話をそらして
おちゃ……休憩の一服
お茶入れ……嫁の紹介の接待
おちゃばしら……茶柱縁起いい
おづがる……怖がる
おつる……落ちる
おっちゃらん……居ってあげない
おっしゃりて……口上手
おてそこなう……落ちずにすんだ
おてつきもち……結婚祝いの餅
おとご……終わりの子
おとしこみ……井路の水落ち口
おどろくせー……匂い、体臭
おとし……ポケット
おとった……お父さん
おとしん……ポケットの
おなごし……女達
おぬしどう……あなたたちは
おばね……山の稜線
おばん……おばさん
おばんかた……おばの家
おびちょけ……覚えておれ
おびとく……間男する
帯たくなる……帯がまつわる
おまいどー……おんたたちは
おまいがん……あなたのです

お おまえかた……………あなたの家	おまいがん……………あなたのもの
おもや……………本家、在所	おむつかしゅ…口に会わなくて
おめこ……………女性性器	おもに……………予想以上に重い
おもじり……………帰らない、長尻	おもくり……………滑稽な話
おもたがる……………甘えて見る	おやいのこ……………大元の水場
おやんこ……………親に生き写し	親んきんたま……………父親甘え
おやかましゅ……………邪魔して	およこい……………休んでください
おらぶ……………叫ぶ	おらびそこなう……………叫びを失敗
おられん……………居られない	おり……………下りなさい
おり……………私に	おりそこなう……………失敗した下り方
おりゃ……………私は	おりなあ……………いなさい
おりばな……………曼珠沙華	おりな……………居りなさい
おりよ……………居なさい	おりきらん……………居れない気持ち
おる……………居ます	おれんじゃ……………私のです
おるかえ……………居ますか	おるわ……………居ますよ
おれかた……………私の家	おれどう……………私たち
おれどん……………私たち	おれん……………居る事が出来ない
おれが……………私が	おれかかる……………折れそうに
おろす……………物を下に	おろす……………種を撒く
おろす……………墮胎する	おろしたて……………新品使い始め
おろいい……………根性が悪い	おろいいやつ……………悪質な人間
おろーじ……………大声で叫ぶ	おろしそこなう……………降ろすに失敗
おろしかくる……………降ろし始める	おーちゃん……………会ってあげない
おおでまち……………広い田んぼ	おーけんこつ……………予想以上の話
おーこ……………竹で作った荷竿	おーぐい……………大飯食い
おーげなし……………大きな、大人	おーけがねえ……………予想より少ない
おーきに……………有り難う	おーかたん……………おおむね
おーかた……………ほぼ、大体	おーすら……………嘘でごまかす
おーぼら……………大きな嘘	おーとわず……………大きな冗談話
おーね……………おおもと	おーちょる……………合っている
おんのかえ……………居ますか	おんごおんご……………燃え盛った炭

お おんどま……………私たちは おーむてー……………何と無理な事
 おーく……………竹で作った荷担ぎ棒 おーごつ……………大変な事を

……………

か がいとー……………沢山
 かいわるる……………そだつ
 かいもん……………買い物
 かいばん……………買う順番に
 かいちゅー……………財布
 かう……………買う、飼う
 かえりしも……………晩霜
 かえりがた……………帰る時に
 かえ……………買いなさい
 かえん……………買えない
 かえん……………取替えにない
 かおぎき……………人の世話になる
 かおふすぶる……………蚊いぶし
 かかえもうさん……………重く抱えない
 かか……………妻、女房
 かがさんごつ……………休まないように
 かがむ……………しゃがみこむ
 かかじる……………爪で皮膚に刺激
 かかり……………交尾
 かがさん……………欠かさない
 かきそこなう……………書くに失敗
 かきーあう……………間にあう
 かきー……………かけなさい
 かきー……………その時に
 かきこむ……………急いで入れる
 かきやね……………垣根



かえりじも……………遅れて降りる霜
 かえりしな……………帰りがけに
 かえ……………飼いなさい
 かえ……………かわり
 かえん……………飼えない
 かおぎき……………顔が知れている人
 かおやく……………にんきもの
 かかわらん……………立ち入らない
 かかえまわす……………抱えて次々に
 かがさんごつ……………欠かさないよう
 かがさんごつ……………毎日続ける
 かかゆる……………抱える
 かかり……………最初の
 かかり……………取り組む
 かがさん……………熱心に
 かきあぐる……………下から上に
 かきちぎる……………柿をもぐ
 かきー……………掛けておけ
 かきこむ……………急いで食べる
 かきーあわん……………間にあわない
 かきむしる……………爪で痛い刺激を

か	かきあつむる……寄せ集める	かきそこなう……書くのに失敗
	がきたれ……腕白たち	かくうち……升酒を店頭で
	かくしば……隠した場所	隠れ鬼……隠れて鬼が捜す遊び
	かく……描く、書く	かく……頭を搔く
	がく……額縁	かけあう……話を取り決める
	かけあう……相談する	かげた……欠ける
	かげた……休んだ	かげた……壊れる
	かけもん……床の掛け物	かご……山芋の子
	かごうじ……しゃがみ込む	かけちょけ……掛けていなさい
	かけちょけ……かけて下さい	かけそこなう……掛けるのに失敗
	かけちょけ……走っていなさい	かけまわす……走りまわる
	かけまわす……やたら掛ける	かげふみ……影を踏む遊び
	かけどい……竹樋の水路	かけしばい……請けた芝居
	かけとり……未払いの集金	かけみず……仏像などに水を
	かけみず……行水	かけみず……水田に入れる
	かけいね……掛けて干す稲	かごーじ……しゃがみこんで
	かごめ……山芋の子	かごぐさ……籠につめた草
	かこい……垣根	かこい……動物の小屋
	かごーじょる……しゃがんでいる	かさぬる……重ねる
	がさご……動きの早い煩い子	かさんくぼ……上手にある田
	かさんぱち……頭の皮膚病	かさんつう……皮膚病の凝固
	かさ……上手	かさ……目方、量
	かさねもち……餅を重ねる	かさねに……次々入れて煮る
	かさねなえ……苗を合わせる	かざまつり……風の神の祭り
	かさんいえ……上手にある家	かじけぼう……寒がり
	かしむる……束ねる、しめる	かしめる……しめて束に
	かしどいし★……女房貸しても	かしそこなう……貸すのに失敗
	かしおけ……物を水で柔くする桶	かじぶげん★……焼け太り

★ 女房は貸しても減らないが砥石は減るから貸してはならぬ。

★ 火事に合うと見舞いや同情を受け思わず太る事の例え。それも日ごろ人に尽くしていればの話だが。

か あしうしなう……貸したまま不明	かじむる……まとめ束ねる
かする……柔らかくなる	かすごろ……人並みはずれの人
かすわらい……卑下した笑い方	かすはずが……貸す予定が
かずうよむ……数をかぞえる	かすじる……酒の粕の味噌汁
かせいど……加勢人	かせた……柔らかくなった
かせ……貸して	かせ……水につけておく
かぜとーしい……股に毛なし	かぜとーしい……通風がよい
かぜくらう……察しがいい	かぜにとばする……風力選別
かぜぐれー……風くらいが	かぜふきとーし……風の通り道
かたる……話す、しゃべる	かたつら……かたがわ
かたなぎ……そこら一面	かたなぎ……片っ端から
かたげまわす……あちこち担ぐ	かたるもん……語り商売
かたわきー……片側に、片隅に	かたまりそこなう……不凝固
かたわれ……片一方	かた……あなたの家
かたなで……上手言い	かたる……はなす、言う
かたげぼう……担ぎ棒	かたずくる……かたずけする
かたずくる……嫁に出す	かたおもい……荷物を分担する
かたぶつ……几帳面な人	かたぎぶえ……柴の葉の笛
かたし……椿の実	かたぐる……担ぐ
がちぶるう……寒がりで震う	かたわたり……裸足で川を渡る
かけうり……ついで商売	かけ……借り買い 勝負の取引
かけそこなう……かけ忘れ	かけ回す……施錠、掛けて安心
かけちみる……掛けて見る	かけちみる……走って見る
かっする……加勢する	かっせ……加勢
かっせち……加勢して	かった……借りた
かっちょらん……勝ってない	かっちょらん……飼ってない
かっちょらん……買っていない	かっちょらん……借りていない
かっちもらう……勝ってもらう	かっちもらう……飼ってもらう
かったがいいけど……勝つがいい	かどよけ……よけて通る
かどよけ……避けて寄らない	かどゆる……数える
かどぐち……屋敷の入口	かどまわり……周辺を回る

か	かどあるき…近所に挨拶まわり	かなめうち…結婚の申し込み
	かなどる…苗を手でとる	かなぐる…手で草など取る
	かなぐる…草など寄せ集める	かな…草取りの道具
	かなつき…魚捕りの道具	かなぐつ…馬の爪保護の金具
	がにのめ…小粒の豆の種類	がな…それくらい
	がにまた…湾曲した股間	かねんねーくに…強がり
	かねんねーくに…負け惜しみ	かねんて…角、直角
	かねんわらじ…珍しい物、者	かねめ…高価な物
	かねんよのなか…万事金次第	かびがはえた…黴が発生
	かびくせー…黴の匂い	かぶさうち…再度叩く
	かぶする…上から重ね覆う	かぶせそこなう…被せに失敗
	かぶせまわす…沢山被せる	かぶさらん…大きくて覆えぬ
	がぶ…無理に急いで	かぶらする…被らせる
	かぶっちゃけ…被りなさい	かべつちふみ…壁に塗る土踏み
	かべなし…軒先下	かべこまえ…壁土を付ける竹組
	かべごし…壁の向こう	かぼしい…細く小さい
	かまいすぎ…甘やかし	かまぶたぶせ…上から当て繕い
	かまや…竈の場所、台所	かまげ…かます
	かま…釜、窯、鎌、罐、	がまぐち…財布
	かまわん…結構で	かまわん…いいから
	かまくび…首を持ち上げる	かまいそこなう…構うに失敗
	かまるる…かまれる	かまげつくり…かますを作る
	かみのぼり…神事の終わり	かみきる…噛んで切る
	かみきる…噛みきります	かみそこなう…噛むのに失敗
	かみちょうず…家の中の便所	かみつみ…散髪
	かみがかり…神様の声	かむげ…担ぎあげる
	かむぎあぐる…担ぎあげる	かむぎもうさん…ありすぎる
	かむぎそこなう…担ぎの失敗	かむかむ…食事するすぐ
	かむーたこたねー…構わない	かめまんねん…長生きの人
	かめぐみ…長生き組	かもーとぐ…鎌を研ぐ
	かもーちくれん…ほたらかし	かもーちゃらん…しらんふり

か	かやる……………倒れる	かやった……………倒れた
	かやす……………傾ける、…倒す	かやしそこなう……………倒すに失敗
	かやんそと……………仲間はずれ	かやりすぐる……………余分に傾く
	かやびき……………草で切った傷	かやぁ……………そうですか
	かゆーじこまる……………痒くて困る	かゆーじーこまる……………情愛欲望
	かゆーくえ……………お粥食べよ	かよい……………未収帳面
	かよいよる……………通っています	からぐる……………はしをひきあげる
	からぐる……………裾をまくりあげ	からくらう……………早耳しらぬ顔
	からげる……………裾をひきあげる	からなみだ……………嘘泣き
	からくしい……………手を貸せ	からすこべ……………烏うり
	からすこぶ……………からすうり	がらめ……………野ぶどー
	からひき……………牛馬の引き綱	からげんき……………見かけ倒し
	かりめーか……………借ないから	かりめーや……………刈るまい
	かりめーや……………狩るまい	かりめーや……………借るまい
	かりめーや……………借らない事に	かりゃーせんで……………借りません
	かりゃーせんで……………狩りませんよ	かりゃーせんで……………刈りませんよ
	かりゃーこまる……………刈ると困る	かりゃーこまる……………借りると困る
	かりーけんど……………軽いけれど	かりーけんど……………借りよいけれど
	かれー……………辛い	がらすしょうじ……………硝子の入った
	かりん……………借らない	障子。
	かりん……………刈られない	かりん……………借りません
	かるう……………背に負う	かるう……………背におんぶ
	かるいもうさん……………かるい切れな	かわったやつ……………変わり者
	い。	かわったやつ……………変人
	かわったやつ……………人並みはずれ	かわりばんこ……………交替で
	かわほし……………川を干して漁獲	かんす……………湯沸かし具
	かわんばん……………川の監視役	かんのんそう……………野草の一種
	がんまく……………肥やし出し農具	がんずめ……………草取り用農具
	かんぎょう……………僧侶の冬修行	がんだれ……………普通でない人
	がんだれ……………壊れた道具	かんごえ……………寒い時の施肥
	かんごえ……………寒さに喉を鍛える	かんから……………蒸し餅の敷葉っぱ

か かんぶくろ……………紙製の袋
かんじょいい……………都合いい人間
かんねもち……………葛の根澱粉の餅
かんごつ……………寒い季節行事
かんのんぼさつ……………女性性器

かんちょろ……………照明道具
かんくらう……………察しのいい人
かんねかずら……………葛の軸…紐に
かんのんさま……………女性性器
かんぶくりー……………紙の袋に

き きいちきち……………聞いて来て
きいちくれな……………聞いてください
き……………精液
きおもて……………気が進まない
きおさめ……………納得する
きおさめ……………好物を食べる
きがあう……………考えが同じ
きがまざる……………退屈しない
きがやく……………落ち着かない
きかんふり……………聞かない事に
きがぬりー……………落ち着き性格
ききそこなう……………間違い聞き
ききたがらん……………聞くのお嫌う
きくきがねー……………上の空
きげんとり……………上手に相手を
きげんむし……………あだてやすい
きこゆるごつ……………聞こえるよう
きこゆる……………聞こえます
きさねー……………汚い
きさねたらし……………ひどく汚い
きじ……………乱れ刈りした頭髮
きじょわしい……………多忙
きずもん……………出戻り
きずちーた……………ひどい目に
きせかえ……………他の物と取り替え

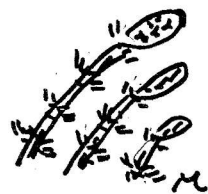
きいちょらん……………聞いてない
きいちよく……………聞いておきます
きうま……………材木を運ぶ道具
きおからぐる……………気を引き締め
きおさめ……………落ち着く
きがきじゃねー……………心配で心配で
きがとーなる……………意識不明に
きかせじょうず……………話芸の持ち主
きがいく……………性交の究極点
きかする……………よく説明して
ききじょうず……………話を合わせる
ききえーた……………聞くのに退屈
きくふりがうめー……………聞き上手
きくーだ……………沢山着た
きげんそこなう……………怒らせる
きこめ……………沢山着なさい
きこえんじゃつた……………聞こえない
きさがいい……………あっさりして
ぎしめく……………うるさく騒ぐ
きしゃねー……………汚い
きじあたま……………乱れ狩り頭
きんかんもうす……………かしこまる
きずにされた……………被害にあった
きせ……………着せる
きせちゃらん……………着せてあげない

き きぜわしい……………心忙しい
きれん……………切れない
きれん……………斬れない
きたきり……………着たまま
きたんで……………来たよ
きたごたる……………来たようだ
きたがる……………来たいようと
来た道へもどる……………引き返す
きちゃん……………来てあげない
きちんやど……………安い簡易宿
きて……………おいでて
きてんいいかえ……………来ててもよいですか
きどぐち……………家のすぐ側
きな……………おいでなさい
きな……………黄色
きなたり……………着たまんま
きなくせ……………衣類の燃え匂い
きぬもん……………絹織物
きねはっちょう……………上手な杵使い
きのどき……………気の毒な
きのもんだい……………考えよう
きばらし……………気分転換に
きばれ……………頑張れ
きびしょ……………急須
きび……………それ見たか
きびがわり……………恐ろしく怖い
きふちょう……………寄付依頼帳
きほよ……………骨休め
きまぐれ……………あてっばか
きまりもんく……………固い言葉使い
きみがわり……………気持ちが悪い

きそこなう……………着る機会失う
きれん……………着れない
きれん……………来れない
きたきり……………来たまま
きたんと……………来たようです
きたまくら……………死人の寝せ方
きたね……………汚い
きちよく……………来ています
きちゃわり……………来てはいけない
きてくれな……………来てください
きておくれ……………来てください
きちもらう……………来てほしい
きとり……………材木の粗きり
きな……………いなご、ばった
きなり……………到着すぐ
きにようんばん……………昨日の晩
きなみ……………卵の黄身
きねもち……………杵でついた餅
きのどき……………気の毒な
気の毒まさかり……………たとえば言葉
木を切り刃物に毒気がつく。
きばん……………頑張りなさい
きばっちょけ……………頑張れ
きびる……………束ねる
きびられん……………束ねられない
きびしょあとびく……………急須の茶が
つぎ口から垂れる。
きまりそこなう……………決まりが不調
きまぐれ……………自由気まま
きみず……………胃液
きむずかしい……………鬱陶しい状態

き きめじょうず……仲介がうまい
きめきらん……きめきらぬ
きもがいる……胸つかえ
きもいり……世話役
きやがり……気の高まり
きようびんぼう……器用さがあざ
きょーかる……今日から
きよ……着なさい
きょーび……この頃
きらす……おから
きらす……なくなる
きらすぶげん……粗食の格言
きらす……灯れない
きりあげ……端数を上げる
きりまわす……切り刻む
きりょうよし……美人、可愛い
きりをつくる……仕事終わり
きりきり……急いで早く
きりそこなう……切るのに失敗
きるもん……着物
きりまくる……乱暴に切る
きれもん……刃物
きんちゃく……財布
きんかんもうす……平身低頭
きんのわらじ……良縁
きんしゃ……上等な着物
ぎーなん……銀杏
きーちょく……聞きましょう
きーちゃらん……聞きません
きーてんつまらん……聞くも無駄
きーちみよや……聞いて見なさい

きまりもんく……変化のない
きめちょらん……決めてない
きもとたけうら……割る時の定法
きやいがいっちょる……元気よい
ぎゅーらしい……騒々しい
きょーげん……素人芝居
きょうでん……今日でも
きよ……来なさい
ぎよろめ……どんぐり眼
きらす……切らして
きらす……切らせる
きらかす……切らして
きらん……切らない
きりあげ……高い敵にする
きりをまわす……錐を揉む
きりをつくる……区切り
きりきり……忙しく働く
きりぐそ……草むらで糞尿
きりそこなう……着るのに失敗
きるもん……切る材料
きりまくる……あれこれ着る
きれもん……やりて、顔役
きんかんもうす……畏まる
きんのわらじ……おもわぬ出会い
きんたま……男の睾丸
きーちゃらん……聞かない
きーちょく……聞いておく
きー……ですから



く	くいてー……………食べたい	く	いたらん……………食べたりない
	くいそこなう……………食べなかった	く	いだる……………食べるのに疲れる
	くいもんのかたき…貧食の怖さ	く	うちゃらん…食べてあげない
	くうちょけ……………食べなさい	く	うたで……………食べましたよ
	くえれん……………食べれない	く	えとぶしん……………田畑の補修
	くえ……………食べなさい	く	えよらん……………田畑が壊れない
	くえたかしれん…田畑が壊れたかも	く	がねー……………苦労がない
	くがのーなっち…苦労がなくなり	く	がのさる…苦労がまとわる
	くがよけた……………苦労が他所に	く	くる……………縛る、束ねる
	くくらにゃ……………縛る 束ねねば	く	くっちょけ…束ね 縛るよう
	くされはる……………意地悪する	く	されえん……………巡り合わせの縁
	くさきりかご……………切り草入れ籠	く	さむしる……………除草する
	くさんて……………草取り作業	く	さってんたい…死ねど名残す
	くさほし……………干し草作業	く	しがき……………干し柿
	くじゅうこぬる…難題を言う	く	じゅういゝな…文句言うな
	くじ……………運だめし	く	じ……………愚痴
	くずす……………壊す	く	ず……………人並みはずれ
	くず……………ハンパ、ごみ	く	ずるる……………壊れる
	くずれた……………壊れた	く	ずしそこなう…壊しを失敗
	くずせ……………壊しなさい	ぐ	すたれ……………間に合わない
	くずもち……………葛の入った餅	く	すーくらえ……………皮肉な苦口
	くずれえん……………破談に	く	せもん……………怪しい人間
	くせもん……………変わり者	く	せあそび……………変な趣味
	ぐぜる……………始末が悪い	ぐ	ぜる……………気分がすぐれぬ
	くせになっち……………習慣になり	く	そぼうず……………悪がき
	くそぼうず……………修行のない僧	く	そたれ……………悪口雑言
	くそー……………我慢の限界	く	そあそび……………悪遊び
	くたばれ……………参ってしまえ	く	だす……………下痢
	くたーく……………寝る	く	たばる……………疲れてしまう
	ぐーたれ……………どうしようもない	く	たびれち……………疲れてしまう
	くちぎれ……………口もとの傷	く	ちげんか……………口争い

く	くちはっちょう……話上手	くちはっちょう……おしゃべり
	くちはぶた……反論、口答え	くちうつし……口で砕いて
	くちもがい……口答え	くちがさかしい……いいつのる
	くちぶた……瓶の蓋	くちぶた……言論を慎む
	くちー……口に	くちみず……美味しい話
	くちしゃみせん…三味の代わり	くちじょうず……おめす
	ぐつがきれん……判断が遅い	くっちゃん……くしゃみ
	ぐつがきれん……往生際が悪い	ぐつにゅう……慌てない
	くつがくう……小さい靴	ぐっちよる……仲間同志
	くちがきく……はなし上手	くちおしげねー……悔しい
	くちゅうさいだす……口を挟む	くちみまい……言葉の見舞い
	くちやかましい……口うるさい	ぐでるやつ……愚痴っぽい
	くでーこつ……くりごとを	くどきもんく……古い唄の歌詞
	くどきおどり……口唄で踊る	くどんはた……竈の側
	くどわき……竈の回り	くどんはいまじ……灰まで財産
	くど……竈	くどきまわす……口説いて
	くどきじょうず……口説達者	くなんか……苦労なんか
	くになる……心配なく	くにすんな……心配するなく
	くにやむ……気にし心配性	くぬぎほだ……しいたけ原木
	くねくねみち……曲がり道	くねった……捻挫した
	くのじょうみち……苦労性	くねらする……無理に曲げる
	くのしどうし……長い苦労続き	くのはじまり……苦労の始まり
	くのめぐりあい…苦労の出会い	くびる……束ねる
	くびなわ……首に結ぶ縄	くびれ……皮膚の折れ目
	くびっちょけ……束ねて	くびひっぱっち…首を引っ張る
	くぶる……火燃しに入れる	くべた……燃やす材料入れ
	くべさし……燃やす材料を追加して入れる物など。	
	くべちょけ……追加して	くぼたん……くぼみ
	くぼみん……くぼみに	くぼえくぼ……えくぼのくぼみ
	くまのいえん……胃腸薬	くみうち……隣組の家
	くみなわ……組み合わせた縄	くみよせん……組む間がない

く　くみよする……組むに間に合う	くみよする…汲むのに間にあう
くみよせん……汲むのに遅れる	くみよせん……組むのに遅れる
くむひだ……あぐら	くめるる……組めますよ
くめるる……汲めます	くもち……9の日につく餅
くもいき……雲の動き	くもいき……怒る直前
くもんす……蜘蛛の巣	くもんえば……蜘蛛の網
くゆる……壊れる	くらえた……食べられた
くらえ……たべなさい	くらわする……叩く
くらがえ……相手を変える	くらすみ……真っ暗、闇
くらがり……暗い場所	くらくらすする……不安定状態
くらぶ……公民館	くらげーあたま…前後に長い頭
くりー……黒い	くりそこなう……繰るのに失敗
くりまわす……繰り続ける	くるわるる……叱られる
くるる……もらう	くるる……頂く
くるるとん……くれますとも	くれ……ください
くれめーか……頂けないか	くれる……頂く
くれる……もらう	くろ……まわり
くろうもん……苦労が宿命	くれなー……ください
ぐろ……まわり	くろふじょう……不幸な時
くろにえ……内出血で黒く	ぐろうち……回りを耕起
ぐろにだせ……回りに出せ	くわゆる……くわえる
くわする……食べさせる	くわせん……食べさせない
くわれん……たべられない	くわじろ……鍬で起こす狭い田
くわんだん……陰毛	くわいちご……桑の木の実
くんな……ください	くんな……来ないで
くんな……来ては悪い	くんずく……うつむく
くんだり……下手に	くんだり……下り坂
ぐんだん……戦時の講釈	くんだりばな……下り坂口
くんだりばな……下向きの鼻	くんだりみーち……下向いて
くんだりみーち…下り坂に向き	くんで……汲みましょう
くんで……組みましょう	くんで……一緒の組に

け	けいずもち……系図のある家	げいこんめー……芸達者
	けえね……垣根	けおきっちゃう……素人散髪
	けごー……怪我を	けがせんごつ……怪我せぬよう
	けくーじょけ……蹴って入れる	けごすんなや……怪我せぬよう
	けがはえたか……毛が出来たか	けがにんぬ……負傷した人を
	げさきー……下品な	けしかくる……おだてかれる
	けしたか……消しましたか	けしからん……ゆるさない
	けじめくせー衣類の焼け匂い	けしそこなう……消火不足
	けすごつ……消しておくれ	けすこつー……消すように
	げず……似せ山芋	けせ……けしなさい
	けそ……消しましょう	けたまがる……吃驚仰天
	けたくそ……縁起でもない	けたぐる……ひどく蹴る
	げたんはま……下駄の歯	けちんぼ……欲張り
	けちくる……失敗を隠す	けつまらん……本当に駄目
	けっか……割合に	けつごろう……色気の冗談話
	けっかわりー……予想以上悪い	けつんすがこめー……欲張り
	けっかいー……予想よりよい	けつんす……肛門
	けつびら……尻	けっすみ……燃えカス消した炭
	けつ……尻	けつろく……冗談はなし
	げどされ……悪知恵者	けとばかす……蹴り飛ばす
	けとばす……蹴り飛ばす	けにしらめ……毛にシラミ
	けねる……布団蹴飛ばし寝る	けぬぐ……布団蹴飛ばし寝
	けぬぐど……布団蹴りますよ	けのねーやつじゃ……毛が少ない
	けばる……力む	けばりきらん……力みきらない
	けふーじ……蹴って踏む	けむて……煙たい
	けむたがる……煙りに悩む	けもはえたか……毛が出来たか
	けもねーごつ……強い頭ごなし	けらるるど……蹴られるから
	けられぞん……蹴られた分損	けりそこなう……蹴りの失敗
	けりまわす……むやみに蹴る	けりたくじる……乱暴に蹴る
	けれ……蹴りなさい	けりくせが……蹴る習慣が
	けるど……蹴りますよ	けろーや……蹴りましょう

け	けわね一ど……毛はないですよ	けんたい……自分勝手に
	けんたい……自由に	けんつくでっぼう……肘鉄砲
	けんかごし……強気で気構え	けんかばえー……手が早く出る
	けんど……ですが	けーちよる……貸してある
	けーちよる……書いてある	けーちよる……消えている
	け一つまらん……本当に駄目な	け一つまらん……面白くもない
	け一つくばる……くたびれて	け一つくばる……疲れてしまう

こ	こあえ……粉で練った料理	こいおなご……彼女
	こいおなご……慕ってくる女	こいさ……今晚
	こうや……染物屋	こうしち……こうして
	こえがかかる……呼びかけ人気	こえまつ……松の肥えた根
	こえつまみ……つまんで施肥する	タイマツなどに利用する。
	こえた……肥満	こえた……越える
	こえた……乗り越す	こえじょうけ……竹製の農具
	こえたご……下肥桶	こえたて……牛馬小屋の肥積
	こえびしゃく……下肥用柄杓	こえつぎ……下肥の継ぎ運び
	こえうち……下肥を田に散布	こえかき……肥しをかき出す
	こえかたげ……肥運びを肩で	こえくらう……よくよく肥えて
	こおや……染物屋	こおする……このようにする
	こお……これです	こお……これ見て
	こおちゃらん……買ってあげない	こおちゃらん……買わない
	ごおそう……ごみ、雑派物	ごうらいた……汚い犬
	こがるる……こげる	こがるる……胸を燃やす
	こかすもち……粉粕の餅	こかどこな……ここはどこです
	こかすだんご……粉粕のダンゴ	こかす……転がす
	こがつく……子が増える	こがら……地起こし農具、鋤
	こがねー……子供がない	こぎて……雑穀機械踏む人
	こきつかう……ひどく使う	こぎざる……雑穀した物入れ
	こぎじょうず……上手な漕ぎ手	こぎそこなう……漕ぐのに失敗

こ　こきー……………ここに	こきびゅあやす……………こ黍を雑穀
こくる……………こける、転ぶ	こげーなりゃ……………こうなれば
こけ……………汚れ	こけまる……………汚れた子供
こけまわる……………転がり回る	こけそこなう……………転ぶのに失敗
こけどうし……………一人身友達	こげんこつー……………こんな事を
こげーなっち……………こんなになって	こげ……………鍋に焦げついて
こげ……………衣類の焦げ	こけむくり……………慌てまくり
こけあわせ……………半端を合わせ	ここんこ……………ここの家の子
ここんし……………ここの家の人	ここんもん……………ここの家の者
ここんかたん……………ここの家の方	こごえ……………粉になった肥やし
こごつーならぶる……………口やかまし	こごつならぶる……………言い訳する
こさくまい……………地主に納米	こさぐ……………物でこする
こさくにん……………借地で米作り	こさくだ……………借地の田
こさえた……………こしらえた	こさじー……………すばしこい
こさかしい……………大人めいた	こしらゆる……………身なり整え
こしらゆる……………散髪	こしらゆる……………化粧する
こしらゆる……………作りだす	こしゃくな……………生意気な
こしー……………欲張り、がめつい	こし……………水変えせず沸かす湯
こし……………次の、抜く	こしきー……………欲張り
こしみず……………沈殿の水	こしきらん……………越せない
こしきらん……………腰が上がりぬ	こしゅーおろす……………腰かける
こしゅーおろす……………しゃがみ	こしそこなう……………越すに失敗
こしそこなう……………漣すのに失敗	こしうそこなう……………腰を痛める
こしそこなう……………越える失敗	こしゅーおる……………がっかり
こしがま……………腰にさした鎌	こしゅううつ……………がっかり
こずく……………叩く	こずむ……………積み上げる
こずみそこなう……………積むのに失敗	こすりむく……………すり傷
こずみあぐる……………積み上げる	こすがる……………欲張る
こする……………すり合わせる	こすくる……………擦り合わせる
こずかいせびり……………無心を言う	こずかする……………叩かせる
こぜまち……………小さな田んぼ	こぜまち……………狭い田んぼ

こ こぜくりまわす……混乱させる
こぜ……小回り
こぜる……かきまわす
こぜんつー……狭い田んぼ
こそばいー……触られ気持悪い
こそこそ……内緒ごと
こそだつる……子供を育てる
ごたーねー……じゃーない
ごたるき……ですから
こたー……事は
こだかし……年の割には
ごたる……ようです
ごちゃごちゃ……混乱
こちょこちょのき……さるすべり
ごっちん……少し固め
こっち……こちら
こっちー……牛の雄子
こつりこんぶ……出会い頭に打つ
こっかえ……ここですか
ごてーしんびょう……無精の病氣
ごてーな……疲れて
ごてーになっち……ずる者に
こてんぱー……散々な目に
ごとつく……うるさい音
こときるる……死去する
こどもんしかぶる……子供の粗相
こなさるる……いじめられる
こなされん……いじめられない
こないだ……この間、この前
こぬる……こねる
こねばち……こね利用の鉢

こぜそこなう……壊すのに失敗
ごぜんとぐち……正面入口の戸
こぜわしい……結構うるさい
こそぐる……嫌うのに触る
こそぐりまわす……嫌うのに無理
に腋の下や足の裏などを触る。
こたつ……布団に入れた火倉
昔の冬の暖房道具。
ごたるもんじゃき……そのよう
すから。
こたえん……たまらん
こちょぐる……小馬鹿に
ごちゃごちゃ……混ぜて
こちくりあわす……寄せ集める
こっかり……ここから
ごっそり……全部、全て
こっこ……鶏
こっじゃ……事です
ごてーしん……無精者
こでまち……狭い田んぼ
こてまる……集まる。固まる
ごてかたご……たけだけしい
こで……達者、早い
ごととんせん……落ち着き
ことわりじょうず……話芸達者
こなす……いじめる
こなしまわす……いじめ歩く
こなしなんな……いじめないで
こなさんでん……こなさなくても
こねくる……こねまわす
こねまわす……念入りにこねる

こ こねそこなう…こねるのに失敗
こねり…粉を使った食べ物
このぶんまじ…子供の分まで
このれんれーおやが…子供の

喧嘩に親が出る。

こぼ…木のはしくれ
こぶ…昆布
こぶたん…こぶ
こぼせ…おとしなさい
こぼさんごつ…こぼさないよう
こまえがき…壁の真に竹で
こまかけ…馬の落下防止石垣
こまうち…シイタケの菌打ち
ごまをしびく…こまを回す技法
こましゃくれ…わせ坊
こめどーら…米俵
こもりんこ…子守される子
こやかす…太らせる
こやかましい…うるさい
こやしばい…田舎芝居
こゆる…越える
こゆる…峠を越す
こらえん…許さない
こらなあ…これは
こらえじょうね…辛抱する
こらゆる…許す
こらしちやる…来るように
こられん…こられない
こらるる…来ます
こらえよ…許してね
こりーた…殺した

こねぼう…山車の転換の棒
このもんじゃ…子供の物です
このへんがゆうねー…ここらが
よいのでは。

こはでたび…コハデ付き足袋
こびる…おやつ
こぶりそこなう…こぶるに失敗
こぼした…落とした
こぼせ…捨てなさい
ごますり…機嫌取り
こまえがけ…壁の中に竹で
こまたあがり…色気のある股
こまだらい…掃除道具
で目の荒い箒。

こみせん…木の栓
こもりんこ…子守する子
こやし…下肥、肥料
こや…小さな物置
こやがけ…小屋を作る
こゆる…太る
こゆる…肥えた
こらえん…駄目
こらなあ…これはですね
こらえちくりー…許して
こらえじょうね…耐える心
こらしちやる…来てもよいよ
こらにちやる…よく似ている
こられん…来ないと言う
こらるる…来る
こらえよ…我慢してね
こりゅー…これお

こ	こりん……………性こりなく	こりごりしたき…参ってしまう
	こりしょうじゃ……………熱中する癖	これどま……………これなどは
	これるる……………こられる	これるる……………来る事ができる
	これるる……………これます	これかる……………これから
	これならどげーな…これどうです	ころ……………転がす道具
	ころげまわる……………激しく転んで	ころがる……………ころんで動く
	ころころに……………ほどほどに	ころっと……………うっかり
	ころりんしゃん……………琴の口弾き	ころげおつる…ころんで落ちる
	ころげそこなう…転ぶのに失敗	ころがっち……………転んで
	こわすなや……………壊さないよう	こわがり……………恐怖心
	こわれぶね……………破談の嫁	こんちくしょう……………腹だたいしい
	こんのん……………あれこれ	こんこ……………沢庵、つけもの
	こんげんねー……………この上もない	こんげ……………こちらに
	ごっちん……………少し固飯	ごっと……………雨戸の戸車
	こんげん……………あれこれ	こんくれー……………これくらい
	こんめー……………けち、ちいさい	こーちくる……………買ってくる
	ごーらいた……………汚い犬	ごーそやき……………ごみ焼き
	こんがき……………この悪坊主	こーちきた……………買って来た



方言のひろがり 意味がでえぶん違うが

★ あそぶ…あそびきな《遊びに来ませんか》 遊び来んな《遊び
においで》 あそぼーえ《遊びましょう》…ここまで来
ると意味が別れる。遊びにもいろいろあるけん…ここじ
言う遊びにゃ《色気が入ると》 火遊びにも解される。
遊び来たで《遊びに来ましたよ》 遊んでんいい《遊ん
もいいですか》 遊びゃいいに《遊んだらどうですか》
遊んで《遊びましょう》と上人に頼む時と 甘えたい
気持ちもある。大人の遊びの時にゃ情愛にまで解される
。
遊び行くで《遊びに行きますよ》…行ってもいいですか
と…問いかけにも。遊んじゃろうか《遊んであげようか
》と 返事にもなるが 遊んじゃらん《遊んであげない
》と となると絶交なのか。それとも気に要らないのか。
遊んじゃろうか《遊んであげようか》となると 受入れ
の意味。

★ けつ……けつごろう《つまらない者》 けつぶた《俵の中蓋》
けつがかりー《男好きですぐにも任せそう》 けっかし
まっちょる《なかなか堅物で滅多に許さぬ》 けっかい
い《予想以上によい》 けつんすがこんめー《しまり屋
でケチん坊》 けつがすずしい《陰毛が少なく風通りが
よい》 けつまらん《どうにもならん》 けつぬりー《
動作が遅い》 どんけつ《一番最後》《走ったら最後にな
った》。

※ 同じ方言の言葉のようにあっても 後先につく字句で随分内容が
異なってくる。しかし上手に使い分けて生活に使った 先人の声
には言葉以上の温かさや 人情が加味されてもいるよう。



さ さあ……はて、どうでしょうか
さいだす………差し出す
さいでーた………差し出した
さえちよる………はれやか
さえん………うつとおしい
さかたくり………逆さまに
さかる………交尾する
さかぬぎ………逆さに脱ぐ
さかしい………元気な
さかりがきちよる………発情期間
さかくじ………反対の苦情
さかねじ………逆さにねじる
さかのぼり………逆に登る
さきそこなう………間違えて咲く
さきばな………先頭
さきすげ………花枯れ
さきんほう………先の方
さきぶと………先が大きい
さくみち………田んぼ道
さぐられん………探るは難しい
さぐらせん………探らせない
さけだち………禁酒、断酒
さけんさかな………人の悪口
さげ………小袋、下げて、降ろす
さけそこなう………避けるに失敗
さけちよる………脇に寄って
さこ………固有名詞、所の名前
さこみち………田んぼ道、田舎道
ささげ………小豆に似た豆の一種
さざめ………小作米
ささだんご………笹に包んだ団子

さあちゅうとき………まさかの時
さいだしぐせ………すぐ出したがる
さいだしぐせ………尻の軽い女
さえちよる………頭脳鋭敏
さあだち………気忙しい
さかむけ………皮膚のむくれ傷
さかて………小遣い
さがりもち………竹につけた小餅
さかぶき………逆さまに掻く
さかりそこなう………交尾仕損なう
さかねじ………左回りのねじ
さかとんぼり………逆さに反転する
さきそこなう………咲く時期を失う
さきっちょ………先の端
さきすげ………開花してしまう
さきおくれ………咲く時期が遅い
さきんし………先の人
さくおとこ………住み込み雇われ男
さぐる………手で見つける、捜す
さぐらしー………探らせて
さぐっちゃる………探ってあげる
さけんさかな………酒の肴
さけんじゃる………叫ぶ
さけゆーと………酔っぱらい
さけちよる………割れて裂ける
さこーちよる………境あう
さこんた………狭い田んぼ
さこーせる………坂道を押す
ささもち………笹に包んだ餅
ささくれたちよる………荒れてる
さじかげん………料理のこつ

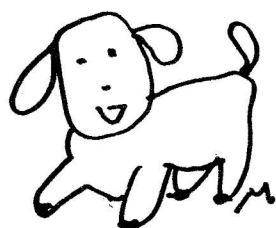
さ さしあぐる……差し上げます
さしい……させなさい
さし……指し向かって
さしくべ……燃やす材を入れる
さしめや……させない
さじそこなう……集めるに失敗
さするな……させますか
さする……させる
さずる……済んだ事の掘り返し
させる……させます
させた……させてあげる
させちょくれ……させてください
させん……させません
さぜつく……心にまとわりつく
さぜくる……集め回す
さそいよ……さそいなさい
さそいじょうず……旨い誘い方
さそいみず……水を向ける
さだめ……小作米
さっぱりん……人工甘味料
さっちゃ……どうしても
さっきくーた……先ほど食べた
さとうおけ……黒砂糖の桶
さとがら……サンキライ(イタドリ)
さとがいら……里帰り
さなだけ……さなぼりの酒
さね……陰核
さばよみゅ……数をごまかす
さびー……量りが少し軽い
さぶる……選別する
さぶた……水分け用板蓋

さじい……すばしこい
さし……米を俵から出す竹筒
さじいやつ……すばしこい人
さじゅー……さじを
さしまえ……牛馬の手裁き語
さするき……させますから
さすりゃいい……させたらよい
さする……体を撫でる
さぜあつめる……そこら集める
させられん……してはいけない
させちゃらん……させません
させたがる……むやみにさせる
させよ……させなさい
さぜくぶる……集めて燃やし入れ
さぜこむ……集めて入れる
さそいよれ……誘っていなさい
さそうんか……誘うのですか
さたやみじゃ……そのままに
さちちょこぼる……緊張する
さっち……どうしても
さっかしい……元気で
さでつく……心の物付き
さとうおこし……黒砂糖を道具で
こねて起こす。
さなぶり……田植え終了を報告す
さなぼり……る農家の行事。
さねたか……陰核の高い
さびー……寒い
さびーひ……寒い日
さぶなった……寒くなった
さべわけ……選別して分類

さ	さべみー……唐からの選別農具、	手を使つての選別農具、など。
	さべちみよや……選別しなさい	さべちやる……選別してあげる
	さべよる………選別している	さぼちよる……なまけている
	ざまーねー…乱雑、取り散らし	さます………冷やす
	さます………起きる	ざまが……取り散らして乱雑で
	さまさんか………ひやしなさい	さまさんか………起きなさい
	さましちょけ………ひやして	さませ………目、起きなさい
	さましそこなう…寝起きに失敗	さましすぐる……冷やし過ぎる
	さみしみまい……不幸の見舞い	さみしいんか……寂しいだろう
	さみしがりや………真剣寂しい	さむがり………寒さに弱い人
	さむーねーか………寒くはないか	さめーちよる………起きている
	さめーた………起きた	さもしたや………目覚めしたか
	さや………種の入っている袋	さよならいうち…別れの言葉を
	さよーしなりー………そのように	さらねぶり………わすられぬ味
	さらゆる………繰り言を言う	さらえごつ………繰り言いい
	さらえちやる……繰り言苦言を	さら………新しい
	さらかぶり………新しい帽子	ざらざら………きめ荒い
	さらぎ………新しい着物	さらいい………繰り言
	さらじゃき………新しいから	さらけん………頭の天辺
	さらわらい………思い出し笑い	さるる………されてしまう
	ささるりゃいい……指されても	ささるりゃいい……刺されても
	されがい………されてもよいから	される………されてしまう
	された………されてしまう	されたがる………してもらいたい
	さわりそこなう………触るに失敗	されんき………してくれない
	されちよる………されてしまう	されんで………されていない
	されてー………してほしい	されんき………されていない
	さわりてー………触りたい	さわぐな………騒動するな
	さわぎまくる………賑やか過ぎる	さわがしいやつじゃ…うるさい
	さわらする………触らせる	さわられん………触られない
	さわちよる………触っている	さんぶた………俵の中蓋
	さんくり………やりくり	さんざん………大変、異常

さ	さんちんめし…多種入り五目飯	さんわ…石灰と土との凝固材
	さんどーら…米俵の中蓋	さんぱち…さんだん
	さんどびゆー…三食で働き	さんどびゆー…ごく安い賃金
	さんにゅう…計算	さんべんめ…堪える限界
	さんべーめし…怠け者	さんべーじる…大食い

し しゅーしい…うるさい
 じいばば…蘭の一種
 じい…じいさん
 しいる…食べ物を勧める
 しいりたらん…勧め不足
 しいら…実っていない
 じいっと…静かに
 しおかまげ…塩入りカマス
 しおるる…しおれる
 しおもん…塩まぶしの魚
 しおあん…砂糖気のない餡
 しかぶる…もらす
 じかきそろばん…子の幸せ願



しいちよる…好いている
 しえ…実っていない
 しおたるる…塩分が流れ出る
 しおる…しおれる
 しおぶえん…塩をふった魚
 しかとしもねー…つまらぬ
 しからにゃ…怒らなければ

名つけの時に選ばせる文字。親の気持ちが字 書き 計算が上手になるよう。

しがき…厚手の鎌	しかけしごと…仕事の途中
しかと…たしかに	しかと…たいした事ない
しかけたに…はじめたのに	しがむる…顔がこわばる
じかびき…直接地を引く	しかくる…挑戦する
しかくる…水を入れる	しかくる…しはじめる
しがらぐみ…竹籠の石積み	しかめんつら…こわばり顔
じきたび…地下足袋	しきいごし…仮の嫁入り
しきごめ…葬儀に寄贈米	しきしゃぐ…敷いてつぶす
しきる…出来ます	しきいとぐち…仕切りの戸
じくじく…湿気が	じくじく…ずぶ濡れ
しくしくなく…もの悲しい	しけちよる…つまって燃えぬ

し	しけ……………暴風、台風	しけこむ…………ふさぐ、しょげる
	しけまくる…………追い詰められる	しげっちょる…………繁茂している
	しこー……………準備	しこーする……………準備する
	しこつちよる…………威張って威圧	しこ……………準備
	しこむ……………仕入れる	しこむ……………詰めこむ
	しこむ……………妊娠する	じごくいり……………農繁期入り
	しこんだごたる…………妊娠する	しこんだごたる…………詰め終わり
	しこたま……………大変な事	しこーみよ……………格好見よ
	しこうみよ…………身なりを見よ	しこたん……………沢山な
	しだかり……………したい盛り	しだかり……………する絶好の機会
	じざけ……………地方特産の酒	じざま……………じいさま
	ししょう……………神主	しじょうむじょう…………複雑な
	ししづら……………見かけの悪い顔	ししばな……………大きな鼻
	しずむりゃいい…………沈める	しずむりゃいい…………鎮める
	しずまった……………静かになる	しずまった……………おとなしく
	しそこなう……………する機会失う	じそろばん…………子供の成長願う
	しそほし……………紫蘇を夜干す	したんくち……………女性性器
	したいのや……………したいですね	したかろう……………したいだろう
	したがもつる…………呂律が回らぬ	したぐちくわす…………性交する
	したづき……………下向きの女性性器	したがる……………したい要求
	した……………しました	しちくじー……………うるさい
	しちみて……………してみたら	しちゃらん……………してあげない
	しちもらう……………してもらう	しちよつた……………していた
	しちょる……………している	してー……………したいから
	しちょくれ……………してください	しちょん……………しています
	しちしもった……………おわりました	しっぽぬくる……………脱げます
	じってー……………粘りの性格	しっこ……………尿
	しっちょる……………知っています	しっかりせにゃ……………気丈に
	しつ……………湿気	しつ……………水分
	しっかりもん……………堅物	しっかりもん……………抜け目の無い
	してーに……………したいのに	してかりゃ……………してからに

し	してよかった……かなえられた	しと一ね………したくない
	しとめんき………どうにもならぬ	しとつく………湿気、しめり
	しとろ………おそろしく	してんいい………してもいいよ
	しとしとする………湿気	しとめん………油断ならぬ
	しとめん………目が放せない	しとなりゃ………したくなりゃ
	じなしごろ………仕方しもない	しなりー………しなさい
	じなごろー………嫌われ者	しなかす………死なして
	しなんな………しなさんな	しなんでんいい……死ななくても
	しにゃせんわ……死にはしない	しにもんぐるい……真剣懸命に
	しにそこなう………死から逃れ	しにたがる………くよくよ
	しにそうじゃ………死期が近い	しぬこた一ねー……死ななくても
	しぬりゃこす………死んだら	しぬかんしれん……死が近づく
	しぬんなら………最後なら	しぬごたる………死が近い
	しねっとしちよる……根性腐れ	しねがわりい………根性が悪い
	しのごのいうな……文句が多い	しのべ………竹の子の一種
	しのー………取り入れ作業	しのうひょうろう……農繁期食料
	しのびこむ………夜這に	しばとりこうじん……神楽の顔役
	しばたきもん………薪	しばきまわす………叩き回す
	しばきこむ………叩き入れる	しばきあぐる………締め上げる
	しばいをうくる……受け芝居を	しばとぐさ………ドクダミ
	しばきまわす……紐で叩き回す	じぶん………食事時
	しぶうち………柿渋を網に	しぶたる………柿渋入れ
	しばっち………絞って	しばくるる………しばんで
	しばっちよる………絞っている	しばなえちよる………しばんで
	しばんじよる………しばんで	しまいしごと………区切りの
	しまう………終わる	しまう………格納する
	しまいこむ………納め込む	しまいぐせ………整理が上手
	しまりがいい………家庭持ち	しまりがいい………絞め上手
	しまりがいい………隙間がない	しまりがいい………戸締まりが
	しまりがいい………きちんと	しまいゆ………終わりの湯
	しまたつかん………大変な事	しまいがた………終わり前に

し しみったれ…………ケチん坊
じみ……………灯芯
じみごのみ……………素朴さ好み
しむきず……………傷にしみる
しめかたがうめ……………締め上手
しめそこなう……………締めるに失敗
しもくずれ……………霜柱が解ける
しもうちよくれ……………しまって
しもけし……………寒い朝の神酒
しもうた……………しまった
しもにえた……………霜で傷む
しゃくる……………下から上に
しゃがみこむ……………かがみこむ
しゃべりまくる……………話続ける
じゃき……………ですから
じゃろ……………でしょう
しゃべりそこなう……………話に失敗
しゃにむに……………無理やりに
しゃりき……………大八車
じゃろう……………でしょう
じゃーき……………ですから
じゃりかご……………石をつめた籠
しゃーろこべー……………頭に乘せて
行商する人たち。
じゃがいむ……………馬鈴薯
しゃつち……………どうしても
じゃーじゃー……………そうそう
しゅーや……………しましよう
じゅうばこつつき……………あら堀
しょぼくれ……………しわだらけ
しょーねづく……………気がつく

しがみちーた…………しがみついた
じみなやつ……………ひちむきな人
しむ……………しみる
じめじめ……………湿気が多い
しめかたがうめ……………手先が器用
しめあげた……………厳しく戒め
しもと……………藁やねに使う竹
しもうち……………納めてください
しもんさき……………下の方の家
しもあげ……………寒い日の後天気
しゃがむ……………かがむ
しゃっちもっち……………無理やり
しゃんと……………しっかり
しゃーね……………しょうがない
しゃんとしーや……………しっかりせよ
じゃろーがえ……………でしょう
じゅうろくむさし……………子供の石遊
しゃつち……………どうしても
しゃりこべー……………頭に荷を乗せ
て行商する人の通称。

じゃめくる……………邪魔をする
しゃんとこべー……………しっかり者
しゃつぽ……………帽子
しゅくっち……………下から上に半円
にカーブする。
じゃーき……………ですから
じゅうめん……………泣きべそ
じゅくし……………柿の熟れすぎ
しょぼくれ……………痛々しい様
しょーかたなし……………仕方なく

し	しよ……………	しなさい	しよった……………	していた
	しよのむ……………	嫉妬する	しよるきな……………	しているから
	しょうじのほね……………	障子の棧	しょうじごし……………	障子の向こう
	しよーがね……………	仕方がない	しよぼしよぼ……………	活気がない
	しよーじょーと……………	しっかりと	しよーもね……………	仕方もない事
	じょー……………	栄養	じょーび……………	丈夫な
	じょうしきな……………	変骨者	しよわしい……………	忙しい
	しよわしい……………	うるさい	じよつこ……………	子供のげた
	じよつこ……………	子供の草履	じよしきはる……………	主張言い張る
	じょうらんぐも……………	女郎蜘蛛	じょーもち……………	役場の状配り
	じょーぼん……………	水の分岐盤	じょーの一かけ……………	トイレ
	しよーがつあるき……………	年賀挨拶	しょうがつあるき……………	嫁の初正月
	じょうのう……………	納税	じょうしきもん……………	意地張り者
	しよわーね……………	大丈夫	しょんべんたご……………	小便場所
	しらんふり……………	知らぬ振り	しらすんな……………	知らせないよう
	しらめ……………	シラミ	しらくも……………	頭の皮膚病
	しらしんけん……………	本当に真剣に	しらんうち……………	知らない間に
	しらんかお……………	知らん振りを	しりこそばい……………	恥じかき
	しりべ……………	知っている家	じりびやき……………	小麦粉調理食べ物
	じりー……………	ぬかるみ	しりぬぐい……………	後始末
	しりゃーせんじ……………	知らない癖に	しりんす……………	尻の穴
	しりびら……………	尻の回り	しるのみ……………	汁の具
	しるしい……………	うっとおしい	しるしい……………	雨で困難
	しれっと……………	気味悪い	しれん……………	しれない
	しれわらい……………	無意味な笑い	しろうち……………	棕櫚縄を組む
	しろうとえんげい……………	素人芝居	素人話……………	即興漫才
	じろじろみる……………	珍し物見	じわっといかにゃ……………	そっと行く
	じわっといかにゃ……………	静かに行く	じわっとぬげた……………	するり脱げた
	じわじわ……………	ゆっくり	じわじわ……………	そろりと
	しんしょう……………	財産	しんどこ……………	新しい畳
	しんしょうがたたん……………	財産危険	しんきね……………	心配で

し しーちよる………好いている
しんしょあったけ………財産全部
しんや………分家、新しい家
しん………新しい産物
しんじたまるか………死にたくない

しんのか………知るものか
じんやとり………子供の陣取り遊び
しん………芯
しんじんか………信心する
しんじちよる………信頼してる

す



すいー………すっぱい
すうちよけ………すいなさい
すえた………傷んだ、カビが
すえる………傷んだ
すかん………嫌い
すかれん………嫌われる
すきじゃき………好きですから
すきになったけん………大好きに
すきでんねー………好きではない
すくめち………小首ちぢめ
すくれた………疲れが
すくみあがる………痛みが集中
すぐまにあう………咄嗟に合う
すぐれた嫁………立派な嫁
すぐいいな………すぐよいか
すけべおとこ………色気の男
すことん………変わり者
すさ………壁塗に使う材料
すじたごかす………ねんざする
すずだけ………小さな女竹

すあえ………酢のあえ物
すいちよる………好きな人
すいばり………皮膚にささった異物
すいまくる………吸い放題
すいたもん………好きなもの
ずうしろう………なまけもの
すうたくれ………なまけもの
すえめし………傷んだ飯
すおきかする………酢を強める
すかるる………好かれる
すかんとれ………好かない人
すきじしかたねー………本当に好き
すぎな………ツクシの親
すくい………物をすくう
すぐる………そろえて
すくるる………たまった疲れ
すぐわくきー………すぐ沸きます
すぐ………至急に
すぐきち………すぐきて
すぐいぬるき………すぐ帰るから
すこどん………とんまな
すこどんぬさらゆる………悪評公開
すじがつる………筋肉が硬直
すじがいいんか………血統がよいか
すずしゅう………涼しく

す すすりもち……すすって食べる
すずめわな……雀取りの仕掛け
すそ……着物の端
すそかる……すその方から
すそかくす……陰部を隠す
すそどろぼう……浮気泥棒
すちー……すてなさい
すったり……本当にだめに
すっとらく……ウソ言い
すっくし……髪を解く櫛
すでしごと……手仕事
すてきらん……捨てられない
すで……何もつけずの手
すとろく……ウソ言い
すなまき……伝承語り部
すになっち……酔になる
すねばる……我を通す
すばしきー……動きが早い
すべこべ……あれこれと
すべりそこなう……滑りの失敗
すべりまくる……滑り満足する
すぼくるる……小さくなる
すぼ……ごみ
すぼんこ……留守番子
すまくろ……隅っこ
すまんのー……すみません
すましち……まじめに
すみっこ……隅の方
すみそうな……すむようです
すむ……水に潜む
すめんごたる……潜めないよう

すず……竹の一種
すすだらけ……煤で汚れる
すそ……女性性器
すそはたくる……股を開く
すそんほうかる……すそから
すたっちよる……影が薄くなる
ずつねー……いやらしい
すっとろく……うそばかり
すっとんきょう……吃驚する
すっとんかわ……ウソばかり
すてんこてん……とんでもない
すてんじょけ……捨てなさんな
すとんかわ……ウソ
すどまりやど……仮の宿
すなつち……砂け混じり土
すぬる……甘えて見る
すのぼる……我を通す
すぶりする……みぶるい
すべりおつる……滑って落ちる
すべたりこくる……滑って転ぶ
すべすべ……肌が柔らかに
すぼ……おいてけぼり
すぼわら……小さな藁
すぼまら……包莖
すまんじょう……すまが好き
すまんごたる……すまないよう
すみだし……炭の積出し
すみどーら……炭俵
すむ……終わる
すめんごたる……住めないよう
すめんじゃ……住まなければ

す	すもつくれん……………役立たず	すもしれん……………調子いいから
	すもんぬ……………酢の物料理	すやけた……………くろこげ
	すゆる……………腐敗する傷む	すら……………練習
	すらごつ……………遊び	すらとぼくる……………馬鹿まねする
	すらうち……………遊び打ち	すらこ……………本気でない
	すらまい……………遊び舞い	ずらした……………動かした
	ずらす……………動かす	ずりおつる……………滑り落ちる
	すりへる……………摩擦で減る	すりこむ……………直に入る
	ずりこむ……………もぐり込む	すりそこなう……………刷るのに失敗
	ずりー……………ずる賢い	すりこみ……………真っ直ぐ入る
	する……………します	するかえ……………しますか
	するんな……………しますか	するけん……………しますから
	するき……………するから	するしこ……………できるだけ
	するたんび……………する時	するんじゃなかった……………しないが
	すりぬくる……………滑り抜ける	すりゃよかった……………しておけば
	すれがう……………後つがい	すれがう……………行き交う
	すれちよる……………都会並みに	すれむすめ……………発展家
	すわりそこなう……………座るに失敗	すわりだこ……………座り固まり
	すわりぶとん……………座布団	すわりよせん……………座る暇がない
	するの……………しますか	すわぶる……………吸いつく
	ずんだれた……………少々疲れた	ずうーしん……………遊びくせ
	ずんど……………全く	ずーごろ……………気力の無い
	ずーずしくらべ……………楽くらべ、	仕事が苦手の遊び好きが。
	すーら……………そこいら	すんな……………しなさんな
	すーらいちめん……………そこら一面	すーたん……………ウソばかり
	すーちゃらん……………吸ってあげない	すーだけ……………吸う楽しみ
	すーちょけ……………吸っていなさい	
	すーらこ……………遊びの真似ごと	
	すーたろう……………風来坊	
	すーすーねむれ……………よく寝れ	
	すーらんこ……………かけんでな	



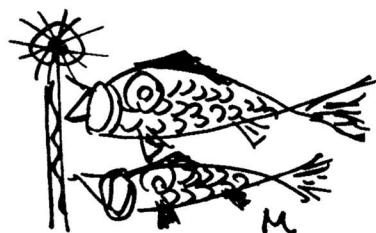
せ せいたかのっば……背高な人
せいた……腹が痛んだ
せいた……買い物客がおく
せをわたった……瀬を渡る
せがいそこなう……せがう失敗
せかん……急がない
せがゆりー……背がなめらか
せきうち……井関きを修理
せくきー……忙しいから
せごし……魚料理の方法
せせくる……かき回す
せせくりわらう……皮肉に笑う
せちー……悲しい、つらい
せちなぎー……せつくて
せっく……無理強い
せった……押した
せつきまわす……無理言いする
せどあい……背戸の間
せどかぜ……合間の風
せなかあわしゅ……背中をはい
ぜに……金、通貨
せねくりかやる……仰向けに
せのぼしゅー……背をのぼす
せまちなおし……田んぼの整地
せめあぐる……窮地に追う
せめそこなう……攻める失敗
せめじょうず……攻めての策
せらんか……押しなさい
せりまわす……あちこちせる
せりあぐる……高値をつけ
せりいち……牛馬の取引場

せいた……急いだ
せいた……水をせき止めた
せいた……担ぐ荷乗せる
せおやかすんな……世話多い
せがう……苛める、冷やかす
せがまるる……無理言われる
せがゆりー……瀬がゆっくりと
せきあげ……水をせきあげる
せごし……瀬を越す
せせろしい……うるさい
せせる……口出しする
せたかのっば……背の高い人
せちぼずる……口うるさく
せちぼじかやす……ののしり苦言
せったく……折角
せった……草履の一種
せっと……農繁期
せど……合間
せどあるき……合間を歩く
せなこー……背中を
ぜにむし……守銭奴
せのぼる……背筋をのぼす
せぶとん……背宛のふとん
せまぎる……欲張りする
せめんえん……虫くだし
せめまわす……攻めて追う
せらう……皮肉な現象
せらんな……押しなさい
せりあぐる……せり上げて
せらされた……押してあげた
せりあう……やりとり

せ せりこむ……セッテ押し込む
 せりゅーつむ……芹つみ
 せるきな……せりますよ
 せわしいやつ……うるさいやつ
 せわやく……世話上手
 せわおとこ……世話する男
 せんちんづめ……知恵遊び
 せんむき……しないまま
 せん……前に
 せんしょ……欲張る
 せんしょはる……欲張って
 せんじゃおれん……せにゃもてん
 せんちん……便所、トイレ
 せんずり……自慰
 せんだる……自慰

せりくりまわす……あちこちせる
 せれ……せりなさい
 せわしげねー……忙しいようで
 せわずき……面倒見がいい
 せわむき……世話の出来る
 せんか……しなさい
 せんき……しないから
 せん……しないよ
 せん……しません
 せんならん……しなくて
 せんじゃおらん……しないでは
 せんでん……しなくても
 せんちんそだち……戸あけたまま
 せんずり……マスタベーション
 せんじょけ……しなさんな

そ そいちかる……それから
 そいかる……それから
 そうじゃろうか……そうですか
 そうそう……そうですとも
 そうそう……はやばやと
 そうそう……それから
 そうこうしりゃ……そのうちに
 そうしちゃー……そうしては
 そえぜん……膳を添えて
 そうかえ……そうですか
 そうこにゃ……そうでなきゃ
 そきーおいちょけ……そこにおいて
 ひくー……そこえ
 そげーしゅ……そんなにしよう
 そげーおろいい……本とに悪人



そうでんせにゃ……そうしないと
 そいじゃ……それでは
 そうべく……そのように
 そおで……そうですよ
 そうちゃ……そうですとも
 そうか……そうですか
 そきー……そこに
 そげん……そんなに
 そげんこつー……そんなことを
 そげんこたー……そんな事は

そ	そげねー……………そうでもない	そげーせにゃ……………そうしなさい
	そげなんねーで…そんなのない	そげなこたー……………そんなことは
	そげしたんな……………そうしたの	そこそこ……………ほどほどに
	そこらそんげ……………そこらあたり	そこらじゅー……………そのへんみな
	そじゃけんど……………そうですが	そしちかる……………それから
	そじゃなー……………そうですね	そずる……………いちむ
	そぜくる……………そでてしまう	そぜかしなんな……………かさないで
	そそのかした……………利用された	そそらいい……………喉を掘るよう
	そそれー……………気持ち悪い	そだちそこなう……………育ての失敗
	そだちがいい……………簇がいい	そだちがわりー……………ほたらかし
	そっし……………牛馬の使役語	そっちんし……………そちにの人
	そっち……………そちら	そっちんほう……………そちらの方
	そっかるこうじゃ…こんなふう	そっちに……………そちらに
	そっかるそんげ……………そこらあたり	そっとしちょけ……………ほっとけ
	そでとりひき……………袖の中で取引	そでまくりゅー……………袖をまくり
	そでた……………痛んだ	そでた……………傷んだ
	そでんした……………内緒に受け	そとがま……………外踏み歩き癖
	そとずら……………外ではいい顔	そとやしき……………外回り屋敷
	そねたくじる……………そねまわって	そねばっちょる……………そねばって
	そのばんかぎり…一夜かぎりに	そのばづくり……………上手に合わす
	そばにおる……………寄り添って	そばんこ……………甘えん子
	そばんこ……………家着きん子	そばにおけ……………側に引き付け
	そべーおけ……………側において	そべーおいち……………そばにおいて
	そべ……………側に	そばさんまつり……………風習の祭り
	そまっちしもう……………染まった	そまつじゃが……………粗品ですが
	そまつんしだい……………粗品で	そめもん……………染物
	そやけんど……………そうですが	そやのや……………そうですね
	そやーち……………そうだから	そやわりー……………それは悪い
	そらさみしい……………もの悲しい	そらわらい……………上手笑い
	そらなみだ……………義理涙	そらん……………そりません
	そらん……………そらない	そらん……………まっすぐ

そ そらん…………… まがらない
 そりー…………… それに
 そりゅー…………… それを
 そりむく…………… ふりむく
 そるーちよる…………… 揃っている
 そるーちいく…………… 揃って行く
 そる…………… 曲がっている
 それぐれーじ…………… そのくらいで
 そろそろしこー…………… 準備を
 そろそろ…………… ぼちぼち
 そろそろ…………… ゆっくり
 そろーち…………… 揃って
 そわそわするき…浮き浮きする
 そんくい…………… 踏みこんだ
 異物。
 ぞーくる…………… 冗談仲間
 ぞーちゃ…………… そうです
 そんとおり…………… その通りで
 そんままじゃ…………… そのまんまに
 そーつく…………… うろうろする
 そーしち…………… そうして
 そーじゃけんど…………… そうですが
 そーでんせんと…………… そうでもしないと。
 そーじゃつた…………… そうでした
 そーまあうな…………… そんなに言うな
 そーとおしよわしい…………… かなり忙しいようですが。
 そーしちゃおれん…たいへんだ



そらがくれー…………… 空の暗がり
 そりー…………… そこに
 そりゃー…………… それは
 そりたがる…………… そねばる
 そるーたか…………… 揃ったか
 そる…………… そり返る
 それぎん…………… それでも
 そろそろいくど…………… でかけます
 これまじしちょけ…ここまでし
 ておきなさい。
 そろばんさんにゅう…………… 算盤で
 計算勘定する。
 そんくれ…………… そのくらい
 そんし…………… その人
 そーなんじゃ…………… そうですが
 どーくる…………… 戯れけんか
 ぞーさねー…………… わけはない
 そんげ…………… そちらに
 そんじ…………… それで
 そーしちや…………… そうすれば
 そーでん…………… そうでも
 そーしちくるりや…そうしてく
 れると。
 そーならいいんじゃが…………… そう
 ですといいのだが。
 そーそー…………… そうです
 そーこーしち…………… そんうちに
 そーどしい…………… 賑やかな
 そーつくばる…………… 威張りちらす
 そーなんじゃ…………… そうですが
 そーそー…………… そうです

方言の言い方 答え方で意味が随分ちがうもの

させんな さするで させた させてんいいこと させたがるしも
…変な事を考えると おかしくもなる。そうです…異なる意味がある
生活用語。だから人間の原点 温かさがしのばれるのでしょうか。

させんな…させてください 仕事 加勢 使いなどいろいろ。

さするで…加勢してもらおう 親しい人か相手か遠慮がないから

頼める。勿論自分たちも常にそんな心がけている。

させた……してもらった事で 相手も親切を受け入れられた その
の満足感と役にたった幸せも 満喫できる。

させてんいいこと…してもらってもいいじゃない 人嫌いせずに
皆が助け合う そこに生活上手の鍵があるのでは。昔
は貧富の差も大きかったが 気安く助け合う共通点の
ある 人との関わりは物や金では解決出来ない。

させたがる…何か頼む事で茶を飲む機会も 自分も声をかけてく
れる事が 信頼の度合とも解釈できるから。

もし色情に解釈すれば…大変な問題が勃発するかも 予想だにせ
ぬ結果は目に見えている。そんな二重の生活描写が 夢のような
世界のロマンを 与えて努力する力と倫理を わきまえさせてい
るのかも知れない。方言にはそんな優しさも含まれている。

したかった したい してほしい しちやる してもらいたい
してーけんど しとーねー せんな せんで せんでんいい

すきじゃき すいちよる する すぐでんいい すそ すそじる
すそまくり すそかくす すそよごし すそすずしい すそよけ

こげな方言ん説明は本文にあるき 暇の時に解いち見るとけっ
か頭ん体操になっち 面白いんじゃないかあるめーか。どげーな。

た	たあらせ……………荒れた田	たあらおき……………俵を積む場所
	だあだあ……………牛馬の使用語	だいずかす……………牛馬の飼料
	だいじしなー…大切にしなさい	だいー……………つかれた
	だいこ……………大根	だいら……………ひらたい場所
	だいしょ……………嫁の生まれ家	たいまつ……………松根を使う燃料
	だいばらし……………車輪はずして車体を長く使う技法。	
	だいしょあるき……………里帰り	だいこひーち……………大根収穫
	たうえよこい……………田植終了休み	たえねーな……………退屈する
	たおるるごたる……………倒れそう	たおれた……………たおれる
	だかるる……………抱かれる	だかい……………牛馬の世話を
	たがひる……………田んぼ水不足	だかりゅう……………だかれよう
	だかれん……………抱かれない	だかれん……………抱けない
	たが……………桶の輪	たかはりばん……………高張提灯の番
	だかれてー……………抱かれない	たかひび……………股にヒビが
	たかもも……………股の上部	だきぐせ……………抱く癖になる
	だきそこなう……………抱く間ない	だきそこなう……………抱けないで
	たきもんとり……………薪取り	たきもんごや……………薪小屋
	だきあわする……………抱き合わせ	たきつくる……………燃やし始め
	たきつくる……………応援する	たきつくる……………おだてあげる
	たきつくる……………けしかける	たきもん……………薪
	たぎる……………煮え立つ	たくあん……………大根漬け
	たぎりまくる……………腹立て真剣	たけんつつ……………竹筒
	たけうら……………竹はウラから割る	たけんこーり……………竹製の行李
	たけんかわ……………竹の皮	たけなわ……………竹で束ねる
	たかぼうき……………竹で作った箒	たけどい……………竹の樋
	たけてー……………竹田に	たけたちよつこう……………竹田直行
	たけ……………炊けます	たけ……………炊きなさい
	たけー……………高い	たけ……………背の高さ
	たけんかわじょうり……………竹皮草履	たごかす……………捻挫する
	たごけーた……………捻挫した	たご……………下肥桶
	だしあい……………持ち寄りで	だしあい……………出しあって

た	だしそこなう……出すのに失敗	だしそこなう……出す機会失う
	だしあわせ……出すに間に合う	だしあわせ……丁度よかった
	だしーする……ダシに使う	だしなー……出しなさい
	だしたで……出しましたよ	だしあいびかり……出しあって
	たずる……馬の足を湯で	楽しい会を開催する。
	たせせり……田の境争い	たたきつくる……叩きつける
	たたんだ……たたむ	たたきまわす……ひどく叩く
	たたきそこなう……叩くのに失敗	たたきあう……相手を叩く
	たたきのばす……叩いて延ばす	たたきそこなう……叩くのに失敗
	たちきらん……立てない	たちきらん……裁断出来ぬ
	たちきらん……はなれない	たちはだかる……通せんぼ
	たちわけ……ナタマメ	だった……疲れた
	だった……でした	だっちよる……疲れてる
	だったんか……疲れたのか	たつ……牛の道具
	たつ……勃起する	たづる……馬の足を湯に浸す
	たっちよる……裁断する	たっちよる……たっている
	たっちよる……幼児が立つ	たっちよる……勃起してる
	たっしゃ……健康	たっしゃ……元気で
	たっしゃごしらえ……仕事姿勢	たっしゃごしらえ……装備万端
	たった……幼児が立つ	たった……立ちました
	たった……でましたよ	たった……ほんの
	たった……足りましたか	たった……ありました
	たった……あのましたか	たつまえ……出る前に
	たつまえ……勃起の前	たてむすび……縦に結ぶ
	たてひだ……襷をたて	たてぼう……馬車に立てる棒
	だてん……立てない	たてん……たちません
	たてん……勃起しない	たてつけ……建ち前
	たてつけ……戸の整備	たどっちあるく……伝い歩き
	たどりあし……ゆっくり歩く	たなにのせち……棚に乗せて
	たにわたり……妻の上を行き来	たにくぼ……起伏の窪
	たにゅーうしなう……種も無くす	たぬる……尋ねる

た たねつけしょ……牛馬の交尾場	たねこま………馬の種雄
たねつけ………牛馬の交尾	たねとり………種取り用作物
たねとり………田植えの親筋	たねうしない……種まで食べる
たねうしない……種がなくなる	たねまき………情事の妊娠
たねまわり………馬の当て駒	たねうし………牛の種取り飼育
たねおとこ………遊び上手	たのまれん………たのまれない
だのもん………牛馬の飲食	だのみず………牛馬の飲み物
たのくろ………田の回り	たのもし………出し合い貯金
たのんじょく……頼んでおく	たのまれん………たのまれない
たのあぜ………畦	たばこたべな……たばこ吸って
たびーいく………旅行に行く	たびしこう………旅行準備
たぶる………食べる	たぶしん………田んぼの補修
たべそこなう……食べ時間失う	たべそこなう……食べるのに失敗
たべちゃらん……食べてあげぬ	たべちょらん……食べてない
たべちょくれ……食べてください	たべよせん……食べる時間がない
たべちみよ………試食して	たべもぬ………食べ物を
たべよ………たべなさい	たほそめ………田んぼを少なく
たぼう………つつましく	たぼう………かぼう
たぼう………節約する	たぼう………大事にする
たまっちょる……たまっている	たまっちょる……借りができた
たまっちょる……ごみがおおく	たまっちょる……人があつまる
だまくらかす………ごまかす	だまくらかす………だます
だまくらかす………迷わせる	だまさるる………ごまかされる
だまさるる………まよって	だまさるる………ひっかけられ
たまがる………吃驚する	だま………雌馬
だまし………急に	だまえ………当番の家
たまがっち………吃驚して	たまじ………時々で
だまにたねつけ……雌馬に種付け	だめじゃろうが……無理かも
だめちゅーに……悪いと言うに	だらしい………疲労感
だもーみよ………してやった	たまがりしびる……吃驚漏らす
だらだら………しまりなく	だらだら………とめどなく

た たらたら……………ながれる
 だりか……………だれか
 だりゆおか……………誰に言うか
 だる……………疲れる
 だるもんきり……………牛馬の餌準備
 だるき……………疲労する
 だるきのや……………疲労を訴える
 たれかぶる……………下痢する
 たれかぶる……………痴呆になる
 たれた……………おろした
 たわいね……………品もなにも
 たわごつ……………変な言葉を
 たんぬる……………聞いてみる
 たんねる……………聞く
 たんすんこえ……………着ないまま
 だんだん……………積み重ね
 だんだん……………ありがとう
 だんごばな……………大きな鼻
 たんび……………たびたび
 だんごんこする……………ダンゴの粉を臼でする。
 たんくさ……………田の草
 たんねち……………尋ねて
 だんごびちょ……………粉を吐き延
 ばして具と炊いた汁。
 だーっと……………あらまし
 だーいい……………つかれた
 だーめち……………いけない
 だーもみな……………みっともない
 だーれん……………だれも
 だーれんこん……………誰も来ない
 だーれんしらん……………誰も知らぬ

だらんめ……………春の木の芽の一種
 だり……………だれに
 だる……………下肥
 だるかたげ……………下肥担ぎ
 たるぬき……………柿の渋抜き
 だるき……………つかれるから
 だる……………下肥を作物に
 たれかぶる……………食いすぎ
 たれた……………ぶらさがる
 たれさがる……………おりたま
 たわいね……………判断もない
 たんぬる……………尋ねる
 たんねる……………尋ねる
 たんもん……………反物
 たんすんこえ……………見せかけ着物
 だんだん……………石段
 たんさんもち……………炭酸で膨らし
 た餅、饅頭。

たんびに……………なんども
 たんねちみな……………尋ねて見ては
 だんごじる……………粉を引き延ばし
 て具と炊いた汁。

だんだんとび……………子供の飛び遊び
 だーっと……………さらりと
 だーまねえ……………取り散らし
 だーもみた……………だらしない
 だーりん……………だれにも



ち	ちーちくる………ついてくる	ちゅうら………ひょうかん
	ちえねつ………突然の発熱	ちえぶとり………皮肉を言う
	ちえぶとり………きやすめ	ちおひく………血統、遺伝
	ちからもち………腕自慢	ちからもち………大きな餅
	ちからもち………頑丈な人	ちきり………はかり
	ちぎ………はかり	ちぎる………もぎ取る
	ちぎりもち………餅を小さい形に	ちくしょう………動物など
	ちくらす………叩く	ちこーくる………さいさん来る
	ちこーくる………近くに来る	ちこーくる………近く来る
	ちこーふる………さいさん降る	ちこーきこゆる………近く聞こえる
	ちこー………近くに	ちこー………側に来なさい
	ちしころす………無残に殺す	ちしわる………無残に割る
	ちしまわす………ひどく叩く	ちずかく………寝小便
	ちちまわす………叩く	ちちのませ………授乳
	ちちくりまわす………ひどく叩く	ちちくらわす………ひどく叩く
	ちちぶ………木の実の一種	ちちぼ………ちちぶ
	ちちゅうすわぶる………乳を飲む	ちちゅうすわぶる………乳を吸う
	ちっとくんな………少しください	ちつろく………つつろく
	ちっとん………少しも	は俵あみの道具。
	ちっしゃぐ………踏んで潰す	ちっとちっと………ほんの少し
	ちっとちっと………少しでよい	ちっとこめー………少しちいさい
	ちょつとんわからん………少しもわからない。	
	ちってー………おちついて	ちなごろ………変わり者
	ちのみち………婦人病	ちびなえ………小さな苗
	ちびる………もらす	ちびた………もらした
	ちっとんずつ………すこしづつ	ちめぐりわりー………鈍い感覚
	ちゃんと………しっかり	ちゃんと………きちんと
	ちゃだち………茶を願掛け	ちゃをわかせ………お茶わかshi
	ちゃをわかse………茶を沸かしなさい	ちゃばしら………お茶の柱が
	ちゃーら………あらまあ	ちゃーら………どうしょう
	ちゃにする………お茶の時間	ちゃにする………相手にせぬ

ち ちゃーりゃ……まったくもう
ちゃらちゃら……浮き足たって
ちゃらちゃら……落ちて着かない
ちゅーら………変わり者
ちゅうかん………ひょうきん者
ちゅーれん………ひょうきん者
ちゅうれん………調子者
ちゅうくれ………まあまあ
ちゅうばか………お人好し
ちよいと………少し
ちよいと………ちょつと
ちよろまかす………泥棒する
ちようずば………便所トイレ
ちようずいいごつ………都合よく
ちょこっと………少しの間
ちょつとんなかま………少しの間に
ちよいとことば………誤解を招く
ちょこ………杯
ちようけ………手桶
ちようずばち………便所手洗い
ちよれん………できない
ちようしんかわ………調子よく
ちよろむけ………包茎
ちょこまけにゃ………すぐには
ちんこ………女性の性器
ちよろっと………ついうっかり
ちんうーせ………駄賃取り
ちんくりあう………戯れ合う
ちんあそび………情好
ちんちくりん………少し小さい
ちーだで………つぎました

ちゃんちゃんこ………袖無し着物
ちゃらちゃら………着飾って
ちったたべた………少しは食べた
ちゅーかん………あばずれ者
ちゅうたいきょうれん………昔の学
校運動会の集団演技。

ちゅうれん………乗りやすい人間
ちゅうくれ………普通並み
ちゅうのだて………切り込み神事
ちよいと………ほんの少し
ちよろまかす………ごまかす
ちよりゃせん………してませんよ
ちょま………繊維、ラミー。
ちようずいいごつ………まかせる
ちょこっと………瞬間に
ちよいとことば………よすぎる言葉
ちようちょこ………蝶
ちょこまこ………そこらあたり
ちようなだて………切り込み神事
ちょくれ………お願い
ちよるけん………ますから
ちょこっと………ほんの少し
ちょこしごと………飲み会
ちんば………男性の性器
ちくたつぐさ………ニラ
ちよろっと………口すべり
ちんちん………子供の性器
ちんばむくけいこ………自慰



つ	ついちくる………ついて来る	ついちいく………ついて行く
	ついちゃん………ついてない	つてちゃん………ついていない
	ついちゃん………つかない	ついちゃん………つけない
	ついちみる………ついて見る	ついちみる………着いてから見る
	ついちみる………つつく	ついちみる………使って見る
	つい………思わず	つい………瞬間に
	つい………待ったなく	つうしんぼ………通知表
	つうてんかん………冗談だろ	づうしろー………怠け者
	づーごし………腰	づーたん………頭
	つかみくじる………掴んで痛める	つかみかかる………激しく挑む
	つかみそこなう………掴むのに失敗	つかまえんと………捕まえないと
	つかっち………浸かって	つがる………交尾する
	つかみあう………掴み喧嘩	つかまえた………捕らえた
	つきまずる………つきながら混合	つきそこなう………つくのに失敗
	つきあがる………調子に乗る	つきがわりー………運が悪い
	つきがかぐる………月が変形	つきむき………面と向かって
	つきの………着くとすぐ	つきの………つくさまに
	つきあげ………天ぷら	つきやく………月経
	つきのもん………生理	つきまわり………メンス
	つきいかさ………下り天気	つくなる………しゃがみこむ
	つくなる………気分が悪くなる	つくろう………修理する
	づく………頭	つくりたてた………仕掛け人
	つくりざかや………酒製造家	つくるんじゃー………つくるのです
	つくれんこつ………出来ない相談	つくれんこつ………ばかばかしい
	つくったとせ………使わずじまい	つくったとせ………飛びつき屋
	つくりきる………つくれます	づくし………柿の熟れすぎ
	つぐり………とぐろ	つけ………未収
	つけ………後払い	つけもん………漬け物
	つけそこなう………漬け物失敗	つけちよる………漬けている
	つけちよる………付けてある	つけちよる………就けてある
	つけた………つけています	つけた………漬けた

つ	つごーいい……都合がよいよ	づざぶくろ……死者の旅銭袋
	つれ……友達	つれ……つれそう人
	つれ……伴侶	つれ……つれている
	つじ……道路の分岐	つず……つばき
	つずくる……続ける	つたいあるき……あるきはじめ
	つたいあるき……伝って歩く	つちごね……土遊び
	つちぐれ……土の固まり	つちいれ……麦に土を被せる
	つちろく……俵あみ農具	つちぶう……ケラ
	つちかたげ……土を運ぶ	つち……物を打つ道具
	つっかけ……急に	つづ……つばき
	つつきまわす……つついてる	つっぱぬる……つきはねる
	つつく……つついて	つづら……かずらの一種

でつよいので紐の代用、手芸品、組み物、などに。

つっかいぼう……支え棒	つっぱる……つきはねる
つつくる……つついて	つくくずす……つき壊す
つつろく……俵あみ農具	つないで……ついでに
つなぎなー……つなぎなさい	つかかかる……つきあたる
つなうち……綱を組み合う	つなぎそこなう……つなぎの失敗
つながる……つらなる	つないじょる……つないでいる
つなげ……つなぎなさい	づにのんな……調子に乗るな
つねひごろん……日常の	つのみがき……牛の角手入れ
つのじ……角で	つのつきふーだ……角で破った
つばくろ……ツバメ	つばな……小さい茅の芽
つばいろ……唇の色	つぶせ……壊せ
つぶし……足の間部分	つぶれかかる……壊れる直前
つぶしちょけ……壊しておけ	つぶれたか……壊れたか
つべこべいうな……文句言うな	つぼ……瓶、水入れ
つぼ……庭	つぼ……家の前庭
つぼさき……庭先	つまみぐい……味見
つまみぐい……他人を妊娠	つまみそこなう……つまみの失敗
つまみそこなう……逃がして	つまる……通じない

つ　つまらん……………駄目です	つまらん……………退屈する
つまみだす……………外に出す	つまみだす……………疎外される
つまみしゃぐ……………つまみ壊す	つまみあぐる……………つまみあげる
つみくじる……………爪で痛める	つみなやつじゃ……………罪作り
つみあげちよる…積み上げてる	つみたつる……………積んで立てる
つみこめや……………積込みなさい	つむ……………摘んで、積んで
つむきー……………摘みます	つむきー……………積みますから
つむる……………閉める	つめこめ……………一杯に入れる
つめそこなう……………詰めるに失敗	つめくじ……………爪で痛める
つめむけ……………爪の皮が痛む	つもりばなし……………思いで話し
つもるごたる……………積むよう	つもらにゃ……………積まなければ
つもらにゃ……………多くならねば	つゆんたま……………露が玉に
つよがりゆーな……………やせ我慢	つよがりゆうな……………意地っぱり
つらんかわ……………顔の皮	つらなच्चよる……………つらなって
つられち……………ついつられ	つらうひきむく…赤恥かかせる
つりあがり……………調子者	つりあがり……………おだてに乗る
つりそこなう……………釣るのに失敗	つりあぐる……………釣りあげる
つりさぐる……………釣りさげる	つるしがき……………干し柿
つるし……………吊す	つりあわん……………納得いかぬ
つりあわん……………不公平	つるんは……………縁起物の葉
つるつるする……………すべすべして	つるべいど……………跳ね釣瓶
つるむくる……………手軽にむける	つる……………釣る、吊り上げ
つねめーか……………釣らない	つれなう……………同行する
つれのーち……………一緒に行く	つれだっち……………皆と一緒に
つわんふき……………ツワブキ	つんじょく……………積んでおく
つんじょく……………摘んでおく	つんじゃらん…摘んであげない
つんじゃらん……………積まない	つんじくんなー…摘んで下さい
つんじくんなー…積んでおくれ	つーいんかん……………調子者
つーてんかん……………いいくらい	つーだ……………飛んだ
つんむく……………小怪我する	つんつしよる……………腹たて袋
づたーら……………飛んだら	つんぐる……………腹を立てる

て てあぶり……………手火鉢
でーら……………平地
ておしぼんぷ……………消防ポンプ
てをもどせ……………てまがい
でかきゅうか……………行こうか
てぎめ……………きめ事、契約
できんごたる……………不可能
てぐわ……………手で代用
できんもんじ……………出来ないに
でくわせた……………出合った
でけがわりー……………不用品
でけたかえ……………出来たですか
でけそこなう……………作るに失敗
てこぼん……………手盆
てざら……………手塩皿
てさぐり……………手で探す
でしぶる……………出無精
てずのー……………手綱を
てずなづくり……………手綱を作る
でそこなう……………出る機会失う
でたたきみず……………ほん少しの水
でたまんま……………出たまま
でたがる……………出る欲望
でたがる……………よそにゆきたい
でたがらん……………ゆきたくない
でちいく……………出て行く
でちきー……………出ておいで
でずっぱり……………出が多い
ででまんところー……………狭い所に
でてんいいど……………他所に行く約束
でどいし……………ミニ砥石

てあたり……………そこらあたりの
てーげんこつ……………たいがいな事
ておかせ……………加勢して
てがてー……………几帳面、堅物
でかけちん……………手数料
できそこのーた……………失敗した
てくのぼん……………手盆
できらん……………出られない
でくんぼう……………役立たず
でけん……………できない
できがわりー……………育ちそこない
でけんもんじ……………出来なく
でけそこなう……………育ちが悪い
でこ……………ひたい
つさぐりそこなう……………手さぐり難
てざかな……………持ち寄り肴
てずかん……………手がつかぬ
てずり……………手で捕まえ
てぜま……………狭くて
でそこなう……………出られない
でたきり……………出たまま
でたけんど……………出たけど
でたがる……………離婚願望
でたがらん……………出たくない
でちみたが……………出て見たものの
でちきー……………出てきなさい
てずま……………手品
でずっぱり……………出ばなし
でてんいいど……………出てもいいよ
でてんいいど……………転出を許す
てなおし……………手で修正

て てなずくる……………上手に指導
てなぐさみ……………趣味を生かす
てにおえん……………助けを求める
てにつくる……………手に覚える
てにする……………取得する
てぬくめ……………手火鉢
て……………特技
てぬらし……………おしぼり
てのごい……………手拭い
てばり……………出る前針仕事
てばったな……………出てくる
てば……………飛び出た歯
てひじー……………厳しい
てぶらぶー……………みやげなし
てぼちん……………出た額
てまがい……………仕事の加勢
てみやげ……………来客のみやげ
てめーかた……………お前の家
てもほしがる……………人手がほしい
てもつけられん……………散財
てりよる……………天気
てりだす……………天気になる
でる……………出かける
でるかんしれん……………転出する
でるちいよる……………出るという
でるごたる……………出るようで
てれ……………知能弱者
てわやく……………悪い遊び
てんとはる……………勃起する
てんじょはりかえ……………散髪
でーちゃん……………出してあげる

てなぐさみ……………手遊び
てにおえん……………やりきれん
てにおえん……………どうにもならん
てにつくる……………職を身につけ
てにする……………手に持つ
てぬぎー……………手拭い
て……………隠し技
てねくりまわす……………こねまわす
てのわやく……………手慰め
てばな……………直前
てばんな……………出番ですよ
てひじー……………特別ひどい
てぶらぼ……………手ぶらで
てぼん……………手盆
てまりこ……………アジサイ
てみー……………手で選別する農具
てめーどー……………お前たちは
てもどし……………借りを返す
てもつけられん……………どうにも
てらせん……………寺参り銭
てりでーた……………照りだした
てりあげた……………天気が好天
出る……………出て行く
でるかん……………出のしょう
でるど……………出て行くよ
てれんばれん……………あっちこっち
てれっと……………ぼんやりと
でん……………でも
てんつくまい……………ふざけ舞台
でーちゃん……………抱いてあげる
てんがらやすー……………簡単には

て てんしょむしょ……あれこれ
てんぐ……のぼせて
てーげー……たいがい
でんきんばしら……電柱
でーじに……大事に

てんしょむしょ……真剣に
てんぐ……うぬぼれ
でーち……抱いて
でんしんばしら……電話柱
でーぶんな……だいぶん

と とあみうつ……網打ち
どいも……里芋
といも……甘藷
といもあめ……甘藷で作った飴
といちょくれ……解いておくれ
といた……雨戸利用
どうでん……どうでも
どうくる……悪遊び
どうしゅうか……どうしましょ
とうじんぼし……魚の塩干し
どおか……どうにか
どおくるな……持て遊ぶな
どおしゅかもち……豊作餅
とおりもん……門構え家
とおられん……通られない
とおたつる……戸を立てる
どかん……焼き物筒
土方……土建工事者
どかんじゃろー……のかないだろ
どきー……どこに
どきー……取り払う
とき……友達
ときのめ……少しの間に
どきや……どこに
とき……葬儀の食事



どいちゃらん……どかない
どうくる……いたずら
とうせんばり……通せんぼ
どうしゅうも……どうにも
どおこ……竈の湯沸かし
どおか……なんとか
どおくるな……いじめるな
どおじゃつた……どうでした
とおられん……通行止め
とおりそこね……通るに失敗
どおでんこでん……無理に
どかす……取り除く
どかんかえ……どいて
とか……など
どきー……のけて
どきたんな……どこに行った
ときのめ……いつの間にか
どーき……鼓動
どきや……取りのけて
とき……食事時

と　ときわ……………時には
　　ときにゃ……………時には
　　どく……………はずず
　　どくでね……………悪心の人
　　どくしゅうも……………どうにも
　　どげしゅうか……………どうしよう
　　どくーちゃね……………どこともなく
　　どけー……………どうです
　　どげしたん……………どうしたの
　　どげーでんしよ……………勝手にして
　　どけーした……………どうしたの
　　とひなすび……………箱入り娘
　　とこや……………散髪屋
　　ところ……………ここあたり
　　とこりー……………所に
　　どこへん……………どのあたり
　　とざしちよる……………閉めている
　　とざしちよる……………あけてない
　　としょれ……………老人
　　としわけー……………年令より若い
　　としゅうわするる……………痴呆
　　としょれんくせ……………老人の癖
　　としゅうかんがいー……………出過ぎる
　　どすごえ……………だみ声
　　どすんち……………大きな音
　　どぜま……………狭い場所
　　とぜこむ……………合わせてとじる
　　どそっと……………一遍に一杯
　　どだい……………そんな無理を
　　とちれもねー……………予想外な
　　どちゃみち……………いずれにしても

ときんま……………ときの間に
　　どきーたんな……………どこまで
　　どく……………どいて待つ
　　どくでねー……………箸にも調子も
　　どげんならん……………どうもならん
　　どくあるくんか……………どこ行くの
　　どけ……………のきなさい
　　どげんこげん……………どうにも
　　どげーでん……………どうにでも
　　とげーさね……………どちらでも
　　どけーみーた……………どちらむいた
　　どこんこ……………どこの子
　　ところ……………場所、地区
　　どこ……………どこです
　　とこりー……………ちょうどの時
　　どこまじ……………どこまで
　　とざしちよる……………咲いていない
　　としょれぶる……………老人ぶる
　　としょれしごと……………老人の仕事
　　としゅうわするる……………忘ればい
　　としょれし……………老人たち
　　としょれちえ……………老人の博学
　　としゅうかんがい……………若かぶる
　　どすごえ……………力んだ声
　　どすんち……………吃驚する音
　　どぜま……………とても狭い
　　どそっと……………沢山に
　　どだい……………だいたい
　　とだなぐち……………戸棚の入口
　　とちれもねー……………とんでもない
　　どちゃみち……………どったみち

とちめんば……………迷って	どっと……………急に
どっと……………一遍に	どっかる……………どこから
とっと……………それきり	とっと……………まるで
とっぱ……………色気話	とっぱ……………弾む話
とっとすかん……………大嫌い	とっしも一た……………大変失敗した
とっぴょうしもねえ…とんでもない	どっか……………どこか
どっとん……………急いで	どっとん……………早く
どっかり……………どこから	どっこにもねー…どこにもない
どてっぱら……………横腹	どて……………田畑の畦
どて……………土地の傾畦	とてん……………とても
とっぱい……………とうふ	とったん……………父親
とったん……………取ったの	とったん……………撮ったの
とった……………撮れた	とった……………取れた
とった……………泥棒した	とっぴょうしも…予想もせぬ
どてぶしん……………傾畦の修理	どてをつくろう……………傾畦補修
どどる……………あやす	となりんし……………隣の人
とにもかにも……………とにかく	どにか……………何とか
どにか……………どうやら	とばんど……………走らない
とばれん……………飛ばれない	とばんな……………飛ばない
とばれん……………走れない	とばせんな……………走らない
とばん……………黒板	とばし……………走らせて
とばしー……………走らせては	とばんか……………走らんか
どばき……………嘔吐	とばし……………選別して捨て
とばする……………走らせる	とばさする……………走らせるよう
とばしゅうや……………走らせようか	とばさせん……………走らせない
とばせそこなう……………走りを失敗	とびきりん……………特別の
とびきりん……………上等の	とびーち……………ともして
とびそこなう……………飛ぶのに失敗	とびそこなう……………走るのに失敗
とび……………トンビ	とびしゃく……………ハウセンカ
とびばし……………飛んで渡る橋	とびー……………被せ藁
とびいしばし……………石の渡り橋	とびくらご……………飛びくらべ

と 飛べ……………飛びなさい	とぶふりゅーする……………飛ぶまね
とぶどち……………飛びますよと	とぶごたる……………飛ぶようです
とぶんか……………飛ぶのですか	どぶさらえ……………溝の掃除
どぶろく……………素人作り酒	とぼす……………ともす
とぼー……………飛びますよ	とぼー……………斗升のならし棒
とぼせ……………ともしなさい	とほーもねー……………とんでもない
とぼくる……………素知らぬ顔	とぼくる……………関心がない
とぼさする……………ともさせる	とぼはかり……………斗升で計る
とぼした……………ともした	とまりそこなう……………泊まり失敗
とま……………冗談で	とま……………試し
とま……………休み	とまりんき……………鳥の止まり木
とまりごや……………鳥の寝る所	とめちょけ……………止めておけ
とめちょけ……………泊まらせて	とめぐい……………物をつなぐ杭
とめぐい……………壊れ止め杭	とめいし……………境石
とめいし……………根石	ともいり……………ともからの入口
ともぶた……………揃いの蓋	ともぶた……………合いの蓋
ともずれ……………連れの友	ともずれ……………友達
ともで……………友達で	ともで……………一緒で
ともで……………揃いで	ともがい……………一緒に飼う
とや……………にわとり小屋	どやす……………叩く
どゆー……………土曜	どゆー……………土用
とゆーちこー……………近所近辺	とゆーまけ……………遠くに撒く
とゆーにまけ……………遠くに蒔く	とゆーなぎー……………遠くに投げる
とゆーにはたれ……………遠くに捨てる	とらんこ……………大事な子
とりそこなう……………撮るのに失敗	とりそこなう……………取るのに失敗
とりいれ……………収穫	とりいれ……………取り込む
とりいれ……………格納する	とりたがる……………ほしがる
とりたがる……………自分の物にしておきたい欲望。	
とりあうな……………知らぬふり	とりあぐる……………取ってしまう
とりやいこ……………取り合う	とりあう……………よく張る様
とりこ……………餅つきの粉	とりや……………鳥小屋

と とりもち……………鳥捕獲の道具でモチの木皮を練って作る。

とりこめ……………収穫する

どり……………どれに

とるき……………取りますから

とりそこなう……………取り上げ失敗

とれそこなう……………取るに失敗

とれたかしれん……………取れたかも

どろびく……………長すぎて泥が

とわたてられん……………人の口

どーくる……………滑稽な

とんじ……………飛ばして

どんな……………失敗が多い

どんこんねー……………どうにも

どにもならん……………どうしても

どーくる……………はしやぐ

どーでんこでん……………とにかく

どんのくぼ……………後ろ首

どんけつ……………おわり

とんするで……………落ちるで

どんだんさま……………雷

どーこ……………竈脇の湯沸かし

どーでん……………どうしても

どーしゅうも……………どうにも

どーいいか……………どれくらいいいか

どーかたのむき……………本当に頼む

どーきんがけ……………掃除

どーくっち……………遊び合う

どーさねー……………わけはない

どーすりゃいいんな……………どうする

どーせくわん……………食わないん

どーちーてん……………どちらに付く

とりことりよめ…双方養子養女

とりむこ……………養子縁組み

とりあげばあさん……………産婆

とりそこなう……………拾うに失敗

とれんじゃった……………取れなかった

とれこさく……………小作米の格納

とわず……………冗談を

どんなこつ……………失敗ばかり

とんじ……………飛んで

どんな……………不器用

どーも……………どうしても

どんこん……………どうにも

どーくる……………戯れる

どんなやつ……………始末が悪い

どんじり……………最終で

どんく……………ドンコ

どんだんおとし……………排水落とし

とんつく……………つかまえる

どんびゃくしょう……………農家

どーこー……………いろいろ

どーくらんじ……………冗談はおく

どーしゅうかち……………どうしようか

どーなるんか……………あなた任せ

どーにか……………何とか

どーねりゃ……………どんなに寝る

どーみてん……………どんなに見ても



『方言集…前編』ぬ平成7年に発行した時にゃ 17んジャンルに分類しちゃった。そりゃ野津原町ん先人が生活用語としち 長い間使いよったもんじ 約2500語ん中にゃ昔ん 肥後領 岡領 そしち天領ん言葉があった。それかる こん続編№5まじの10冊にゃ 素人ばかりん調査員が 余暇に調査 収拾 編集 そしち印刷 製本まじ みな手作り。じゃが多くの人たちん支援じ 無事予定ん『方言集…続編№5』まじ 辿り着く事が出来ました。

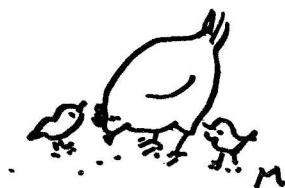
方言単語5200語…にゃ前編のごたるジャンルは外しち 方言アイウエオ順に並べち解りやすうしました。12年間の集大成ち言うか 『表紙ん色が違うき並べち』 そげな嬉しい手紙ももらいました。見出しん順番に二桁を辿ると すぐ解りますから便利がいいかんしれません。

方言は野津原に生まれ育った物と言うより 野津原んしが使いよった生活用語と 言うんが正しいかん知れません。じゃき京 大阪 江戸 肥後 それかるはかん国ん言葉もあるけど 交通によっち持ちこんだ ついち来た方言もあるのじゃろう。京で聞く 大阪で話していた 熊本でん通用した事もあります。

素人集団が12年間取り組んだ 『野津原方言調査』 これかる方言研究やら この種ん勉強さるる人たちん 参考にでんなりゃ方言調査した者ん冥利につきます。支援して下さった皆様 会社ご愛読頂いた方々に 深甚なる敬意を表します。この記録が将来に役立つとすれば この上ない幸せです。

編集者一同

な でしょう
 な なっぱ
 なあ ですね
 なあえ ですね
 ないちゃらん 泣いてあげない
 ないしょごと 人に言わないで
 ないない ありません
 ないちょけ 泣いていなさい
 なう 藁を寄りあわせ
 なえはんさく 植えた途端
 なえしろ 苗代
 なえたか 不自由になったか
 苗がながれた 苗がなくなる
 なおらい うちあげ反省会
 なおらん なおらない
 なおしちゃらん 直してあげぬ
 なおつけな なっぱを漬けよ
 ながめちよれ じっと見ちよれ
 なかつかや 泣かせますか
 なかめし ぼたもち
 なかさんき 泣かせない
 ながせ 梅雨
 なきはらす 涙枯れるも
 なきはてん これ以上泣くも
 なきべそ すぐ泣く人
 なかしゅうか 泣かせようか
 なか 麦の手入れ
 なくがいい 思い切り泣く
 なげそこなう 投げる失敗
 なげだす 前に出す
 なげたに 流したのに



ないない 幼児のあやし
 ないそで 身分不相応
 なう より合わせる
 なうほんづつ なうほどに
 半分出来たようなもの。
 なえたえ 不自由になる
 なえうしない 枯れて苗なく
 なおった よくなった
 なおらん なおらない
 なおこす 一層に
 なおんこつ なおさら
 なかれん 泣かれない
 なかする 泣かせる
 なかめし おはぎ
 なかぬり 壁の中塗
 なかだち 媒酌人
 なきねいり 泣き泣き眠る
 なきのなみだ 悲憤の涙
 なきしょぼくる 泣き疲れに
 なきそこなう 泣く機会失う
 なかまはずし みそわけ
 なくそべ 泣く側に
 なげまわす 乱暴に投げる
 なげだす あきらめる
 なげたに 投げたのに
 なげよせん 投げる暇がない

な なげーこたーね……長くはない
なげーもん……要領よく
なご……すみこみの作男
なごーなる……横になる
なごーなっち……横になって
なさけねー……無念で
なさんなか……好き合った仲
なしかえ……なです
なしえ……なです
なんでん……何でも
なしか……なです
なずる……なでる
なすび……なす
なする……すりつける
なぜる……なでる
などんごたる……謎みたい
なたくび……曲がった首
なちる……いしめる
なっちゃんなー……なあってあげよ
なつちよる……実がついている
なあってんいい……なってもよい
なっちょけ……なりなさい
なったん……実がついたよう
なっただ……なりました
なっただ……なっちようです
なでてんいい……撫でてでもいいよ
などばなし……口説く
ななまがり……つづらおれ
なに……どうした
なにしょんの……なにしている
なにするんな……なにしますか

なげきなー……悲しむがいい
なげーた……流した
なごーなる……長くなる
なごーなっち……長くなって
なこひきしゃく……無理に離す
なごでん……作男でも
なし……なで
なしでん……それでも
なじゅー……上手を
なんもな……何でもな
なしいいの……なでいいのです
なぜまわす……構わずなでる
なすびんはな……無駄がない
なすびん……なすびの
なぜそこなう……なでるの失敗
なぞばな……珍しい花
なたーあちー……夏は暑い
なだめちゃん……なだめてあげる
なつちよる……実っている
なっちょらん……実がついていない
なつちゃらん……なあってあげない
なったん……なりました
なったん……なったらしい
なっただ……実がついたから
なでまわす……愛撫する
なでかえ……どうしてですか
などばなし……民話を話す
なにゅー……何を
なにわぶしかたり……浪曲師
なにえ……なんですか
なんでんいいで……何でもよいよ

な なにかしらん……何かわからぬ
なのじゃわー……それだから
なばみつけ……茸見つける
なびかんで……気持ち移さん
なびせきよる…なびかせている
なまかた………大体
なまかた………ほどほど
なましい………死後間ない
なまにえた………半煮えに
なまなましい……みずみずしい
なみどながす………涙を流す
なめらるる………馬鹿にされ
なめくりまわす…ひどくなめる
なめたえ………なめたのですか
なめやがった………なめられて
なや………小さな農事小屋
なやばしご………小屋の梯子
ならさるる………慣れっこに
ならし………慣らされ
ならかす………慣らしてしまう
なりたがる………希望する
なり………みのり
なりそこなう………希望に失敗
なりくび………ついていた部分
なあがり………実って終り
なりよった………実っていた
なりさがる………身分が下降
なりふりかまわぬ…身の程無知
なりふりかまわず…気にしない
なるや………望み叶う
なわこすり………縄の仕上げ

なのえ…………そうですか
なばとり………茸がり
なばむしり………してたけ収穫
なびいちょる………こちらに動く
なふたりん………樟脳
なまかた………あらまし
なましい………新しい
なまごろし………半殺し
なまなましい………真新しい
なまだがたり………悲話
なむまいだー………お経
なめそこなう………なめるの失敗
なめられちょる…なめられてる
なめちょけ………なめなさい
なや………農具小屋
なやんすみ………小屋の隅
なよなよしよ………弱々しい
ならし………平らに
ならかす………実をつける
なりめー………なるまい
なり………格好
なりたがらん………なるの嫌う
なりくび………取り口
なりな一え………にりなさいよ
なりよる………実っている
なりさがる………実ってさがる
なりばな………一杯実る旬
なりふりかまわず………無精者
なるや………実っていますか
なわおび………縄で帯のかわり
なわすり………縄の仕上げ

な	なわうち……縄を練り合わせる	なわひも………縄で作った紐
	なわつり……縄を釣り仕上げる	なわむすび……縄で結び合わせる
	なんとんしれん………つまらぬ	なんこむ………投げこむ
	なんとんしれん………仕方もない	なんぼなんでん……いくら何でも
	なんしかえ………何の用事です	なんかかゝる………寄り添い甘え
	なんかしらん………どうか	なんでんかんでん……なにでも
	なんさま………とにかく	なんさま………何と言うか
	なんさま………何分にも	なんもねー………何もない
	なんにもねー………関わりない	なんぼ………いくら
	なんぼか………いくらか	なんぼか………少しは
	なんのーち………ないと言うが	なんな………なんです
	なんな………悪いかえ	なんなえ………なりなさい
	なんじゃけん………ですから	なんじゃろー………そうでしょう
	なんじゃろー………あれでしょう	なんべんでん………何回でも
	なんべんしてん………何回しても	なんくせ………へんな理屈
	なんくーだ………投げこんだ	なんちゃ………何でもすぐ
	なんと………こんなと	なんにでん………何にでも
	なんの………いいえ	なんもしらん………全く知らぬ
	なんやかんや………いろいろ	なーちや………どげーな

に あいみゅうと……似合いの夫婦
 に いった………眠った
 に いりばな………寝始め
 に えくーだ………のめりこんだ
 に えん………煮えない
 に えんで………煮えないよ
 に えたで………煮えました
 に おび………荷物担ぎの帯
 に おーちよる………似合っている
 に がむし………仏頂面
 に がおれた………一安心



に えそこなう………煮るの失敗
 に えちよる………煮えている
 に おかやす………片方が重い
 に がうり………苦愚痴言い
 に がおれた………区切りがつく
 に がかりー………軽い荷物

に ながぐち……………嫌な言葉
にぎりこむ……………握って離さない
にぎれ……………握りなさい
にぎりしこ……………握れる程
にぎりもうさん……………握れぬ程
にぎにぎ……………幼児の握り手
にくぶろ……………性交
にげよせん……………逃げそこなう
にげそこなう……………逃げの失敗
にげじょうず……………逃げるのが旨い
にこんじ……………煮込んで
にごっちょる……………濁っている
にぎまし……………煮てさました物
にしむくさむらい……………30日月

の意味で246811月。

にじがたつ……………虹がかかる
にずな……………荷積みの綱
にせもん……………にせ物
にたもんふーふ……………合似夫婦
にたった……………煮たぎり始め
にちょらん……………似ていない
にちゃんな……………煮てあげてよ
にちょるもん……………似ているから
にどとくん……………二回と来るな
にならし……………荷積みに慣らす
にびーのー……………察しが悪い
にびー……………のろま
にびーやつ……………落ち着いてる
にもん……………煮た物
にやすけ……………うすきみ悪い
にゅーとー……………温泉に行く

にぎりこむ……………よくばり
にぎりきんたま……………よくばり
にぎらんか……………握りなさい
にぎわしい……………賑やか
にぎりぶげん……………欲張り富豪
にぎりそこなう……………握るに失敗
にくしい……………憎らしい
にげんか……………逃げなさい
にげちょけ……………逃げていなさい
にげんじゅう……………逃げるが勝ち
にごらん……………濁らない
にざとー……………三温糖
にじくりべったり……………そこら汚し
てしまう程に塗る。

にしむき……………墓石を西に
にじくる……………物にぬりさがす
こすりつける。

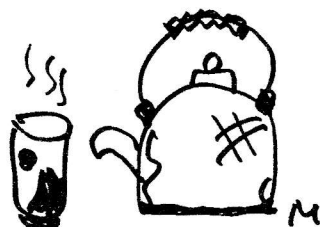
にそこなう……………煮るのに失敗
にたらん……………煮るのに不足
にたつる……………煮えたぎらせ
にちょるで……………似ていますよ
にちゃつてんいい……………煮てあげる
にっけー……………樹木の名前
じなしごろ……………やくたたず者
にのあんべー……………荷の割り振り
にびー……………感が悪い
にびーやつ……………ゆっくり者
にぶくれ……………煮えて大きく
にやすけ……………キャシャ者
にゅーとー……………楽な仕事
にゅーむ……………アルミ

に	にらみかやす…………睨みつける	にらまる…………睨まれてる
	にりすぎた…………煮り過ぎた	にりて…………煮たい
	にりて…………似たい	にりそこなう…………煮るに失敗
	にるで…………煮ますよ	にるけん…………煮ますから
	にれんじゃつた…………煮れなかった	にれた…………煮えました
	にれんかしれん…………煮れないかも	にろーじょ…………睨んでいる
	にわる…………煮て割る	にわり…………煮て割る

荒麦の煮割りなど。

にわんと…………庭の入り口戸	にわ…………庭、土間
にわりもん…………半端物	にわりもん…………傷物
にわんさき…………庭先	にわんはな…………庭端
にんしきもん…………頭のよい人	にんしきもん…………理解が早い
にーらん…………眠らない	にーる…………眠る
にーやん…………兄	にーちゃん…………兄さん

ぬ ぬいかけ…………裁縫途中
 ぬいそこなう…………裁縫の失敗
 ぬいだ…………脱ぎました
 ぬいぐち…………縫い始め場所
 ぬいじょけ…………脱ぎなさい
 ぬいあげ…………少しあげる
 ぬうけん…………縫うから
 ぬえや…………ぬいなさい
 ぬおーな…………ぬいましょう
 ぬかだんご…………粉糠だんご
 ぬき…………柱と柱をつなぐ
 ぬぎほたる…………脱いで捨て
 ぬくかりゃ…………暖かいなら
 ぬくみち…………暖めて
 ぬくるで…………抜けますよ
 ぬけた…………取れた



ぬうちゃらん…………縫ってあげない
 ぬえ…………縫いなさい
 ぬおーか…………縫いましょうか
 ぬかぞうきん…………糠の入った
 ぬき…………トンネル
 ぬきー…………暖かな
 ぬぎよせん…………脱ぐ暇がない
 ぬくもる…………暖まる
 ぬくもった…………暖かくなる
 ぬけちょる…………抜けている
 ぬけた…………抜け外れた

ぬ	ぬけそこなう……抜けるに失敗	ぬけもん………抜けた者
ぬ	ぬけすけ………物足りぬ	ぬこー………抜きます
ぬ	ぬし………主な人	ぬし………お前は
ぬ	ぬし………内の旦那	ぬしと………泥棒
ぬ	ぬしゃ………お前は	ぬしがわりゃ………お前がなんと
ぬ	ぬじくった………塗りつけた	ぬしがん………お前のか
ぬ	ぬすみぐい………内緒で食う	ぬすみぐい………他人の妊娠
ぬ	ぬすめ………泥棒せよ	ぬすみよった………盗んでいた
ぬ	ぬたくる………塗りまくる	ぬっとでちきた………急に出てくる
ぬ	ぬひと………泥棒	ぬまだ………湿田
ぬ	ぬらりくらり………取り留めない	ぬらりくらり………掴み所がない
ぬ	ぬりおわる………塗ってしまう	ぬりそこなう………塗るに失敗
ぬ	ぬりすぎた………多く塗る	ぬりたらん………塗に不足が
ぬ	ぬりべた………下手な塗方	ぬりくりまわす………乱暴な塗方
ぬ	ぬりくりまわす………粗雑な塗方	ぬりくりべったり………あらまし塗
ぬ	ぬりー………おそい	ぬりー………ぬるま湯
ぬ	ぬりあくへる………塗終わる	ぬれおなご………瑞々しい女
ぬ	ぬれや………塗りなさい	ぬれしょぼくる………濡れて哀れ
ぬ	ぬるまゆ………温度の低い湯	ぬるーしちよけ………温度を低く
ぬ	ぬーじよる………飲んでいる	ぬーじ………飲んで
ぬ	ぬーちみよ………縫うて見なさい	ぬーちゃらん………縫ってあげない
ぬ	ぬんめら………のっぺら	ぬーままじゃ………縫う通りに

ね ねーわな………ないですよ
 ね おあげた………まいった
 ね おあげた………疲労した
 ね おあげた………値上げた
 ね おさげた………値下げを
 ね おさげた………価値がさがる
 ね がいい………大元ひとよし
 ね こ………一輪車



ね がいい………値段がよい
 ね き………そば
 ね こんあし………足高膳

ね ねこんじょる……寝ついている
ねこかぶり……ずる賢い性格
ねじまわし……ドライバー
ねせる……寝せつけ
ねせちょけ……寝せておけ
ねせたなかめー……寝てる間に
ねたきー……眠ったから
ねたごたる……寝たよう
ねづる……曲げる
ねづかん……ありつかん
ねづけ……植えつけ
ねつかれん……眠れない
ねっとり……ねばりっこ
ねてーな……眠たいな
ねとられた……人に取りられる
ねとぎ……夜の寝友
ねにもっちゃる……根性が悪い
ねぶられた……なめられた
ねぶる……なめる
ねべー……陰湿な性格
ねむたがる……眠りこける
ねめー……寝間に
ねむれん……眠れない
ねもしらん……値段も無知
ねむりこ……ネムの木
ねらんじまつ……寝ずに待つ
ねわきじゃに……寝たばかりに
ねりそこなう……練りを失敗
ねろーじょる……狙っている
ねーで……ないですよ
ねーかんしれん……無いかもね

ねこかぶり……見かけ倒し
こねござうち……昼寝
ねじはちまき……頭に鉢巻き
ねせる……横にして
ねせためー……寝せた間に
ねする……寝らせる
ねた……眠った
ねちーた……寝ついた
ねっちすりがう……右ちを左と言
う変わり者、偏屈者。
ねづかん……枯れてしまう
ねっとり……ねばねば性格
ねづんばん……夜明かしに
ねとぼくる……目がさめぬ
ねとられた……妻に不倫が
ねなしごろ……悪友たち
ねにもならん……商売にならん
ねばな……眠りしな
ねべー……ねばりこい
ねま……寝室
ねむたかりゃー……眠たいなら
ねめーへーる……寝間に入る
ねむられん……眠られない
ねらむ……睨む
ねらみつくる……ひどく睨む
ねらくれちょる……寝迷いする
ねりそこなう……寝る機会失う
ねりあげ……練りの仕上げ
ねろーじょる……睨んでいる
ねーどよい……無いから
ねんじゅー……いつも

ね ねんきがいつちよる……経験者
 ねえやん……姉さん
 ねんぶち……竹の根
 ねーならけーち……無くす

ねんしゃ……念入りにする
 ねんねこ……子守格好着
 ねんからねんじゅう……いつも
 ねーかえ……ないかえ

の のいちよけ……のきなさい
 のうじ……なくて
 のうなった……無くなった
 のうなった……亡くなった
 のかしい……のけなさい
 のこばねー……軒の端に
 のいちゃらん……のいてあげない
 のうならけーち……なくして
 のきー……のけなさい
 のこのめ……鋸の齒
 のこりもん……残りの物
 のこっちょけ……残りなさい
 のこしそこなう……残すに失敗
 のく……はずす
 のくしも……のく人も
 のけちょけ……のけなさい
 のけもの……つまはずし
 のさる……巡り合わせ
 のさんな……休んだら
 のさばる……威張る
 のさりゅーごたる……追い越され
 のさんか……追い越せ
 のしろののこ……遅れ寒言葉
 のしろた……苗代田
 のしかかられた……無理じいする
 のじーちみよ……覗いて見よ



のきんはた……軒先の
 のうでん……なくても
 のかせん……のけさせない
 のこぎん……野良着
 のこがま……鋸形の鎌
 のこぎ……田んぼでこぐ
 のこされた……帰らせない
 のく……外に行く
 のく……その場を動く
 のけそこなう……のけるのに失敗
 のけもん……疎外する
 のけたがる……のけてしまう
 のさんこっちゃ……のさなければ
 のさばる……馬力だす
 のさっちょる……運命
 のされた……追い越された
 のしろふみ……苗代準備
 のしかかる……上から押す
 のしかかる……無理に覆いかかる
 のじーたか……覗いたか
 のすかんしれん……追い抜くかも

の	のすど……………乗せますよ	のす……………追い越す
	のずー……………喉を	のしるふむ……………苗代作る
	のせ……………追い抜け	のせらるる……………つい調子に
	のせなあ……………乗せてね	のせてんいいで…乗せてもよい
	のせそこなう……………乗せるに失敗	のせんか……………乗せなさい
	のせちょけ……………乗せてあげよ	のそー……………追い抜きせよ
	のぞいちょけ……………覗いてみよ	のぞいちょけ……………のけておけ
	のぞいちみよ…覗いてみなさい	のたり……………ゆっくり
	のちかか……………あとより	のちかか……………後妻
	のちんかきー……………後ん間に	のちんぶん……………後の分
	のっかかる……………覆いかかる	のっかかる……………乗りかかる
	のどか ³ ね……………喉から	のどかかわくわい……………喉が乾く
	のーなると……………無くなるよ	のーなった……………無くなった
	のーなった……………亡くなった	のにいく……………それなのに
	のねら……………のねずみ	ののこ……………厚手の半纏
	のばなし……………手放し	のばなし……………自由奔放
	のばしそこなう……………伸ばす失敗	のばしちょけ……………伸ばしなさい
	のばしちょけ……………延ばすに失敗	のばすんか……………延ばすのかえ
	のぶちー……………大胆	のべし……………苗取り束ね藁
	のぼられん……………登られない	のぼりそこなう……………登りの失敗
	のぼっちゃう……………登ってあげる	のぼせあがる…のぼせてしまう
	のぼせあぐる……………のぼせる	のぼせちょる……………のぼせ気抜け
	のぼする……………のぼせて	のぼぼ……………野原の情事
	のみとりんこ……………ノミ取り粉	のむきー……………飲みますから
	のむわな……………のみますから	のむけんど……………飲むけど
	のめ……………飲みなさい	のめらん……………飲みたくない
	のめれん……………飲められない	のめるる……………飲めれます
	のめんき……………飲めないから	のもーや……………飲みましょう
	のや……………でしょう、ほら、	じゃろう、そう思う、いいか。
	のよこい……………野で休憩	のらかたげ……………野良から担いで
	のらぎん……………野良着物	のりそこなう……………乗るのに失敗

のりなあ……………乗ってください	のりかえ……………相手を変える
のりすて……………相手と別れる	のりまわす……………自由に使う
のりうま……………好きな男	のろしば……………のろし台
のれ……………乗りなさい	のろま……………のんびり
のろま……………気が効かない	のろけんばなし……………色話し
のろけんばなし……………自惚れ話	のんきぼーず……………気さく人
のんきぼーず……………屈託ない	のんたくれ……………酒飲み醜態
のんじ……………飲んで	のんぼり……………上の方に
のーならかす……………なくして	のーならかす……………失う
のーたりん……………知能が低い	のーなった……………なくして
のーなった……………失う	のーじい……………なくなつて
のんぼりばな……………上向き鼻	のんだ……………延びた
のーならけーち……………なくして	のーえ……………でしょう
のーかこよみ……………農業用暦	のーすら……………嘘ばなし
のーこーしぞく……………江戸期差別	のーそんきょうげん……………村芝居
のーさくさみ……………豊作貧乏	のーたん……………頭



『方言難解50語』……………一般単語方言

- ★ あじろしい……………立派な あたで……………急に
 いてつくばる……………返事に困る うじけた……………こわれた
 うむす…高湿度、むしむしする うしみ……………嫁さがし、嫁ご見
 おどろくせ……………くさい、体臭 おんごおんご…精一杯燃える炎
 おこる……………牛馬の発情 おきの……………起きたばかり
 からくじい……………手をかせ かさぎ……………茸原木にける枝木
 くびる……………束ねる ごーらいた……………汚い犬
 こんげん……………この上無い しれっと……………冷ややかな
 すんだれた……………感じの悪い格好 それぎん……………それでも
 だまし……………咄嗟に、急に なかすかや……………泣かせますか
 なんかかゝる……………側に寄り添う ねっちすりがう……………右ちや左と
 はわく……………掃除する、掃く ひこずり……………はまの低い下駄
 へもどる……………元の場所に戻る ほえた……………勃起した
 ほけ……………湯気が まどえ……………弁償せよ、払え
 やらと……………ちっとも、少しも わや……………駄目、失敗だ

★ 食品

あまじる……………ぜんざい
 きらす……………おから
 つきあげ……………天ぷら
 とっばい……………と一ふ
 なかめしぐるりあん……………おはぎ

健康

すいばり……………異物がささる
 たごけーた……………捻挫する
 にいった……………眠った
 ゆさんご……………ぶらんこ
 よろけ……………病身

★ 生活

おとし……………ぼけっと
 おーこ……………竹製物を差運ぶ棒
 ちきり……………はかり
 のこぎん……………野良着
 ほや……………電球

花

こちょこちょのき…さるすべり
 しびとぐさ……………どくたみ
 てまりこ……………あじさい
 とびしゃく……………ほーせんか
 ねむりこ……………ねむ



特に難解なもん50語を集めました。でん知っちよるのん聞いたことんある 方言もあったじゃろう。一つ一つに温かな心がこもってんおるごたる。のん嬉しいもんです。

★ ねっちすれがう…練るなゝ物と物を練りあわする。すれがうた一列車が上り下りにすれ違う そんな二つが結びち一た方言じ 練る事じ意見が出るけんど 食い違ふきまとまらん。それも反対ん反対もあるかんしれん。あんしにゃ何でん反対ち言う 豊後ん赤猫根性も潜在するんか。やりあう意見の続出は ある意味じゃいいんかん知れん。

★ なかめしぐるりあん…そんなまん呼び方じゃが 餡がつくとぼたもち《春》 おはぎ《秋》 ち感触するしもある。季節と組合せち情緒もある 方言の中にゃこげなほのぼのしちよる 言葉ん使い回しが心憎い。寒い時ん朝歯に染むごたるぬコソット食う。これがまた何んかにんうめ一き。

★ おこる ほえた…怒る 叱るのごたる興奮する場面じ 特に牛ん場合は叫び食欲もの一なる。そんな時にゃ種付け所じ種付けすると ありゃすーと治まる。馬は春先に『回り駒』が来るけんど 牛はそげな格好じ種付けする。※…現在は人工受精の方法が取られちよる。

ほえた…犬が泣くこつー『ほゆる』とん言うが こんな場合んほえたな一人間の それも男ん勃起ん事。想像しちみてんそんな勇姿は 猛り狂うごつぴたりん方言。そのまま挿入すりゃ相手も 身悶えしちずり上がるんじゃねえ。

★ てまりこ…朝露い濡れちちょいとあたると ゆらゆらち揺れち 手まりんごたる風情が こげん呼び名になったんかん。梅雨時んいじらしい花にゃ ほんのり色気もち一た ええらしい娘ん姿が浮き彫りさるる。



は ばあ……………見えたよ
はいあく……………灰汁、あく汁
はいよせ……………火事のあと整理
はいうち……………蠅叩き
はえーはなしが……………手短に
はいたがる……………情事の欲望
はえだち……………生えて間なく
はえたで……………生えました
はえそこねた……………生えてない
はおとぐ……………手ぐすね
はおとぐ……………隙を狙う
はがいい……………くやしい
ばかしょうじき……………正直すぎ
はがきるる……………賢明人格
はえーがとりえ……………素早い人
はかどる……………能率よい
はきもん……………履物
はきそこなう……………履き違う
はくけん……………履きます
はげらしい……………悔しい
ばこーいったもん……………馬鹿事を
ばこみるど……………大変な目に
ばさー……………どさっと
ばさっと……………すっきり
はじかいー……………いた痒い
はじきわな……………弾く仕掛け罠
はじきとばす……………弾いて飛ばす
はじけた……………割れて分割
はずみ……………咄嗟に
はずみくるま……………旨く組む車
はじん……………恥じない

ばあさん……………老婆、祖母
はいや……………きゅう肥積み立て場
はいよる……………這い寄って
はうごつなる……………這うように
はいたがる……………這う欲望
はえたか……………生えましたか
はえ……………生える
はえそこなう……………生えるに失敗
はおくじる……………歯を楊枝で
はおとぐ……………待ち構え
はかま……………稲麦の鞘葉
ばかしょうじき……………律儀者
はがきるる……………切れ味よい
はがうずく……………歯痛
ばかどう……………期待はずれ
ばからしい……………損をする
はきちごーた……………履き誤る
ばくー……………馬鹿を
ばけちよる……………化けている
はげちよる……………はげている
ばこいうな……………馬鹿事言うな
ばされー……………沢山な、多くて
ばさっと……………多くの物を
ばさばさ……………乱雑に
はじけ……………割れて
はしごだん……………梯子の階段
はじきてっぼう……………弾き利用鉄砲
はじめち……………はじめて
はずみ……………丁度の時に
はじめんうちゃー……………始めの間
はじめそこなう……………始めの失敗

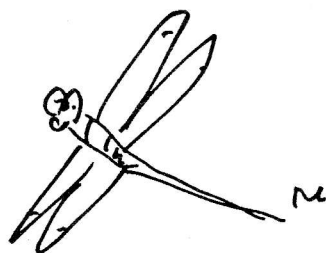
は	はぜくる……………はぜまわる	はぜちよる……………はぜている
	はぜんみ……………はぜの実	はぜくせ……………はぜる癖
	はたくる……………はたける	はたけた……………はたけました
	はだしんばら……………はだし	はだかんばら……………はだか
	はだくる……………疎外する	はたび……………生理中
	はたかりぐせ……………はたかる癖	はだけたがる……………疎外したい
	はだけちやる……………疎外する	はたくりまわす……………はたける
	はたけしこ……………広くはたけ	はたけをおこす……………整地する
	はちわるる……………割れて	ばちろく……………割れてしまう
	ばちくりかえる……………割れ分裂	はちくりおーち……………つかかり
	ばちゅーかぶる……………天罰に	はちりん……………七輪の上の隙間輪
	ばちーあわす……………痛めつける	ばちくりまわす……………叩きまわす
	ばちーあう……………ひどい目に	はっちょぎね……………上手な杵捌き
	はっぼーびじん……………四方向美人	はっけくしゅう……………あの手この手
	はつちぎり……………初めてもぐ	ぱっとせん……………鮮度がない
	はっちー……………物貰い	ぱくくん……………蛙
	はっぱ……………ダイナマイト	はつおろし……………初めて着
	はつおろし……………新車	ぱっちん……………子供の遊び具
	ばち……………天罰	はつやま……………初めての山仕事
	はつんよ……………初夜	はつあるき……………初里帰り
	ばっちょろ……………竹皮の雨笠	はつどまり……………嫁後の初泊
	はでこのみんし……………派手好み人	はでしゃ……………伊達者
	はなしがい……………放牧	はなしじょうず……………話芸達者
	はなたれ……………不格好	はなんうち……………始めのうちは
	はなくえ……………不格好	はなもち……………花形の小餅
	はなぐり……………牛の飼育具	はな……………祝儀
	はな……………前、端	はなんと……………端っこ
	はなんす……………花の穴	ばなな……………男性性器
	はなをかむ……………鼻をとる	はねのばし……………気保養する
	はねこま……………元気娘	はねづくろい……………待機する
	はのーつもーじ……………鼻をつまむ	はのー……………鼻を

は はの一かむ……………鼻を掃除
ばばごしき……………老婆の集会
ばりき……………やる気、底力
はぶた……………口ごたえ
はぶとかやす……………聞き分けない
はまる……………入りこむ
はまる……………入ってしまう
はまらす……………仲間に入れる
はまらす……………組み込ませる
はまった……………旨く入った
はみおけ……………牛馬の餌桶
はめくーだ……………旨くはまった
はめちもらう……………入れてもらう
はめにゃ……………いれなければ
はめたがる……………入れたがる
はめたな……………入れたな
はやぐそ……………排便咄嗟
はやめし……………急いで食事
はやらん……………流行遅れ
はやぎぎ……………物知り
はよせんか……………早くしなさい
はよーだせ……………早く出して
はらへった……………空腹に
はらたてぶくろ……………短気者
ばらばら……………思い思い
はらひとつ……………腹一杯
はらがせく……………腹痛
はらわん……………支払いせぬ
ばら……………蚕飼育の農具
はらおび……………牛馬の農具帯
ばらせ……………解体する

はぁじょう……………母親
ばばちえ……………老人の博学
ばばいー……………まぶしい
はぶとかやす……………生意気言う
はいたたき……………蠅叩き
はまる……………落ち込む
はまらめ……………歯、性器、目
と順番に衰えるらしい。
はまりそこなう……………はめる失敗
はまらせた……………入らせた
はみゅー……………餌を
はめそこなう……………はまり損なう
はめちもらう……………性交して
はめた……………加えた、入れた
はめたがる……………したがる
はやみみ……………耳さとい
はやめし……………^い俄か飯
はやらん……………人気がない
はやいがとりえ……………即刻主義
はやりめ……………流行眼病
はよー……………早く
はらみ……………妊娠
はらぐりー……………根性が悪い
ばらばら……………分散
はらさぐり……………相手の心確認
はらあわせ……………共同作戦
はらうび……………牛馬の腹の帯
はらわん……………払いのけない
はらがしぼる……………痛みと差し込み
ばらせ……………台を外して長く
ばらす……………人に聞かせる

は	はりこむ……………頑張る	はりせんぼん……………約束事
	はりあげ……………散髪	はりそこなう……………張るのに失敗
	はりそこなう……………貼るのに失敗	はりあう……………対抗意識
	はりあう……………取り合う	はりむくる……………威張り威嚇
	はるた……………一毛田	ばるる……………判明して
	ばるる……………内緒が解って	ばるる……………車が落ちる
	ばるる……………牛馬が暴れ	はるたおこし……………一毛田鋤起こし
	ばる……………まる、放尿	はれもん……………腫れ物
	はれちよる……………腫れている	はれちよる……………晴れている
	はれんな……………腫れない	はれんな……………張れんかえ
	はれんな……………晴ないな	ばれちよる……………内緒が解る
	ばれちよる……………つつめけ	ばれた……………漏れてしまう
	はろーち……………払って	はろうちよけ……………払っておくれ
	はろっちゃらん……………払わない	はろうた……………払った
	はわする……………はいはいする	はわん……………はわない
	はわんか……………はいなさい	はわく……………掃除、掃く
	はんど……………水瓶、焼き物	はんとり……………証拠台帳
	はんしょう……………火の見鐘	ばんじょがね……………大工金尺
	はんよろけ……………半病人	はんぎり……………牛馬の餌切桶
	はんぺら……………半分、片側	半病人……………病身の人
	はんさく……………半分できた	はんさく……………田植えが終わる

ひ ひあい……………利息
ひやい……………利息
ひいちかいる……………引いて帰る
ひいちゃる……………引いてあげる
ひいろ……………蛾
ひえとり……………田の草取り
ひおこし……………火起こし用具
ひ……………灯
ひおこしすぐる……………火が起り過ぎ



ひおとぼす……………灯りりつける
ひおつくる……………火をつける
ひおかせ……………火を貸して
ひかり……………出し合い楽しみ

ひ	ひがかげる……西に傾き影が	ひがんばんな……万寿抄華
	ひがな……一日中	ひきしゃく……無理に裂く
	ひきずりこむ……引張込む	ひきもどす……元に戻す
	ひきあぐる……引っ張りあげ	ひきさがす……散らかす
	ひきむすぶ…すぐほどける結び	ひきおとす……引張り落とす
	ひきのべ……引き延ばす	ひきのべ…麵の平らに延ばした ものでダンゴ汁などに。
	ひつつく……まとわる	ひきたくる……引き取る
	ひきたくる……引き寄せる	ひきむしる……取り除ける
	ひきむしる……引き取る	びくに……尼さん
	ひくにひけん……切羽つまる	ひぐすり……毎日の
	ひっくり……しゃつくり	ひけん……引くことが出来ぬ
	ひけん……とれない	ひけ……引っ張れ
	ひけ……ひきなさい	ひけ……引き抜く
	ひけたか……引き抜けたか	ひけちよる……引いている
	ひけちよる……引けている	ひこずる……引きずる
	ひこずる……音たて引く	ひこずり……はまの [↑] 短い下駄
	ひこじり……ひこずって	ひこじる……引きずり
	ひこじるめー……ひきじらない	ひこじるか……ひこじりますか
	ひくじり……ひこじり	ひざぼうず……ひざ頭
	ひさしかしち……底貸し物失う	ひさしいのー……久しぶりな
	ひざうくずす……あぐら	ひじーめに……辛いことに
	ひさかたぶり……久しぶり	ひじいばち……ひどい目に
	ひじー……きつい、辛い	ひしゃぐ……押し潰す
	ひしゃぐ……つぶして	ひずかるう……苦勞だらう
	ひずかる……辛いでしょう	ひずかった……苦勞した
	ひずかった……大変だった	ひぜにとり……日雇い
	ひぜん……皮膚病	ひせせり……火をかきまわす
	ひせせり……火を当たり回す	ひどっち……後下がり
	ひどっち……さがって	ひだりききんし……左きき
	ひそあるき……静かに歩く	ひだりー……空腹、食欲
	ひだちん……その日の賃金	

ひ　ひだりまき……………まともでない	ひだたごかす…髪を筋違いする
ひちむつかしい……………大変難しい	ひちむつかしい……………変わり者
ひち……………人に	ひちねべ……………根性が悪い
ひちあわん……………大きな損を	びって……………構わない者
ひったくる……………無理に奪う	ひっかくる……………引きかける
ひっかくる……………相手を意のまま	ひっかくる……………計画にはめる
ひっかくる……………探りはめる	ひっかけた……………調子に乗せ
びったれ……………無精者	びっしょり……………濡れしょぼ
びっしょり……………恋仲の二人	びっしょぬれ……………ずぶ濡れ
ひっかけそこなう…引っかけ失敗	びっておなご……………無精女
ひっかくる……………引きかける	ひっかるうち……………かるう動作
びっしゃぐ……………潰して	ひっぱりそこなう…引くに失敗
ひっかきまわす…無茶かき回す	ひつーぬぐ……………人を追い越す
びっちょ……………うどん、ソーメン、だんご汁などの麺。	
ひどね……………苦労ない	ひどね……………疲れないか
ひどね……………無理ではない	ひどね……………高値でない
ひどね……………病気大丈夫	ひどーくむ……………あぐら
ひとまわし……………一回回す	ひとかたうつ……………一休みする
ひどかろう……………ご苦労さま	ひどかろう……………疲れたろう
ひとむかし……………一昔は	ひどる……………後に下がる
ひとりごつ……………一人ごと	ひとなめ……………一回なめてみる
ひとりぼっち……………ひとりきり	ひとむしゅう……………人に甘える
ひとむし……………甘えたがる人	ひとぎ……………新築のもちまき
ひながいちんち……………一日中	ひなたん……………ひなたの
ひにん……………物貰い、差別用語で江戸期に分類していた。	
ひにちぐすり……………毎日気ままに	ひにみーちよる……………日に向いて
ひねくれ……………風変わり者	ひねもん……………半端物
ひねもん……………売れ残り	ひねる……………つねる
ひねちよる……………変わっている	ひねっち……………つねって
ひねりつぶす……………つねり痛め	ひのこ……………火の粉
ひのあし……………自転車の釣り金	ひのなげ……………日長に

ひ　ひのみじけー……………陽が短い	ひのみやぐら……………火事の見張台
ひのつじ……………昼の合間	ひびょういん……………隔離非難の病院
びびこ……………肩車	びびんこ……………肩車
びびく……………緊張する	ひびぎれ……………寒さに荒れる傷
ひぶせ……………火から守る	ひぶくろ……………火傷
ひぶり……………かがり火漁法	ひぼ……………紐
ひぼね……………痩せ姿	ひぼむすび……………すぐ解ける結び
ひまつぶし……………退屈しのぎ	ひまじん……………仕事のない人
ひみず……………恥ずかし者	ひみんづら……………恥づかし顔
ひむーたくぬる……………紐をたぐる	ひむーほどく……………紐を解く
ひめまえだれ……………娘似合い	ひもおとし……………帯を結ぶ頃に
ひもたぐり……………紐を引き寄せる	ひもじい……………空腹
ひもかげる……………日が傾く	ひもちがいい……………長持ちする
ひもなげー……………日が長く	ひやき……………焼いた粉餅
ひやけた……………水不足の田	びやんつー……………山芋の首部
びやはなむぎ……………麦のよい年	ひやけ……………黒くなる、日に焼ける
ひゆー……………賃金	ひゆーとり…………… [↑] 雇い仕事
ひゆーげちよる……………滑稽な	ひゅーがさんにゅー……………すろー
ひゅーすら……………上ん空気質	ひゆーげもん……………滑稽な人
ひょーぐる……………冗談まじり	ひょーしゃねー……………簡単に
ひよかっと……………思い出し	ひよかっと……………急に
ひょーろくだま……………変わり者	ひょうたんばら……………セリ出した腹
ひょーろ……………食料	びょーきたんね……………病気見舞い
ひより……………天気	ひよけ……………瓦屋根
ひょーせん……………えぶ札	ひょんひょんぐり……………クヌギの実
ひょくっと……………急に	ひょくっと……………突然
ひらてー……………平ら	ひらてー……………ひらべったい
ひらくとー……………降参	ひらくと……………平謝り
ひらけた……………開かった	ひらけた……………ひろびろ
ひらけた……………あけている	びらびらつーじ……………懸命に飛ぶ
ひらくつなる……………負けて	ひらくつなる……………頭さげた

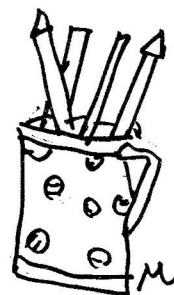
ひ びら……粉を練り平たく延ばす
ひりょうふっち……肥料撒く
ひりかぶる……酷い下痢を
ひりさげーち……放尿する
ひりさがす……放尿ちらし
ひりながす……放尿流す
ひろーちきた……拾って来た
ひろつく……物欲しがり
ひろげ……ひろげる
ひろぐる……ひろげる
びわんつー……山芋の頭首
ひわねーき……夕暮れに
びわおあやす……枇杷を取る
ひんのむ……急ぎ飲む
ひんどん……貧すればどん底
ひじきー……苦勞する
ひじきー……余裕がない
ひんむく……見張る
びんぼそだち……貧しい境遇
ぴんとくる……直感
ひんき……馬の発情
びーろん……硝子玉で子供遊び
ひんけ……馬の発情
ひんみーた……恥じかかせた
ひんにゅーする……昼寝する
ひんね……昼寝
ひーちょけ……引きなさい
ひんがいちにち……一日中
ひーち……引いて
ひーち……敷いて
ひーちょられん……引く暇がない

びらっと……ひらりと
ひりひり……痛痒い
ひりー……ひろい
ひりょうやる……追肥
ひりそこなう……放尿せずに
ひろいそこなう……拾うに失敗
ひろつく……貧食、浅ましい
ひろひろ……食い意地
ひろげまくる……一杯にひろげ
ひろがっちょる……開いている
ひわねーき……期日が迫る
ひわたり……厄よけ祈修
ひんにぎる……真剣に握る
ひんしゃ……貧しい家庭
ひじきー……ひどいから
ひじきー……辛い立場
ひじきー……疲れて
ひんむく……全部剥ぐ
ひんこつ……痩せ体格
ぴんとくる……よく伝わり
ひんなもんにゅーとう……貧者
が共同作業する時の気持。
ひんみーた……面当てした
ひんすりゃどん……貧者救えず
ひんねせんな……昼寝しなさい
ひーちゃらん……引いてあげない
ひっこぬぐ……引っぱり抜く
ひーちょる……引いている
ひーち……弾いて
ひーち……引っぱる
ひいちょられん……弾く暇がない

ふ ふあそう……………けぎらいする	ぶあいきょう……………冷ややかな
ふいつる……………捨てる	ぶいっと……………刹那け嫌い
ふうかぶり……………頬かぶり、	手拭いなどで頬を隠すよう包む
ふうがわりー……………機嫌が悪い	ぶう……………麦の殻
ぶえん……………生魚	ぶえんぬかおーか……………生魚買う
ふおたらけーち……………構わぬまま	ふう……………格好
ふうなく……………泣き姿	ふがいい……………いい按配に
ふがいい……………好都合	ふきあげ……………サイホン出口
ふきあげいもじ…風に靡く腰巻	ぶきっちょ……………不器用
ふくろで……………着物の中の手組	ぶく……………綿入れ子守着
ふくれっつら……………腹立て顔	ぶげんしゃ……………物持ちの家
ぶげんしゃ……………物持ちの人	ふごー……………不合格
ぶさいく……………気品がない	ふざくんな……………戯れるな
ふざくんな……………冗談言うな	ふしころ……………苦情言う
ふすぼっちよる……………煤けている	ふすぼらけーち……………煤けさせて
ふせ……………衣類の補修	ふせもんつくろい…衣服の補修
ふせもんとこ……………甘藷の芽出し	ふそくう……………不足をこぼす
ぶたがお……………大きな顔	ふたりずり……………二人連れ
ふたまたこーやく…あちこちに	ふたりこんぶ……………こつりあい
ぶちょーほー……………不躰で	ぶちょうほう……………至りません
ぶちょう……………板の折戸	ぶちまき……………腹立て撒き
ふつる……………捨てる	ふつもち……………ヨモギ餅
ぶったおれ……………急に倒れる	ぶつぶついう……………愚痴こぼし
ふてくされちよる……………いじけて	ふところで……………着物の中の手
ふところで……………着物の中で約束	ふとーな……………沢山な
ふとんぜんたく……………布団整備	ふとーろくせ……………沢山なこと
ふとーしこ……………沢山なこと	ふとろく……………いっぱい
ぶと……………小さな虫	ふとらく……………いっぱい
ふとーに……………たくさんに	ふなー……………それなら
ふにおてん……………納得せず	ふねー……………府内に。大分に
ふねーにいく……………府内行き	ふねじり……………女性の尻

ふ ふねみし……………性器見せて
 ふまんたらし……………不満に愚痴
 ふみそこなう……………履き損じ
 ふみはずす……………踏みそこなう
 ふみ……………足で押しつけ
 ふみきり……………苗代を区切る
 ふやくる……………水で増える
 ふやけ……………膨れる
 ふゆんなかま……………冬の間
 ふらつくな……………しっかりせよ
 ぶらさぐる……………吊し下げる
 ふりそこなう……………振るのに失敗
 ふりーわ……………古いです
 ふるい……………穀物の選別農具
 ふるる……………周知する
 ふりまら……………男性ノーパン
 ふり……………古い
 ふれる……………周知する
 ふろもらい……………風呂借り
 ふわっと……………静かに
 ふわりんこ……………おどけた姿
 ふんといえ……………本当ですか
 ぶーちゃん……………お風呂
 ふーくまする……………含ませる
 ふーおみよ……………いい気味
 ふーたん……………顔の表情
 ふーがいい……………いい按配
 ふーたぬりー……………本当に手ぬるい
 ふーみたか……………それ見たか
 ふーしれねー……………仕方もない
 ふーいい……………機嫌がよい

ふねこぎしよる……………居眠り
 ふみそこなう……………踏むのに失敗
 ふみたらん……………踏む不足
 ふみ……………履く
 ふみつぎ……………踏み台
 ふもーかのー……………踏みましょう
 ふやくる……………水で膨脹
 ふゆんしこー……………冬支度
 ふらふらすんな……………落ち着いて
 ふらふらすんな……………不安定な
 ふりまわす……………振って動かす
 ふりきん……………ノーパンツ
 ふりーいんな……………風呂に入りよ
 ふるる……………さわる
 ふるいのこ……………古い井戸
 ふり……………震い
 ふりー……………風呂に
 ふろたき……………風呂わかし
 ふろきちがい……………真剣風呂好き
 ふわっと……………自然に
 ふわふわする……………浮き浮き状態
 ふんな……………それならば
 ぶーちゃん……………水おくれ
 ふーおみよ……………見たかそう
 ふーたん……………頬



へ	へいきじゃーき…平気ですから	べえ……………嘔吐
	べえろ……………舌	へおたるる……………放屁
	へおぬかす……………突飛もない事を言う	へぎ……………木製の皿
	へくうけーた……………禪使用	へご……………竹を薄く剥ぐ
	へこかき……………禪使用	へごひき……………薄い竹材の調整
	へこたるる……………疲れる	へこたれ……………苦痛
	へこはずす……………禪を取る	へさんごつせにゃ…無くさない
	へさるる……………少なくされる	ようにせねば。
	へしおる……………手で折る	へしまぐる……………手で折曲げる
	へずる……………少なくする	へずる……………取り去る
	へしたごたる……………取ったよう	へしたごたる…少なくしたよう
	へせ……………少なくせよ	へずりそこなう…少なくするに
	へそまがり……………異国者	失敗。
	へそまがり……………偏屈者	へそちゃ……………おかしい話
	へたばる……………疲れてしまう	へたくそ…下手で話にならぬ
	へちらうな……………構うな	へちらうな……………相手にせぬ
	へちゃこら……………全く反対	へっちゃーら……………平気
	へってん……………少なくなっても	へっちょる……………少なくなってる
	へちくる……………あたりまわす	べったり……………側につく
	へっけもっけ……………冷汗の心配	べっぴん……………美人姿
	へっぴりごし……………腰砕け	へっちこっち……………あちこち
	べっとーり……………べっとりと	へにもならん……………役たたず
	へねくれ……………回り根性	へねくる……………当たり回す
	へねちよる……………目標が違う	へねちよる……………変わり者
	へねちょこ……………変わり者	へのつっぱり……………役に立たず
	へのもつー……………屁の材料食べ物	へひりむし……………放屁性格
	へびり……………腰不安定	べべ……………着物
	べべ……………牛の子	べべんこ……………肩車
	べべのこ……………子牛	へまへくれん……………とんでもない
	へまちょこ……………冗談ばかり	へもどる……………元に戻る
	へま……………失敗する	へもつくれん……………役に立たない

へ	へよ……………いいや	へよ……………反対
	へらすき……………減らします	へらうつ……………寝て昼寝
	へらしそこなう……………減らす失敗	へらへと……………呑気
	へらくりわらう……………せせら笑う	へらぼ一た……………はらぼう
	へらぼ一ち……………はらぼって	へりようがおいしい…減るが多量
	へりくつ……………理屈っぽい	へりくだる……………平身低頭
	へりよる……………減っている	へりゅーふむな……………縁を踏むな
	へるぬーみよ……………減るを見て	へぬる……………横にそれる、
	へるき……………減るから	へる……………少なくなる
	へる……………損する	へるもん……………減るのです
	へるもんじゃねー……………減らない	へれーじゃ……………減りますよ
	へんちょこ……………変わり者	へんちょこ……………異論者
	べんがら……………防腐紅塗	へろへろわくど……………カジカ蛙
	へんじがわりー……………腹立て	へんじがわりー……………気に食わぬ
	へんがかわる……………死に迫る	べんせんきした……………選別落ち米
	べんきょー……………値引き	へんちくりん……………風変わり
	へんじょこんご……………多言多様	べんとごーり……………行李弁当
	へーへー……………はいはい	へーちゃら……………平気
	べーべー……………子牛	べー……………嘔吐、戻す
	へーつくばる……………くたばる	へーこらしょ……………やっとの
	へーもねー……………簡単	へー……………感心
	へー……………あきれる	へー……………返事に困る
	へー……………知らなかった	へー……………吃驚する

ほ ほしいかる……………穴をあけて
 ほしいだで……………あけました
 ほしいじょけ……………開けておけ
 ほしいじょけ……………ほいでおけ
 ほしいだにー……………開けたのに
 ほしいたら……………そしたら
 ほしいちかる……………ですから



ほしいじ……………あけて
 ほしいならまた……………それなら又

ほ ほうかぶり…頬を手拭いで包む
ぼうずる……………痴呆に
ほうたん……………頬
ぼうど……………ぜんぜん
ほえる……………勃起
ほえた……………勃起した
ほえた……………犬が鳴く
ほえ……………勃起
ほえんに……………勃起しない
ほおべた……………頬っぺ
ほおがこけた……………瘦せた
ほかでんねー……………他にもない
ほかんしと……………他の人と
ほぎ……………穴をあける
ほぎそこなう……………穴開け失敗
ほぎまくる……………あちこちに穴
ほぐる……………角ではねあげ
ほぐ……………貫く
ぼくとう……………木製の刀
ほけ……………湯気、蒸気
ほけがたつど……………湯気が立つ
ほげ……………無茶言い
ほげちよる……………無茶勝手に
ほこるる……………ほころび
ほこれた……………ほころびた
ほさんか……………乾燥せよ
ほされん……………干されない
ほしがいった……………汚点ができ
ほしそこなう……………干す失敗
ほしいけんど……………欲しいが
ほしがる……………要求

ほほかぶりもち…粉で包む芋餅
ほうずり……………頬を寄せ合う
ぼうど……………少しも
ほうじゃ……………そうです
ほえそこなう……………勃起に失敗
ほえまくる……………犬が鳴き叫ぶ
ほえ……………犬が鳴く
ほえたか……………勃起したか
ほおたらかし……………構わない
ほおたん……………頬
ほかす……………捨てる
ほかかる……………よそから
ほき……………崖の端
ほぎー……………開けなさい
ほきんはな……………崖っぷち
ほぐらるる……………角ではねのけ
ほぐ……………穴をあけ
ぼくと……………木の切れ端
ぼくじゃ……………大変です
ほけぼっぱ……………蒸気が上がる
ほげ……………意地張り
ぼけちよる……………痴呆になる
ほげちよる……………無鉄砲に
ほご……………藁製の農具
ほさんか……………干しなさい
ほさんか……………ほさないか
ほしがいった……………染みが入る
ほしかげん……………干す技術
ほしたらん……………干すの不足
ほしい……………欲望が
ほしがる……………甘え、欲望

ほ はず……………ほど	はずみ……………俵の十文字縄かけ
ぼすぼす……………発動機	ぼやくる……………痴呆気味
ぼそ……………あれ山	ぼそくる……………荒れる模様
ぼそくる……………忘れっぽい	ほそみ……………痩せ型の身
ほそむる……………少なくする	ほそむる……………小さくする
ほそむる……………細くする	ほどける……………解ける
ほたる……………捨てる	ほたった……………捨てた
ほたりそこなう……………捨てる失敗	ほたらかし……………無関心
ほたらかし……………構わない	ほたちょけ……………捨てておけ
ほたりなぐる……………乱暴に投げる	ほたりだす……………投げ出す
ほだ……………シイタケ原木	ほたるかご……………螢入れ籠
ほたりまわす……………投げ回す	ほちかる……………そしてから
ほったてごや……………粗末な小屋	ほっち……………掘って
ほったらかし……………すておく	ほちょけ……………すておけ
ほちょけ……………構うな	ほちょいて……………構わないで
ほちょいて……………しらぬふり	ほてとし……………ややこしい
ほてとしい……………難儀な事	ほてる……………上気する
ほてる……………体が熱気味	ほてりまわす……………興奮する
ほどく……………解く	ほどきそこなう……………解くに失敗
ほどんたけ……………背の高さ	ほどくる……………解ける
ほどくれ……………背くらい	ほどくらべ……………背比べ
ほならな……………それならば	ほな……………それなら
ほなけ……………泣くがいい	ほなけ……………思い切り泣け
ほにち一た……………実った	ほにならん……………実にならん
ほねがおる……………苦勞する	ほねおりくやく……………辛苦役
ほへとはいろ……………色気がない	ぼぼ……………女性性器
ほほべっぴん……………頬が千両	ぼぼべっぴん……………優れた性器
ほむるきな……………ほめますから	ほめもんく……………口上手
ほめじょうず……………お調子者	ほめじょうず……………口達者
ほめく……………むしむしする	ほめそ……………木綿太糸
ほめちゃん……………ほめない	ほめそこなう……………ほめるの失敗

ほ ぼやくる……………霞む、空虚
 ほや……………穀物のかび
 ほゆる……………犬の鳴き声
 ほらけそこなう…落ちそこなう
 ぼやと……………空虚な姿
 ほらけ……………壊れやすい
 ほうとぎらかせ……………突き出せ
 ぼらけ一ち……………もらして
 ほりなぐる……………乱暴に投げる
 ぼりで一た……………漏りだした
 ぼる……………漏る
 ほれまくる……………あちこち掘れる
 ほれや……………ほりなさい
 ぼろ……………布切れ
 ほんなら……………それなら
 ほろ一ふくな……………嘘を言うな
 ぼんじ……………ムクゲ
 ほんなき……………それでは
 ほん……………少し
 ぼんあるき……………盆の挨拶回り
 ぼ一ぶら……………カボチャ
 ぼ一ぜた……………痴呆性に
 ぼ一く一ずきん…火よけ用帽子
 ほ一ちょう……………だんご汁
 ほ一は……………牛馬の追い声
 ほ一もうや……………そんなに早く
 ほ一にまこち……………本当にまあ
 ほ一……………なるほど
 ほ一……………半ば疑い
 ほ一……………感心する
 ほ一……………白眼視

ほや……………電球
 ほゆる……………勃起する
 ほらけた……………こけ落ちる
 ぼやと……………退屈して
 ほらけ……………弱い気質
 ほらけおつる……………落ちる
 ほらぐち……………嘘上手
 ぼらんき……………もれない
 ほりで一た……………掘りだした
 ぼりがとまった……………漏りやんだ
 ほるる……………掘れる
 ほれまくる……………惚れたがる
 ほろせ……………発疹
 ほんた……………本当は
 ほろ一ふくな……………冗談言うな
 ぼんくら……………低能者
 ほ一とろくせ……………沢山な事
 ほん……………ちょつと
 ぼ一ずる……………忘れっぽく
 ぼんこっち……………盆から先
 ぼ一ずくりん……………坊主頭
 ほんじゃけんど……………そうですが
 ほ一ちょじる……………だんご汁
 ほ一ならな……………それならば
 ほ一みたか……………そら見たか
 ほ一らみよ……………それ見たか
 ほんなさいなら…それでは失礼



特集方言…『行く』『帰る』『急に』なんかん単語を幾つか

◇ 行く ◇

いきしな……………行っすぐ
いきがけ……………出発する途中
いくに……………行くのに
いきみち……………行く途中の
いっかくる……………出発するよ
いっかき……………行く途中で
いきよる……………行っていますよ
いくかえ……………行きますか
いこーどち……………行くと思うて
いってんいい……………行ってもよい
いきてー……………行きたい
いきたがる……………行く希望ある
いくこちー……………行く事に
いかにゃなるめー……………行くの決定
いっちみるか……………行って見よう
しこでけた……………行く準備完了
でるとき……………出発の時
でしな……………出る直前
でりよる……………出ています

◇ 帰る ◇

いんだかえ……………帰ったかえ
いぬるで……………帰りますよ
うわに……………帰りの荷物
えーとひきずっち……………やっとの
かえりに……………帰り荷物
かえりしな……………帰った途端
けーり……………帰り

かいっちょる……………帰り着いた
けーりよる……………帰って来る
だっちしもうた……………疲れ果てた
ちーたごたる……………帰り着いたよ
なかに……………みやげ積み荷
へもどる……………元に戻る
みやぎゅーもっち……………帰り土産
もどりよる……………帰って来たよ
もどったな……………帰ったかえ
もどりよせん……………帰宅のまま
もどるとそー……………戻ればすぐ
もどりちーた……………帰宅したよ
もどりしな……………帰宅すぐに

◇ 急に ◇

おけよせん……………起きてすぐ
そりゃまー……………それは大変
だまし……………急に
とっぴねー……………急な事で
のっきいう……………急に言われ
はたっちょいてでん……………何はとも
あたで……………急な事で
めしわきー……………休息中に
のき……………急に
なにえ……………何ですか



ま まあいこと……まあいでは
まいあがる………夢中になる
まいったごたる………死亡した
まいまいこ………蝶々
まいっちょる………参っている
まいりなー………参って
まうき………回ります
まえだれ………前かけ
まえんつば………前の庭
まおーか………回ろうか
まがゆーじ………都合よく
まがった………曲がる
まかないかた………食べ物準備役
まがっちょる………曲がってる
まきそこなう………撒くの^に失敗
まきこむ………撒きすぎる
まきあぐる………巻き上げる
まくひきじょうず………引き際上手
まく………散らす
まくんな………負けなさんな
まげくそ………負けてやけに
まさゆめ………本当の夢
ましうね………増えたうね
まじめくさっち………正直者
まじけー………近くの
までくる………混ぜ回す
までそこなう………混ぜるに失敗
までたか………混ぜましたか
までんじ………混ぜなくて
まぞえ………弁償しよ
またくら………股間

まあいこと………よい事あった
まいったごたる………降参した
まいりきて………仏参して
まいまいこ………ミズスマシ
まいりしょ………祈とう所
まえかけべっぴん………前だれ美人
まえだれべっぴん………小物で美人
まえ………牛馬の用語
まえだ………家の前にある田
まがゆーじ………運よく
まがゆーじ………いい按配に
まがった………カーブした
まがよかった………都合よく
まがっちょる………曲線
まきそこなう………巻くの^に失敗
まきこむ………巻きこまれる
まくひきじょうず………開幕^は達者
まくりだす………大事引き出す
まくるもんか………負けないよ
まけんごつ………負けないよう
まごびーき………孫に目がない
まさかん………もしもの
まじゅー………混ぜて
ますだけ………升の飲み酒
まずる………混ぜて
までくりまわす………乱暴に混ぜ
までんき………混ぜないから
ませちょる………成長が早い
ませちょる………早生ぼう
まどえ………よくして返して
またがりたがる………乗りたがる

ま またせせり……………色情豊か
まちごえ……………田畑に準備の肥
まちだった……………待ち疲れ
まつかさ……………マツボックリ
まっちんくじ……………マッチ着け木
まっちょけ……………待っていないさい
まっちゃん……………待たないから
まっけ……………真っ赤
まっぼし……………まっすぐ
まっくりだす……………大事出す
まっचार……………待っている
までそこなう……………混ぜる失敗
までちよる……………混ぜてある
まですな……………混ぜなさんな
まとーももぐる……………股間を愛撫
まにあわん……………間に合わない
まねぐち……………告げ口
まねじょうず……………真似が旨い
まねぐち……………告げ口
まねやろ……………真似達者
まのとりぐえ……………話芸達者
まぶし……………藁の養蚕農具
まま……………飯
まま……………時々
ままじょうけ……………竹製の飯籠
まめーしちょけ……………自由にして
まめーしな……………自由にして
まめすり……………豆腐製造
まめ……………性器陰核
まめどろぼう……………女あそび
まめさん……………まめさない

まだこげな……………いつまでも
まちぼり……………内緒預金
まちっと……………も少し
まつぼり……………内緒預金
まっかんつら……………赤い顔
まっちょれ……………待っていて
まっしるなっち……………真っ白になり
まっぼし……………図星、
まっぴ……………真っ青
まてーじ……………待っているから
までचार……………混ぜてあげる
までめし……………五目飯
までまわす……………乱暴に混ぜる
まどえ……………弁償せよ
まにおーた……………間にあった
まねぐち……………おしゃべり
まねちゃん……………まねてやる
まねそこなう……………真似に失敗
まねごと……………ものまねが
まのとりぐえ……………間隔上手
まばいい……………まぶしい
まぶしいごたる……………眩しいような
まま……………自由に
ままこんせんたく……………好天気
ままくーで……………食事にする
まめーしちょけ……………すておけ
まめころがし……………豆の選別
まめすり……………女性同志同愛
まめくらべ……………性器見せあい
まめずき……………色情
まめー……………自由に

ま まめぬしと……よこしまな男
 まやんこえ……牛馬屋の肥
 まやんはし……牛馬小屋隅
 まよ一たごたる……迷ったよう
 まよわんごつ……迷わないよう
 まらむけ……露出の性器
 まらくらべ……性器比べ
 まりー……丸い形
 まる……放尿
 まるきばし……丸木組の橋
 まるき……放尿します
 まれけ……時時に
 まれけんじ……呼ばれない
 まれにゃ……時には
 まろーや……放尿しよう
 まわりこま……馬の種付け
 まわりくやく……苦役の順番
 まわりそこなう……回る失敗
 まんねんどこ……敷いたまま床
 まんなかんあし……男性性器
 まんだらでんねー……いい事で
 まんごぶげん……孫が多くて
 まんま……そのまま
 まんねんごよみ……便利な暦
 まーこんで……まだ来ない
 まーまーいいこと……遠慮せんで
 まーいるきー……まだいります
 まーわかんか……沸きませんか
 まーどげーしゅう……どうしましょう
 まーねらんの……まだ寝ないの
 まーとぎなんなー友達になって

まやんつし……農小屋の二階
 まやんなか……牛馬小屋の中
 まゆげんとのださま……子供遊び唄
 まよいくーだ……迷いこんだ
 まら……男性性器
 まらまんけん……真剣な
 まりつきうた……手まり遊び唄
 まりーけんど……丸いけど
 まる……丸い
 まるき……まるで
 まるかいてちょん……子供遊び唄
 まれけ……ときおり
 まれけんこつ……時時ん事を
 まろーか……放尿しよう
 まわる……回り道
 まわりばんこ……順番に
 まわりちん……回る手当て
 まわりくーだ……回って落ち
 まんきんたん……昔の入れ薬
 まんさくどし……豊年
 まんだらでんねー……良成績
 まんま……ご飯
 まんさくびんぼ……豊作貧乏
 まーよんなー……よりませんか
 まーちょいと……ちょつと

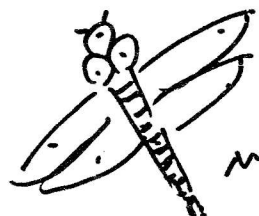


み	みあぐる……………みあげる	みいらんで……………眠らないよ
	みあげん……………見上げない	みいっちょる……………真剣見ている
	みうち……………家族親戚	みうと……………夫婦
	みえんじょー……………見かけばかり	みえたじゃろう…見えたですか
	みえんかえ……………見えない	みおくるで……………見送りますよ
	みおくっち……………見送って	みおくりそこなう…見送り遅れ
	みおくるな……………見送らない	みおくらんで……………見送らないで
	みがこーか……………磨きましょう	みがきそこなう…磨くのに失敗
	みがしおる……………身をしめあげる	みがいちょけ……………磨きなさい
	みぎちゃひだり……………変ちょこ	みぎちゃひだり……………理屈者
	みくちめにゃ……………仏も三度	みくちめにゃ……………くりごと
	みげんさま……………名月様祭	みげーちょけ……………磨いておくれ
	みこしかき……………御輿担ぎ	みこしまわし……………御輿巡幸
	みこしん……………御輿の	みごもったごたる……………妊娠
	みごのみ……………身のさび	みごのみ……………自分の責任
	みさかるたけた……………同じ話	みじけー……………短い
	みじけー……………近親者	みしけちょけ……………見つけて
	みしきー……………見つけなさい	みしくる……………見つける
	みじけそこなう…見つけたせぬ	みずいと……………工事の引き糸
	みずげんか……………分水の喧嘩	みしけまえーち……………捜し回す
	みしけたか……………見つけたの	みずーしかくる……………水を流す
	みずーまけ……………水撒きする	みずーかたぐる……………水を運ぶ
	みずーかきー……………水やり	みずくみ……………汲み上げ水
	みずあべ……………水泳	みしくる……………見つける
	みずーはずす……………流れを止め	みずーえー……………水をですか
	みせもん……………見世物	みせちょけ……………見せなさい
	みせたがる……………見て欲しい	みそごや……………味噌の倉
	みそっちょ……………小鳥	みどがり……………早めに刈る稲
	みそでー……………おかずが味噌	みそこし……………味噌を漉す具
	みそまみゅー……………味噌豆を	みたごつ……………見たように
	みたまんま……………見たとおり	みちくりー……………見てください

み みちゃらん……………見てあげない	みちきち……………見てきて
みちよけ……………見なさいよ	みたんか……………見たの
みちおしえ……………ハンミョウ	みちぐそ……………道端で大便
みちみよ……………見てみなさい	みちこん……………見なかった
みちよくれ……………見てください	みちした……………道より下に
みちした……………見て真似た	みちぐさ……………帰りに遊ぶ
みち……………見て、見る	みつつくり……………道普請
みちよけや……………見ておきなさい	みっとんねー……………品の悪い
みっとんねー……………恥ずかしい	みつとり……………蜂蜜取りに
みっけまわす……………捜し回す	みどがり……………早めに刈る
みとる……………臨終に	みなしこー……………皆な準備
みなくち……………水の入り口	みなかたん……………とても勝てない
みなんな……………見なさんな	みなくちゅー……………水の入り口を
みにくる……………見に来ます	みにきたんと…見に来たらしい
みぬーきる……………蓑を着る	みのきち……………蓑を着て
みのかしなー……………蓑貸して	みのかさきち……………蓑笠つけて
みばえがいい……………上品な格好	みばえがいい……………晴れやかに
みびーき……………晶屑目に見	みまわらんで……………見回らないで
みまわりしゅうえ…見回り開始	みみうかせ……………内緒話
みみうかせ……………悪だくみ	みみなりゅー……………耳の雑音
み……………身内…穀物の実、実	みみふく……………福耳
みみうひっぱっち…耳引っ張る	みみたぶ……………耳の膨れ部
みむきもせんじ……………知らぬ顔	みむきんせんじ……………わざとよけ
みもちごし……………妊娠の腰	みもちばら……………妊娠腹
みもちがいい……………経済者	みもとがいい……………育ちがよい
みゆんな……………見えますか	みゆる……………見える
みゆるかえ……………見えますか	みよ……………見なさい
みよらんで……………見ていない	みよるごつ……………見ていなさい
みよんなー……………見ていなさい	みらるる……………見られている
みらんか……………見なさいよ	みられん……………見られないよ
みらんかえ……………見なさいよ	みりゃせんき……………見てないから

み	みりよる……………見ている	みりたがる……………見たい欲望
	みりゃいい……………見ればよい	みるもん……………見ますから
	みるもん……………見世物	みるもん……………見るから
	みるくたんく……………乳房	みれちいよる…見なさいと言う
	みれた……………見えました	みえた……………見られました
	みれたど……………見えましたよ	みれたかえ……………見えましたか
	みろーえ……………見ましょう	みろ……………見なさい
	みんなどう……………皆さん	みーちよる……………向いている、
	みれ……………見なさい	みーげんさま……………名月様
	みーち……………向いて	みーちゃらん…剥いてあげない

む むいちくん…剥いて下さい
 むいちゃらん…剥いてあげない
 むかれんごつ…剥かれないから
 むかんじゃろ…剥かないだろう
 むかんかえ……………剥かないかえ
 むかん……………剥かない
 むかん……………向かない
 むかしんし……………昔の人
 むかわん……………菌向かいせず
 むかつく……………腹立つ様
 むぎめしにえた……………麦飯出来た
 むきまら……………剥けた男性器
 むけまら……………剥けた性器
 むげねー……………気の毒な
 むけたかや……………剥けましたか
 むこじょう……………婿
 むげねーはなし……………悲恋物語
 むすめ……………女性性器
 むしりたがる……………取りたがる
 むしふうじ……………願かけ虫よけ



むかん……………適任でない
 むかいみず……………水を迎えに
 むかわん……………向かいません
 むかしばなし……………民話など
 むかしんうた……………土唄、民謡
 むきそこなう……………剥くのに失敗
 むぎんやく……………麦の手入れ
 むげねー……………可愛いそう
 むげながる……………同情する
 むこーずら……………額の面
 むげねーはなし……………悲話
 むげねこされ……………可愛いそうに
 むすこ……………男性性器
 むしる……………手で取る
 むしふうじ……………厄よけ

む むしれ……………手でとりなさい
 むしおさえ……………少し食べ物
 むしよけ……………男を疎外
 むずむず……………落ち着かない
 むしょうに……………無理やりに
 むちゃんごつ……………無茶な事を
 むつかしもん……………異国者
 むっから……………麦殻
 むどがる……………可愛いがる
 むと一な……………難癖つけ
 むどなぎ……………可愛いそ
 むどむどする……………愛撫する
 むなぐるしい……………想い悩む
 むにしゃり……………無理に
 むりやりせりこむ……………無理入れ
 むれたど……………蒸したよ
 むらむらたつ……………元気な勃起
 むりしゃこ……………無理やりに
 むりゅーすんな……………無理しない
 むろんなか……………蒸気室の

むしれ……………心の…甘える
 むしよけ……………防除
 むずむず……………痛痒い感触
 むしょうに……………心悩む気持ち
 むちやき…牛馬追いの焼いた鞭
 むつかしもん……………偏屈者
 むづがる……………寝つかぬ
 むて一な……………無理な
 むと一な……………無理な
 むどなぎ……………可愛い
 むっこむ……………むいて入れる
 むなぐるしい……………胸を締めつけ
 むにやに……………無理やり
 むねはしごだん……………豊満な胸
 むねやくる……………胃酸過多
 むやみのや……………無理に言われ
 むらんし……………村の人たち
 むりくしゃ……………無理に通す
 むれたごたる……………蒸れたよ
 むりゅーいうな……………無理を言う

め めあてんし……………目当ての人
 めいる……………参っている
 めいげんさま……………名月様
 めえあさ……………毎朝
 めえかけ……………前だれ
 め……………こら
 めおつんむく……………目を見張る
 めをひんむく……………目には目を
 めがさむる……………目がさめた
 めがしびい……………目覚めが悪い



め……………駄目
 めをひんむく……………大きな目で
 めがて……………眠らない
 めがな……………目がですね
 めきき……………目の感覚がよい

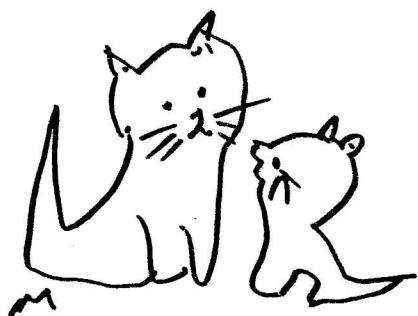
め めぐりあわせ……………宿命	めぐりあわせ……………出会った
めくらめっば……………むやみに	めくる……………繰ってみる
めくる……………振り返る	めくされ……………眼病
めぐりぼう……………回転雑穀具	めご……………竹製の茶碗籠
めざし……………目を通した干魚	めざまし……………起きた時の食べ物
めしどろぼう……………美味しい菜	めしど……………食事ですよ
めしぼり……………常に目を閉じる癖	めしわき……………食事の後
めすんこ……………めす子	めそめそすんな……………悲哀な格好、
めだちたがり……………はったり	めだちたがり……………表に出る者
めつぼ……………狙われ者	めつぼ……………迷惑な
めちがい……………見損ない	めちがい……………感覚違い
めってね……………滅多にない	めにしむ……………目にしみる
めにすりこむ……………無理に目に	めにすりこむ……………本当に小さい
めにしゅむ……………目にしみる	めのこし……………目が疲れて
めびーき……………得に、晶屑に	めぶいちきた……………発芽して
めぶいちよる……………発芽	めぼそがお……………細目の
めまいがする……………貧血が	めめこ……………女性性器
めめちょ……………女性性器	めもくれん……………全く知らぬ顔
めもらい……………目の病	めやね……………目の汚物
めらんじよる……………ねらんで	めりくーだ……………はまって
めんどしい……………恥ずかしい	めんどみがいい……………よく世話が
めんたまぜに……………昔の50銭	めーにち……………毎日
めーめ……………やぎ	めーばん……………毎晩
めーあさ……………毎朝	めんどーじのう……………難しいから
めんどくせ……………気難しい	めんどまとれ……………おかしい顔
めーたか……………撒いたか	めーらんなるめ……………参らねば
めー……………まい	
めーいうたに……………前に言うたに	
めーわくーしち……………迷惑して	
めめんこに……………女の子に	
めーめーなくな……………もの悲しい	



も	もえさし……………燃え残りの薪	も	もえたか……………燃えましたか
	もえそこなう……………旨く燃えない	も	もおちっと……………も少し
	もおからん……………儲からない	も	もおいしいき……………もうよいから
	もがくな……………逃げ腰に	も	もがわん……………対抗しない
	もがう……………対抗する	も	もぎたて……………取り立て
	もぎとる……………無理に取る	も	もぎそこなう……………取り損なう
	もぐらもち……………もぐら	も	もおよかろう……………いいでしょう
	もげん……………取れない	も	もしかん……………まさかの
	もずがる……………愛情過多	も	もたちーち……………落ち着かず
	もちあみ……………餅焼き網	も	もちゅー……………餅を
	もてん……………たまらない	も	もて……………もちなさい
	もてれん……………持ちきれない	も	もてれん……………もてない
	もてんき……………もてないから	も	もてんかな……………持ちないかな
	もどかす……………からかう	も	もどがる……………愛撫する
	もつるか……………たまるか	も	もつるか……………人気者
	もつるか……………もてますか	も	もどっちきな……………戻っておいで
	もどった……………元に帰る	も	もとばりつく……………まわり
	もにーならん……………役立たず	も	もにーならん……………話にならぬ
	もにーする……………自由に	も	もにーする……………自分の物に
	ものいい……………挨拶回り	も	ものつき……………厄がついた
	ものもらい……………病の一種	も	もみがろー……………もみ殻を
	もみゅーさぶる……………粃の選別	も	もみいた……………洗たく板
	もみはてん……………揉むのに大変	も	もみあう……………互いに揉む
	もみがらやき……………くんたん焼き	も	もみづき……………粃から精米
	もむき……………揉みます	も	ももて……………農家の祭り
	ももぐりそこなう……………揉むに失敗	も	ももてまつり……………伝承行事祭
	ももぐる……………揉み愛撫	も	もやさせん……………燃やさせない
	もやしそこなう……………燃やし失敗	も	もえ……………燃える
	もえ……………もうですか	も	もやす……………燃料を火で
	もゆーか……………燃えるだろうか	も	もやせ……………燃やしなさい
	もらいそこなう……………貰えないまま	も	もらいよせん……………貰う暇がない

も もらいゆ……………湯を借りる
も るけん ど……………漏れますが
も りあげた……………積み上げて
も るき……………漏れるので
も るが いいな……………漏るけれども
も ろーち……………貰って
も ーでけた……………できました
も うしな ー……………して下さい
も んじゃき……………ものですか
も ーけ……………利益
も んがらどこ……………もみ殻の床
も ーすぐ……………まもなく
も ーかえ……………今ですか
も ーすんだえ……………すみません
も ーしたんな……………済ませたですか
も ーおわった……………既に済んだ
も んじゃき……………ですから
も んじょけ……………揉んでおけば
も ーいいちゃ……………よいから
も ー……………本当に
も ー……………うれしさ
も ーしらん……………知りません

も らわるる……………貰われて
も りそこなう……………漏れずじまい
も りあげた……………盛会にして
も ろぶた……………食べ物を入れる具
も ろむき……………正月飾り葉
も ろたん……………貰ったの
も ういぬる……………帰るので
も ーせんき……………しないから
も うせんじょきよ……………しなさんな
も ーが……………起耕農具
も ーからん……………儲けない
も ーじき……………すぐに
も ーきたんな……………早く着たの
も ーくたごたる……………既に食べた
も ーせんき……………しないから
も うしょうも……………何ともはや
も んじゃろう……………多分では
も ーどーでん……………どうにでも
も ーも ー……………牛、子牛
も ー……………腹が立つ
も ー……………失敗
も ーちょいと……………も少し



ももてまつり……………正月にその年
の厄よけ地域の無病息災 家内安全 五穀豊饒などを念じて 的に弓を射る祭り行事。地区で異なるが趣旨はほぼ同じ 野津原町でも入蔵、田吹地区などで行われている。伝承行事の一つ。

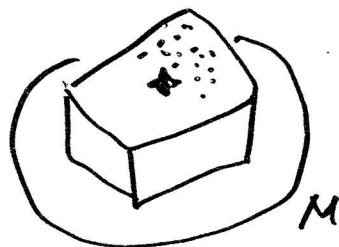
や やいと……………お灸
やえひじい……………見かけより疲れ
やから……………甘えて…無理を
やきがき……………渋柿の焼いた物
やくただず……………無精者
やけくそ……………むきになる
やしない……………面倒見る
やしなう……………面倒見る
や……………何ですか
や……………問いたです
やすまる……………心落ち着く
やぜん……………昨夜は
やつがい……………晩酌
やっしゃきり……………狂暴な動作
やっcharで……………してあげます
やといそこなう……………雇わぬまま
やなつくり……………捕魚の竹組
やびーすちー……………藪に捨てなさい
やぼたれ……………仕方がない
やまいむ……………山芋
やまん……………やまない
やみとり……………内緒取引
やめちょけ……………やめなさい
やらんか……………しなさいよ
やらんか……………あげなさい
やりくうだ……………やりすぎた
やりこめ……………早めに勝ち
やりそこなう……………失敗して
やる……………あげる
やれこりゃ……………一安心
やーり……………いつも

やえこっちゃ……………大変な事
やおねー……………ひどい、大変な
やきやき……………ひどい照り
やくただず……………使い物にならない
やけひばし……………熱くなった火箸
やしい……………安い
やしない……………育てる
やしぼ……………食いしん坊
や……………どうした
やしぼひげ……………品祖なひげ
やしきまわり……………家の周辺
やせうま……………粉で作る食品
やっこめ……………早めにとって
作った素朴な食品。

やとわん……………雇わない
やっくーだ……………類焼させた
やねごて……………屋根替え道具
やぶりそこなう……………破り失敗
やぼたれ……………感度低い
やまがみえた……………あと少し
やまんいむ……………山の芋
やみごめ……………内緒事の米
やもーあるく……………山を歩く
やらんか……………下さいよ
やりくうだ……………失敗した
やりこめ……………瞬時に
やりつけた……………かたずいた
やる……………しますよ
やれこりゃ……………やれやれと
やりこ……………同じです
やろーどー……………お前たちも

や	やわひじい……………見かけより	やわらしい……………柔らか感触
	やわたら……………青大将	やんがち……………やがてに
	やんどどー……………お前たちも	やんめ……………眼病
	やんかて……………お前の家に	やんど……………お前
	やんがた……………お前の家に	やんがん……………お前の
	やんとこし……………やっとの事	やーしれん……………何とも知れぬ

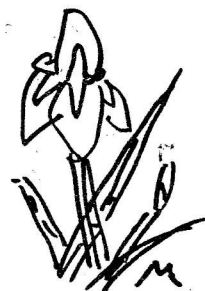
ゆ ゆいかけ……………結び始め
 ゆいと……………酔う人
 ゆうべ……………昨夜
 ゆうじ……………よくて
 ゆうじ……………呼んで
 ゆうきたな……………よく着ました
 ゆかげんな……………湯加減は
 ゆくきーな……………行きますから
 ゆざましど……………湯冷まし
 ゆさし……………ゴザ打ち機械具
 ゆずりそこなう…譲るのに失敗
 ゆさんご……………ぶらんこ
 ゆぜもち……………ゆがいた餅
 ゆでそこなう……………茹でる失敗
 ゆにへーる……………入浴を
 ゆびん……………湯沸かし
 ゆみなり……………背を一杯張り
 ゆめみがわりー……………悪い夢見
 ゆめじ……………夢で
 ゆらかす……………揺らす
 ゆりおとす……………揺さぶり落とす
 ゆりそこなう……………揺らす失敗
 ゆるーたか……………知った事か
 ゆうしたもん……………よくしたもの



ゆがいる……………入浴したい
 ゆきみた……………行くときに見
 ゆこーする……………死人を洗う
 ゆさぶるき……………動揺させ
 ゆずるは……………モロムキ
 ゆずれそこなう…譲らないまま
 ゆずっちょくれ……………譲って
 ゆたん……………牛の品評会の飾り着
 ゆでちょけ……………ゆでなさい
 ゆびかね……………指輪
 ゆびゅー……………指を
 ゆめまくら……………夢に見る
 ゆめなみだ……………夢で泣くか
 ゆもえーた……………湯も沸いた
 ゆらんこ……………ぶらんこ
 ゆりあぐる……………揺らし困らせる
 ゆりさべ……………揺らして選別
 ゆるーじ……………緩くなって
 ゆるーちょけ……………捨て置け

ゆ	ゆる……………ゆるする	ゆるゆるくりゃ…ゆっくり来る
	ゆれよる……………揺れている	ゆれよる……………揺らしている
	ゆー……………よく	ゆーむかで……………縁起がいい
	ゆーひだ……………日当たりのよい田	ゆーなし……………暇人
	ゆーならけーち……………よく治して	ゆーならけーち……………修理して
	ゆーねー……………よくない	ゆーちくりー…言ってください
	いうちゃらん…言ってあげない	ゆうちゃらん……………言わない
	ゆーた……………酔った	ゆうた……………言いました
	ゆうた……………結んだ	ゆうた……………束ねた
	ゆーじまい……………夕方には終わる	ゆーろ……………ふくらはぎ
	ゆーしゃ……………言う人は	ゆーのーじ……………よくなくて
	ゆーのうじ……………旨く行かず	ゆーんご……………ぶらんこ
	ゆーと……………酔い人	ゆーてんいい…言ってもよい
	ゆーちょくれ…言ってください	ゆーちゃろー……………言いふらし

よ	よおかし……………夜更かし	
	よいたくれ……………酒酔いたち	
	よいばな……………暮れ始め	
	よいそこなう……………深酔いせず	
	よいと……………酒飲み	
	よいしょ……………りきんで	よえん……………酔えない
	よがむ……………曲がる	よくしゅう……………欲張り
	よくしい……………欲張り	よくたらしい……………欲の突っ張り
	よけ……………しなさい	よごーじよる……………曲がっている
	よこまき……………横体格が	よごれ……………汚れ、汚い格好
	よこたくり……………横向いて走る	よこぐるま……………ごり押し
	よこかるい……………横向きに背負う	よこう……………休む 休憩を
	よこわるる……………やすめる	よこわるる……………休みが取れる
	よこい……………休み、休憩	よこわん……………休まない
	よこね……………横に寝る、病気	よこたん……………横向きの
	よしいくど……………では行く	よしれん……………つまらぬ事



よ よせぎれ……………狭い田んぼ
よせあつめ……………混成に
よそごと……………あまり関係ない
よそづら……………外ではいい顔
よだきー……………しんきな
よだつ……………企画 始める
よっちょけ……………寄って行けば
よな……………火山灰
よなべ……………夜の営み
よなべしごと……………繕い物仕事
よのめも……………懸命に働く
よばりゅうか……………ご馳走に
よばりゅうか……………風呂借りよう
よぼ……………不健康物
よびくーじ……………呼びこんで
よべ……………呼びなさい
よまわり……………防犯巡回
よみまわす……………真剣に読む
よめござ……………嫁ご用ござ
よめごばなし……………結婚話
よらんで……………寄らないで
よらにゃ……………寄らないと
よりあう……………寄り添い
よりをいるる……………より強め
よりがいった……………ヨリが入った
より……………集会
よれ……………寄りなさい
よるばなし……………色気話
よれよれ……………真剣に誘う
よろよろ……………ふらふら
よろけご……………弱い子供

よせあつめ……………そこらを集め
よそごと……………ほかの事
よそもん……………他から来た人
よそかる……………他から
よだきー……………気だるい
よつあげ……………不格好昼寝
よど……………宵祭り
よなべ……………夜の作業
よなべしごと……………夜の農作業
よにでらん……………表面に出ない
よのひきあけ……………夜明け前
よばりゅうか……………頂きます
よばいにいく……………女の部屋に忍ぶ
よびそこなう……………呼ぶのを失敗
よびまくる……………大声で呼ぶ
よぼーか……………呼びましょうか
よみそこねた……………読み間違いで
よめじょー……………嫁さん
よめごむかえ……………嫁迎え
よやせん……………醉わない
よらんき……………寄らないから
よりそこなう……………寄らずに帰る
よりあう……………集合
よりよる……………集まっている
よりがもどった……………元の鞘
よりあいびかり……………だし合い会
よれ……………寄って行け
よれよれ……………不格好な姿
よろよろ……………足もと乱れ
よろけ……………病身な
よろーち……………揃って

よ	よーなる……………よくなる	よーじんみず……………非常用水
	よんべ……………昨夜	よんどん……………夜通し
	よーきくんな……………沢山ほしい	よーにあう……………似合い姿
	よーにあう……………似たもの夫婦	よーじんしたき……………用心したの
	よーなっちょくれ……………全快して	よーなっちょくれ……………よくなって
	よーならけーち……………よくして	よーならけーち……………改善して
	よーすら……………調子者で	よーよーすんだ……………やっと終わる
ら	らくいんきょ……………幸せ隠居	らちがあかん……………話にならぬ
	らみー……………チョマ	らくなみ……………楽になったな
	らくたび……………はだし足袋	らくせにゃ……………楽にならにゃ
り	りんちょう……………沈丁華	りん……………荷物の下に敷く材
	りくつんかわ……………理屈っぽい	りこうもん……………才覚達者
	りょうにいく……………獵に行く	りくついうな……………言い張るな
る	るいがよっちょる……………同類集合	るすするき……………留守をします
れ	れんごうゆうぎ……………集団の遊戯	れんぎ……………すりこぎ
	れんこんくう……………見透かして	れんさくびんぼう……………後手後手に
ろ	ろくしゃく……………農具の担ぎ棒	ろくどし……………まったく、本当に
	ろくでんねー……………異常な性格	ろくなやつ……………とんでもない
	ろばた……………囲炉裏側	ろーそくそうでん……………戦時送電
	ろくしゅもねえ……………偏屈変わり者	ろくろしい……………ろくに
わ	わいた……………沸きました	
	わかよめなみだ……………煙いではない	
	わがしょう……………意識根性	
	わがどー……………お前たち	
	わがえ……………桶の輪替え	



わ	わかされ……………別れ道	わが……………お前
	わからんやつ……………困った人	わからんやつ……………物分かり悪い
	わきゃがる……………乱暴する	わきゃがる……………弾み回る
	わ……………吃驚	わきゃー……………簡単に
	わきゃーねー……………すぐさま	わくどかご……………蛙を入れる籠
	わくど……………蛙	わど……………お前
	わけくちゃ……………解り難い	わこーじ……………若くて
	わけまえ……………貫い分	わざやく……………わざわざ
	わさぼう……………育ちが早い	わしんもん……………私の物
	わしがいった……………私がほしい	わしかたん……………私の家の
	わしがん……………私の	わしわしかく……………ムショウに搔く
	わずらう……………病気に	わすれがたみ……………思い出の品
	わすれがたみ……………残された子供	わたりそこね……………渡るのに失敗
	わだしたび……………はだし足袋	わー……………そげな
	わっそー……………私たちは	わにぐち……………財布
	わやくする……………いたずら	わや……………失敗して
	わや……………駄目	わやわや……………動き回る
	わらあぎゅー……………藁始末	わらこずみ……………藁を積み上げ
	わらきり……………藁を切る具	わらすぼ……………藁からの塵
	わらかす……………割らす	わらわする……………笑わせる
	わらすぐり……………藁をきれいに	わらべおり……………蕨とり
	わらいごとじゃねー……………緊張する	わりーとん……………悪いとも
	わりわりする……………真剣疲労して	わるがね……………悪どい性格
	わるぼう……………いたずら子	われき……………割った薪
	われてまし……………自分勝手	わろーちのや……………笑っている
	わろーうな……………笑うな	わーわーまくり……………一車千里
	わんがん……………お前の物	わんそら……………上の空に
	わんかた……………お前の家	わんどどー……………お前たち
	わんどま……………お前たちは	わーまく……………はやし立てる
	わーすら……………冗談話	わーどげしゅう……………大変だよ
	わーわーいうな……………さわぐな	わーすんだど……………やっと終わる

監修を終えて

小 野 壽 祐

この度、14年間12000語の収録をもって結びとなる。日本語の方言はなくなってきているか議論はたびたび行われている。また、数年前までは、日本語の方言すべてなくなりつつある、そして全国共通語が一斉に日本じゅうに広がりつつある、と騒がれていた。共通語化は（ある程度）進んでいることは事実であるが、それに応じて反比例し、ことばの地域差が一斉になくなるということはない。日本語の方言は「安定期」に入っているとも、「復活」しているとも言われている。共通語化が日本語全国で共通語化が一斉に同じように、しかも同じ速度で起こっているわけではないことは確かである。

まず、方言使用には主に次の3つの型がある。

A、無意識顕在化型 自分の母方言が普通に人前で出せるタイプ。確かに移住地の言葉は母方言と違うという意識はあるが、だからといってその土地の言葉に無理に合わせたりすることは意識的にやらない。出身がどこであるか分かっていても、一向にかまわない。

B、意識的顕在化型 Aタイプと違うのは、意識して方言を出しているという部分である。しかし、人前で方言を話すのは普通Aタイプであると考えられるので、Bタイプというのは存在しないかもしれない。

C、無意識潜在化型

方言を隠そうとはしていないけれど、いつのまにか出なくなっているタイプ。恥ずかしいというような思いはないが、まわりが使う言葉に自然に順応してしまうのだろう。

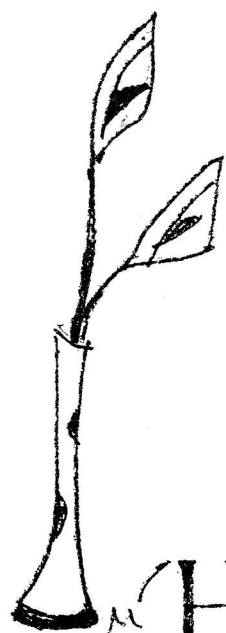
D、意識的潜在化型 意識して母方言を出すまいとしているタイプ。出身を見破られたくない、方言を出すのが恥ずかしい、方言で言っても通じないから出さないといったような理由が見受けられる。

このように、方言を意識する人と意識しない人とに分かれる。野津原で使われている方言は、温かく人間味のある野津原の香りのする言葉として、文字に残し、製本することによって、秘話として後世に残したいものである。

監修という立場で関わってきましたが、その責任を果たせず時間が過ぎた。たくさんの人との出会いと、温かいご支援に対し感謝致します。

方言調査12年

あの時あの日
あんな事こんな夢



(H.4年~15年)

方言調査員の思い出日記

平成4年から取り組んだ 野津原方言調査も今回の『方言単語集 12000語…前、後編』で 最終回となりました。多くの皆様のお力添えやご支援を頂いて 無事初期の目的を達成することを 衷心よりお礼申し上げ 寄せられた資料は大切に使用させていただきました。多くの皆様に愛読され記録に残し 大事に保管される喜びも満喫しています。

会員が12年間に取り組んで余暇に 収拾から編集 印刷から製本と全て手づくりでした 野津原方言集もいつかきっと この種の調査研究などされる時に 何かの役にたてばこの上ない幸せと思います。あの時あんな事が あの日こんな事も あんな仄かな夢が こんな世話になったなど 思いで日記として一口ずつ 書き残して冊子の終わりに加えさせていただきます。

野津原方言調査の終望

甲斐英行

10年1日の如くと申します。平成4年に始めた懐かしい生活用語の故郷方言を 後世に伝承したいと言う信念のもとに 8人の調査員がその作業に取り組んで来ました。素人んじょうが とकिनめえに2600語ほず集めち冊子に出来たき こげん嬉しいこたーねえな一ち 皆づれ喜くうじ次ん作業に意欲う燃やしち はりこもーえなち激励しやいました。

一昔前にへもどっちみると調査員の皆さんも ゆう一致団結しち頑張っちくれたち感謝しちよります。前編、後編、こぼればなし かる続編も作っちこんだのじ12冊目。そりゅうとうとうやり遂げちうれし涙がもう。これも調査員の皆さんが一心不乱じ努力した そん成果と多くの人たちが支援協力しちくれた ご恩は忘れられません。貴重な資料 古老の語り 物知りのお知恵も拝借なんかがいと役にたっちまとまった足跡になりました。

編集 カット 印刷製本なんか難しい問題も 心が一致すりゃ
こす流れも鮮やか 目をこする間もねーごつ調子ゆうじ 支え合う
思いやりが待ちよる 県外かるん人たちにん送ると 桁外れに面
白いち手紙もらうと 嬉し涙がこぼれ出ました。ご愛読しちくれた
皆さん本当にありがとうございました。親しく故郷ん方言味わっち
みちください。皆様がたん幸せとお元気をご祈念申しています。

出合い……そして 赤星ヨシミ

方言集続編5を手を取った時 10年の重みを痛感致しております。
この活動がこのように継続できたのも 大勢の方にご理解され
快く調査にご協力いただき ご助言やご意見を賜ったお陰と感謝申
しあげます。

県内交流は勿論 県外の方との交流も思い出されます。殊に宮崎
県北浦町より6人の方たちが来町され 熱心に討議された時は新た
な発見に 会員も心躍動してやらねばと決意も固めました。

活動の中には会員のTVやラジオの出演もあり お茶の間からの
波状効果反響も大きく 方言調査の存在が広く知られ問い合わせに
会員は一同歓喜もしました。と共に完遂する責任も感触 気をひ
きしめる糧ともなりました。

別れ……人生の大先輩でもあり私たちに 沢山のお知恵もくださ
った会員の 利光節子さんを体調不安調査の途中で ご逝去された
事は会員の落胆ばかりが 調査に取り組んだ方言歴史にも名残り
残しました。でもその功績を無駄にしないよう 会員の取り組みは
さらに進んでいます。

急ぐことより確かなものにこそ意義もある 足を踏みしめて調査
した生きた証 後世に伝承する時取り組んだ労も 無駄でなかった
と信じられます。

長いようで短かった12年間 あっと思う間に過ぎてしまいました。始めは大丈夫かなと半信半疑でした。然し年月が経過するに従って楽しくもなり 会員同志の活躍に刺激されて やらなければと逸る気持ちにも駆られました。お年寄りの会話に耳を傾けた頃 言葉を書き抜いては選択する勉強。自分を一回り大きくもしました。

それがいつしか話しかけ語りの中から 聞き出す生活用語の方言には 苦労が悦びが滲み出るような感触にも。又多くの人との出会いによる会話に 自分の生きざまの勉強も出来る機会に。それによる身についた知識収穫は宝にも 健康の一助にもなる素晴らしい結果にもなると 改めて協力支援の皆さんにお礼申し上げます。

方言調査に参加して大変感謝しこれからの 生活にもこの期間に取得した体験は これからの生き方にも大きな役割を果たしてくれそうです。佐賀関 産山 上浦などで交流した人たちにも 敬意を申し上げ多くの人たちが 方言文化に親しんで欲しいと念願しています。使われなくなる方言が今回の調査で 12000語記録に残る事には大変意義があると やり遂げた喜びもしみじみ味わいました。

編集を終えて

編集部

ふとうに多くん支援協力う受けち えーと方言単語集ん集大成が出来ました。これにゃ調査会員よりゃ皆さんが心ん加勢 気持ちん応援 優しい理解 そしち公私を抜きにしち 影かる応援しちくれた 多くん皆さんが作りあげたんと同じち思います。12年間余暇を使う家庭んしも時にゃ 腹も立つたじゃろーけんど 結局あやるち取り組む そげな宿命でんあったんじゃろーき。感謝感激です。

方言を調査する中で、たくさんの人に会いました。方言の中に人の歴史を知り文化を感じ、温かさを体験できました。去り逝く人と移り変わる時の流れの中に、失われる野津原のふるき里のよさは物ではなく心のように思われます。

人と人が出会い互いに、慰め合う会話の中に、助け合い励まし合って生きていく、先人の底力を学びました。今こそ文字に残す使命があるように思います。ピリオドを打つものの、永遠にこの作業は続けなければならないと思います。

『ありがとう方言』『いつまでも人を大切にする野津原人』。

★ 昔海軍に入った友達が軍服の受領に、甲種乙種の分類で『甲か乙か』の問いに『甲のじょーであります』…甲ばかりの意味…聞いた係官も『馬鹿もん甲に上も下もあるか……』そげん話んじょうするオジャンぬ、あんしゃーあわずんじょ言う…とわずんかおーゆう。……愛読者からの資料……

★ 熊本んTV放送じ『しこなすかえ』ち言う。若えアナウンサー君……困っちしもうた。昔ん肥後領ん者にゃゆう解ったがアゲナシャなかなかシチムツカシーふうじゃった。シコナスカエ…して終わりますか、全部できますか。アゲナシャ…あんな人たちは。シチムツカシイ…大変難しい。

あの時無理に引きこんだ事が結果的には、よかったと自負し冥利を分かち合う幸せも。ほんの少しだが望みをかけた調査、いまだか

らまにあうなど複雑な思いも交差する。あれから約14年多くの
支えと資料協力が やり遂げた決め手にもなった。調査の合間に心
が通うのは宝物を手中に納めた喜びでもある。『永久保存』と書いて
大切に作る人 表紙が色違いで本棚を飾る人。家族が拍手して本
を開く刹那の人。面白くてユニークだと評価する人。素人集団の本
をこよなく愛してくれる その心情に感謝感激の思いでした。

厳しい現実から批判も卑下も抽象も 乗り越えたのも支えがあっ
たから。無事予定に到達したのも支えてくれ 協力して下さった
皆さんが発行したようなものです。家族が夫婦が親子が手を出し
応援してくれた物好きやんちゃも 故郷の無形文化財生活用語の方
言を 今だから残せる…残して置きたいその執念が叶えられたと
振り返っています。ご協力ご支援誠に有り難うございました。

方言調査で宝にした物は多い 那須政子

野津原ん方言を集めてみらんかえ…の誘い 私 私が…とまどい
の中で 気どらずに楽しみながら 単語集めて早々12年。方言の
会のお陰でいろんな所に行きました。たくさんの方々との出会いも
巡り合わせもありました。又なんと言っても12冊の方言集の発行
も出来て 私にも思い出の方言集が残せたと言う幸せ。

本当に方言集めてよかった…楽しかった…やってよかった。あら
ためて方言集を開くと 慌ただしい騒々しい社会から いにしえの
ゆったりした世界に 引きこまれて行くような気がいたします。今
は『ヤッターバンザイ』の気分です。沢山の方々ご協力本当に
有り難うございました。きっと大事に読んで語り伝えて 古きよき
時代が新しい時代に ひと味添えながら人の心が仄かに 広がって
行くことでしょう。



